大正六年九月十四日 第三種郵便物認可・昭和十一年七月二十五日印刷納本・昭和十一年八月一日發行（毎月一回一日發行）

建築と社會

8

地方計畫
特輯號

第十九輯第八號　昭和十一年八月一日

日本建築協會

暑中御伺

昭和十一年盛夏

三機工業株式會社大阪支店

東洋キヤリア工業株式會社大阪支店

東洋鋼材株式會社大阪出張所

第六版　（昭和十一年四月改訂）

美麗表紙
本綴
上質紙印刷
菊判截版

市街地建築物法令

日本建築協會版

本書は現行の**市街地建築物法**を始め**本年改正實施された**
“市街地建築物法施行令”，**“同法施行規則”**，**“同法施行細則”**
（大阪府、兵庫縣、京都府、警視廳〔東京府〕、神奈川縣、愛知縣）等々**その他“同法關係法令”**を全部網羅編纂したるものである。本書はその性質上校閲に最も力を費し關係官廳諸技師の援助を受けて出來得る限りの正確を期した。表紙は堅牢にして本綴となし又上質紙を使つて印刷の鮮明を計りその裝幀の美麗と携帶の至便とは多大の絶讃を博すること確信す。
建築家、建築業者、建築學生其他苟しくも建築に關係ある者の必要欠くべからざる定本として敢て本書を薦む。

●定價50錢　送料6錢●

日本建築協會發行　大阪北區朝日ビル4階　振替口座大阪39975

賣捌　丸善本支店　柳々堂書店

建築と社會

第19輯 第8號　昭和11年8月發行

八月號

目次

都市計畫と地方計畫……片岡　安（1）

都市計畫より地方計畫へ……中澤誠一郎（2）

都市計畫—地方計畫—國土計畫……吉村辰夫（6）

地方計畫「夜明け前」……中村　綱（16）

地方計畫の思想的背景……龜井幸次郎（21）

都市計畫地域に對する施設及防火地區に於ける耐火建築物の促進助成……加藤善吉（39）

• 研究及調査報告 •

大阪衛星都市に於ける工場調査……都市計畫大阪地方委員會（42）

• 建築隨想 •

國民保健の問題と住居……荒木正已（52）

• 口繪寫眞 •

大阪の都市計畫的景觀……（1）

• 新建築欄 •

滿鐵東京支社　三井銀行大阪支店

神戸市中央職業紹介所　六甲莊

天王寺動物園象舍　天王寺動物園河馬舍

ロンドン・グライダー・クラブ（イギリス）　Peter Jones 商店のロンドン（イギリス）

ブライトン郊外の寄宿學校（イギリス）　ロングビーチの高等工藝學校（アメリカ）

ロスアンゼルスの住宅（アメリカ）　ローマの僧院を有する教會（イタリー）

• 都市計畫欄 •

Welwyn 田園都市の宅地割例（イギリス）

• 建築時報 •

農村住宅設計懸賞募集趣意及び募集規定（福井縣）……（54）

會　報……（62）



大阪憲兵隊檢閲濟　（昭和11年7月13日第8號）　1. 中之島公園

中之島公園

北西に向つて撮影したもので、公園施設及各種公共的建築物を始め、中央部には可動堰たる水昌橋の片影もあらはれてゐる。



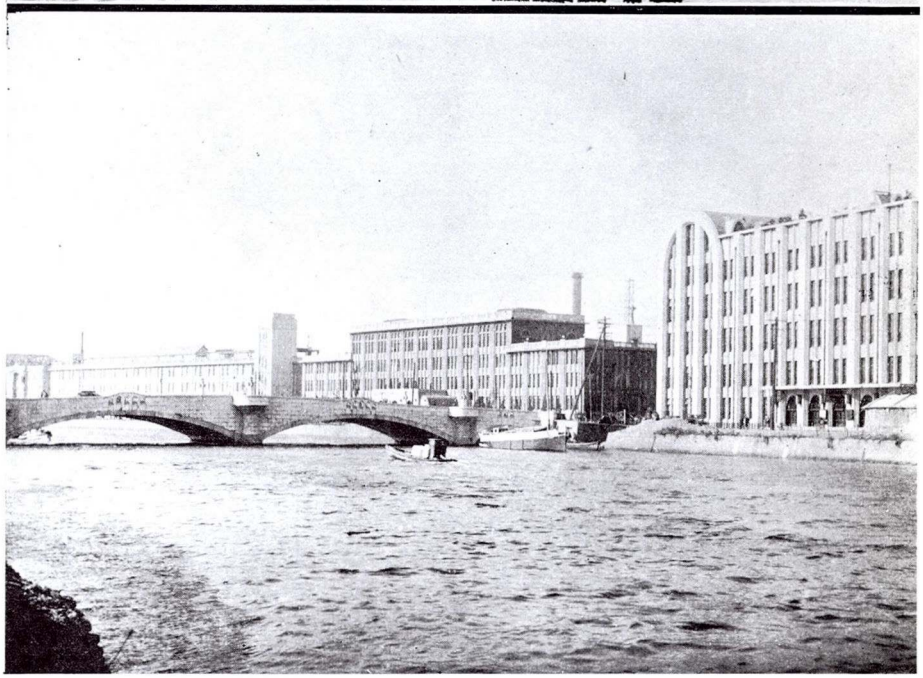
撮景箇所及撮景方向 2. 此處に表記せる番號は、圖版の番號である。

大阪市を中心とする、都市計畫、都市計畫事業或は都市計畫として正式手續は經て居らないが都市計畫上重要な施設の中、數葉を茲に揭げたものである。



3. 大川町線方面河岸遊歩道

淀屋橋より下流に向つて撮影。このやうな美しい河岸遊歩道が多數築造され、水都大阪に適はしい風貌の一日も早く生れんことを望んで已まない。

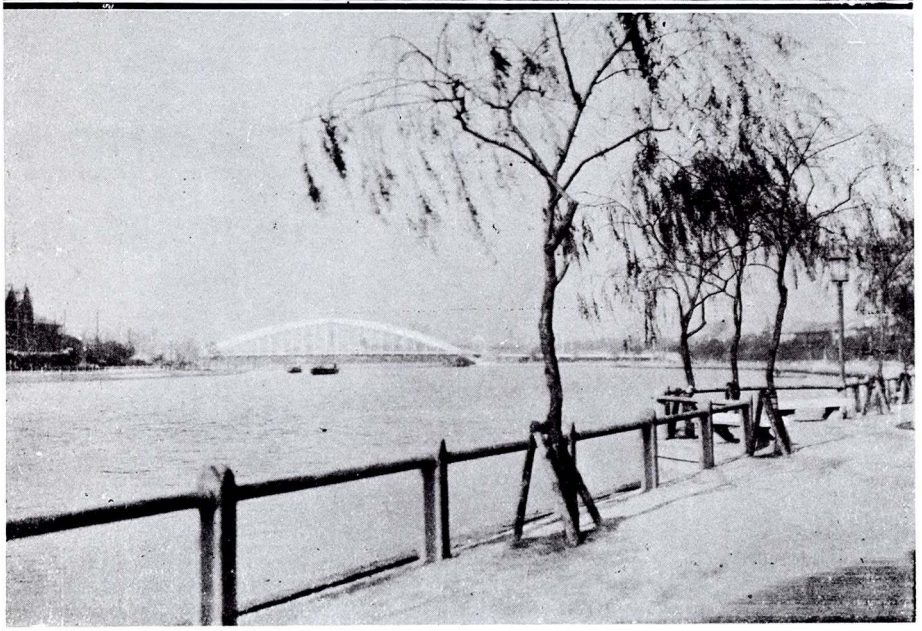


4. 大阪帝國大學醫學部附屬病院附近

田蓑橋附近一帶は早くより大厦高樓櫛比し、水面に映える其の姿は水都として誇るに足る風景を保つてゐる

中之島公園　中之島公園は、明治二十四年の創設にかゝる舊大阪市内最初の公園で、其の後漸次隣接地を併合し、現在では其の面積約二萬七千坪に及んでゐる。音樂堂、競技場、庭球場、兒童遊戲場、ローラー・スケート場、各種運動器具施設等完備し、堂島川と土佐堀川とに挾まれた東西に長い敷地で、水都に適しい風貌を呈してゐる。尙、市廳舍控訴院を始め、府立圖書館、中央公會堂堂島ビルデインヂ等この附近一帶は名實共に大阪市の一中心地を形成するもの、美觀上の見地よりしても先づ第一に指を屈しなければならぬ地帶であらう。



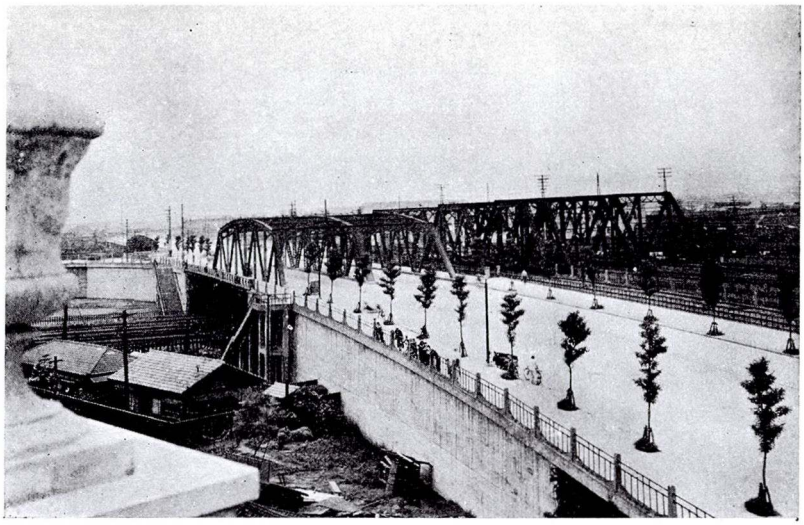


5. 大阪市中央卸賣市場

市中央卸賣市場は、大正十二年の中央卸賣市場法に基き、敷地約三萬八千坪の所に、工費約六百萬圓を投じ、昭和六年より開場せる、配給組織の合理化を目途として設立された生鮮食料品の卸賣市場であつて、昭和九年度中の取扱高實に六千三百萬圓、名實共に大大阪の大臺所での中心點ある。水陸兩運に位し、都市の凡ゆる點より頗る重要なる地點を占むる故、本年甲種防火地區と指定せられるに至つた。

寫眞は市場内部の後方より正面を撮影したるものであるが、鐵道、岸壁の施設し、殷盛を極めた都市の縮圖の如き面貌を備へてゐる。

6. 櫻宮公園　櫻宮公園は、内務省より無償貸與を受けた河川敷を利用して大正十二年開公の運となり、其の後數度の擴張を經て今日に至つたものである。面積約二萬七千坪、場技競、野球場、庭球場、兒童遊技場、教材園、林泉等の施設何れも備つてゐるが、この公園の特徴は何と云つても淀川の清流を窓にし得る點にある。**寫眞**中央部遙か彼方に白く浮んで見えるのは、大阪住道線を市の中心大阪驛方面に結ぶ重要な一張間の櫻宮橋。左方は造幣局である。

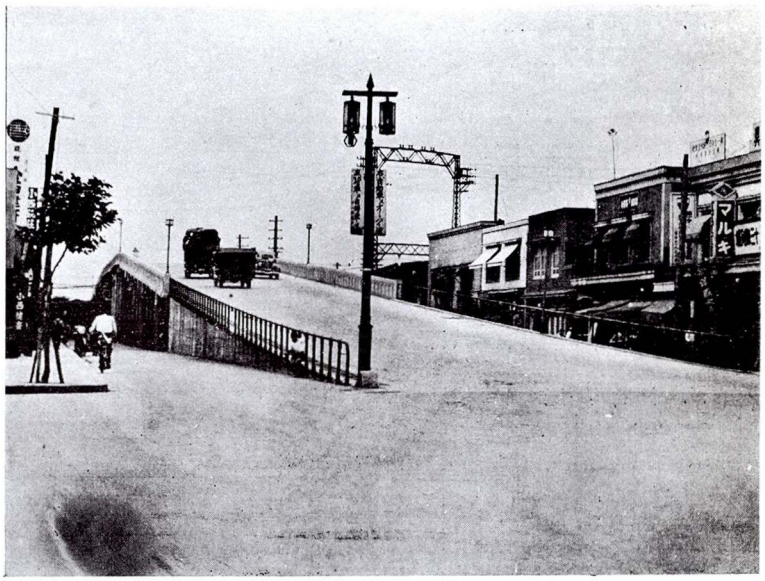


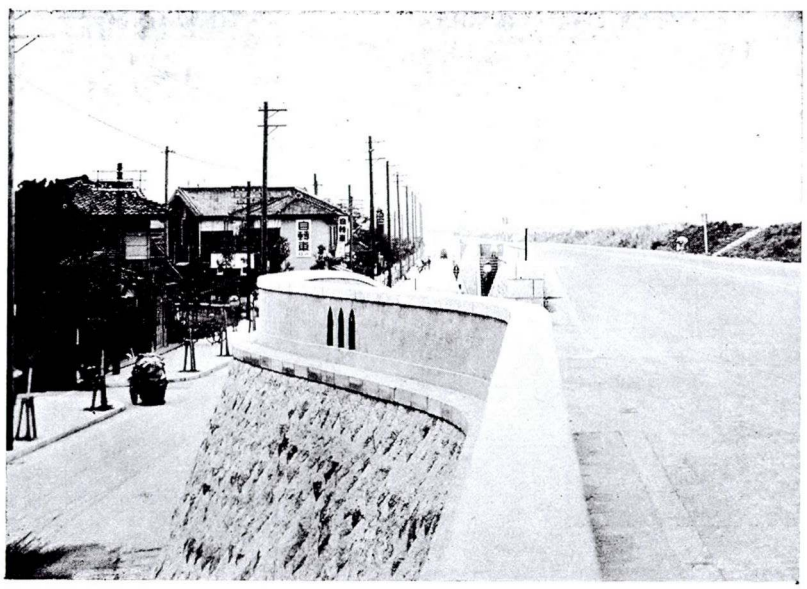
立體的街路

日に增し繁盛さなる都市交通を圓滑迅速に取扱かはんさするには、先づ交通路の立體化が必要である。就中、道路或は鐵道の平面交叉を立體交叉に改良することは比較的古くより唱導されてゐるが、最近に至り交叉點のみならず、一般的に之を高架或は地下になす必要に迫られて來た。最も徹底せるものさしては、一般に鐵道は地下に、自動車、荷車、自轉車等は地表面に、人は地上へさ各交通の分離を行ふべきものさ考へられてゐる。

7. 大阪池田線中津附近（寫眞上）

大阪池田線、阪神電鐵北大阪線、阪急電鐵神戸線及寶塚線が相並んで高架さなり、其の下に梅田驛に至る省線貨物線が通じてゐる。寫眞は濟生會大阪府病院の屋上より撮影せるもの。





8. 大阪池田線十三附近（寫眞中）

大阪池田線さ大阪伊丹線の會合する所。大阪池田線の高速車道のみが阪急電鐵神戸線の上を渡つてゐる。郊外の町々も斯くして新しい香に浸たされて行くのである。

9. 大阪次田線長良橋附近（寫眞下）

地形の關係上、緩速車道及歩道、高速道、遊歩歩道(堤上)の三段に分れ、一寸趣のある風貌をしてゐる。道路は必ずしも同一平面上になければならぬさ云ふ理由はないのである。



大阪憲兵隊檢閲濟　昭和11年7月13日第8號

御　堂　筋

御堂筋は、更生第一次都市計畫事業として決定せられた、大阪驛前難波驛前間、幅員二十四間乃至五十四間の、大阪市中最大の街路で、今や殆ど其の完成に近附かんとしてゐる。歩道、緩速車道、綠地及高速車道の四部分に區別され、尚地下には大都市交通上缺く可からざる高速度鐵道が通じてゐる。この高速度鐵道は、大正十五年都市計畫として確立され、昭和四年同事業となつた所の、總延長約二十粁、工費約八千萬圓、大阪市執行のものの一部である。目下着手中の大阪驛前土地區劃整理及之等事業の完成の暁には、堂々たる大都市の面目を呈するに至るであらう。

10. 御堂筋心齋橋附近（寫眞上）

十合百貨店の屋上より撮影。御堂筋は交通上からも綠地帶としても、大阪市民にとつてはなくてはならぬ街路である。併し其の沿道の建築物の又何と貧弱なことよ。大都市の大街路に適はしい耐火的高層建築物の建ち竝ぶ日の驅て來らんことを樂しみに待つてゐよう。

11. 御堂筋本町附近（寫眞中）

地下鐵の乘降出入口が緩速兩車道の中間に顔を出してゐることは、御堂さんと瓦斯ビルが相竝んでゐるよりも數倍なかしい。

12. 堺筋瓦町附近（寫眞下）

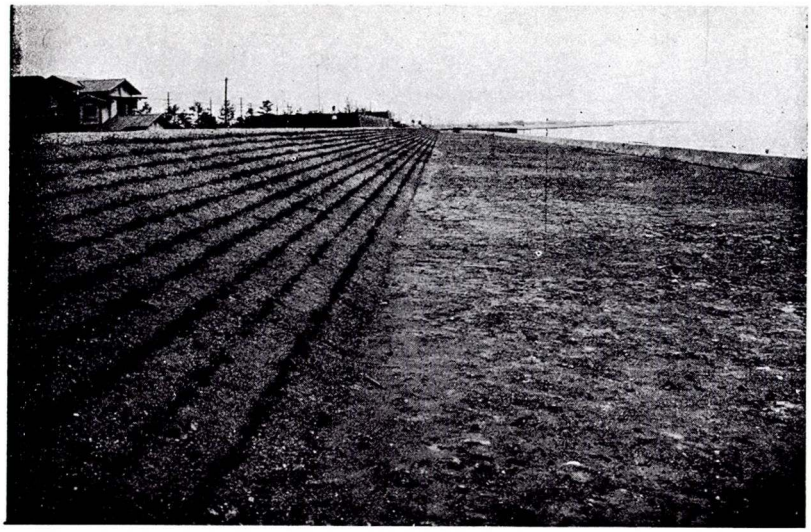
左端より、滿鐵ビル、野村ビル、第二野村ビル、山口ビル、生駒時計店等堂々たる建築物が櫛比してゐる。





堺　筋

堺筋は、昔堺の商人の移住によつて形成せられた街であると謂はれてゐるが、路面電車の敷設と共に其の幅員を擴張せられたもので、大阪市目抜の商業街として重要な位置を占めてゐる。大廈高樓櫛比してゐるやうではあるが、昭和八年六月（この調査は大分古いが）によれば、この街路に面する建築物の總面積僅に約八萬坪、即ち大丸百貨店約六箇の床面積に相當すると云ふ遺憾な狀態である。御堂筋の完成と同時に堺筋の交通量は減少し、商業街或は事務所街としての機能を一層發揮するに至るであらう。

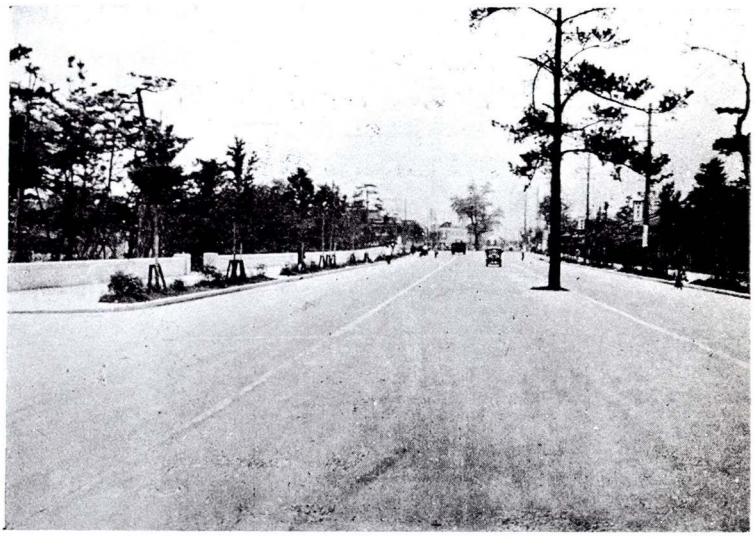


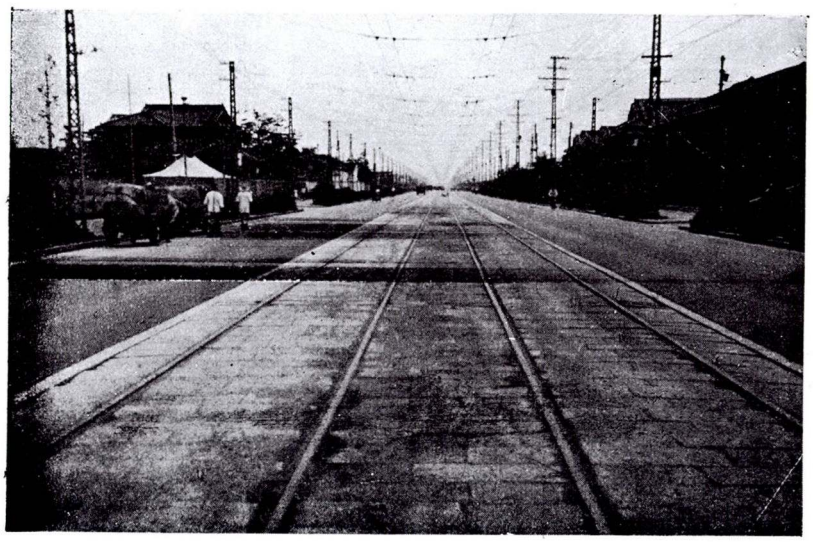
防　潮　堤

昭和九年九月二十一日關西地方を襲つた未曾有の大風水禍に鑑み、突發的高潮の襲來による被害を輕減せんがため、堺、大津及高石の各都市計畫區域内の海岸に、總延長八千四百五十五米、事業費約百萬圓を以て、大阪府知事執行の都市計畫事業として、昭和九年度より同十一年度迄に實施することになつた所謂防潮堤は、我國都市計畫界に於ける最近の特徴ある施設であらう。

13. 防潮堤堺市湊附近（寫眞上）

寫眞に見られるやう、右端よりコンクリート壁、松樹林この場合には未だ植えてない上五米の芝生及遊歩道のある堤防の三段構として周到なる注意が拂はれてゐる。



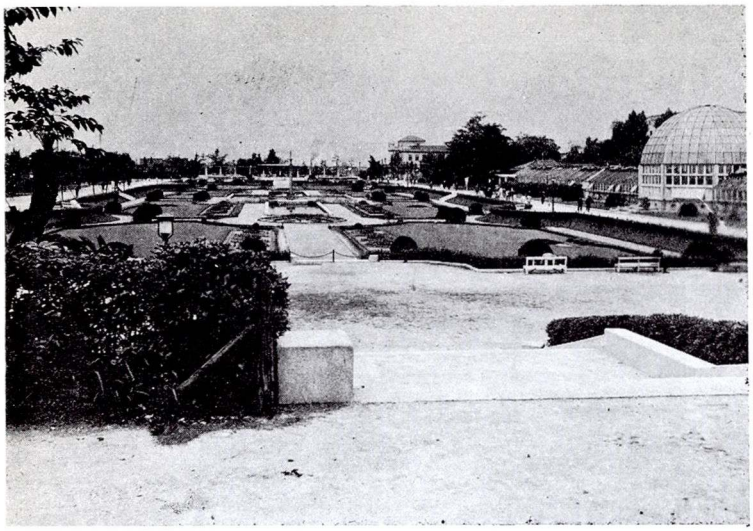


14. 國道拾六號住吉公園附近（寫眞中）

國道拾六號は所謂放射路線の一で、大阪市と南海方面とを連結する重要幹線である。この附近に多い老松を其のまゝ車道の中に殘した所、中々大膽といへば大膽である。左手は住吉公園である。

15. 國道拾六號堺市湊附近（寫眞下）

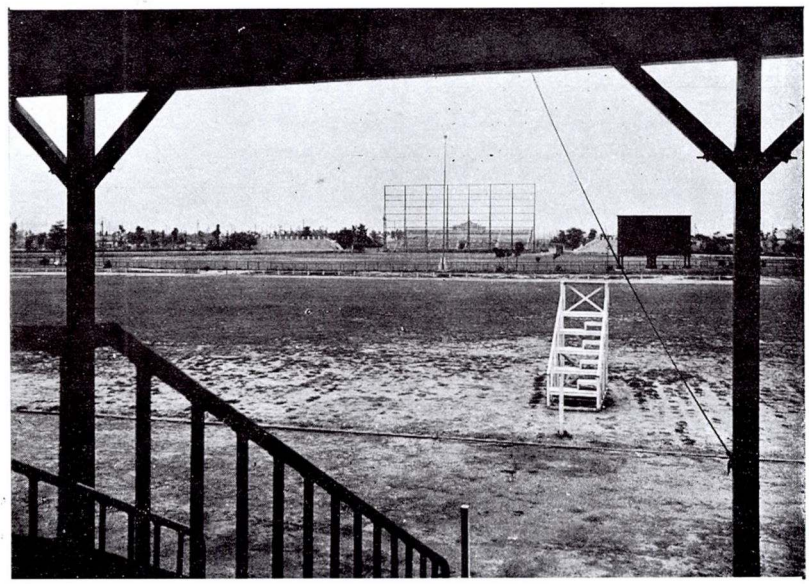
歩道上の植樹帶を一般の手法擴より大して樹木芝生等の植え込んだ所、確に秀逸である。唯路面電車を中央に敷設したのは、交通上果して便不か便か疑問であると思ふ。



天王寺公園

天王寺公園は、明治三十七年第五回内國勸業博覽會場の跡を利用して起工、明治四十二年開公したもの、其の後大正三年には動物園が開園され、昭和元年には住友家より舊邸地慶澤園及茶臼山が寄付され、又屢々擴張及改造を行ひ、茲に現在我々の見る近代的都市公園が完成したのである。其の面積約七萬坪。動物園の他、溫室、ロツク・ガーデン、音樂堂、記念碑、3競技場、兒童遊技場、貸ボート、林泉、花壇等、或は美術館、市民博物館等の完備あり、交通上、慰樂上の中心地たる南大阪の一角を占むる重要な地點に介在してゐる。大阪市中心地に位する公園の中、面積最も大なる貴重な公園である。

寫眞上は南大阪の雜沓を他所に、此處は別天地である。但し、一般市民より寧ろルンペン氏等の利用率大なる我國都市公園の狀況が此處にもよくあらはれてゐることは遺憾るである。



住江公園

住江公園は、昭和二年起工、同五年に竣工した府公園で、面積約四萬四千坪である。この地一帶はもと蘆荻叢生せる埋立地であつたのを、大和川の土砂を以て公園敷地とし、貧弱ながらも住吉公園とは公園道路を以て連絡せしめたものである。昭和九年九月の大風水害のため園内各施設及樹木の大部分は甚大な被害を蒙つたが、其の後着々舊工事進捗し、現在では、競技場、野球場、庭球場、二十五米プール等運動本位の施設を始め、大弓場、花壇、溫室、兒童遊技場、釣池、貸ボート等市民の慰樂休養に對する萬端の施設が整備するに至つたのである。

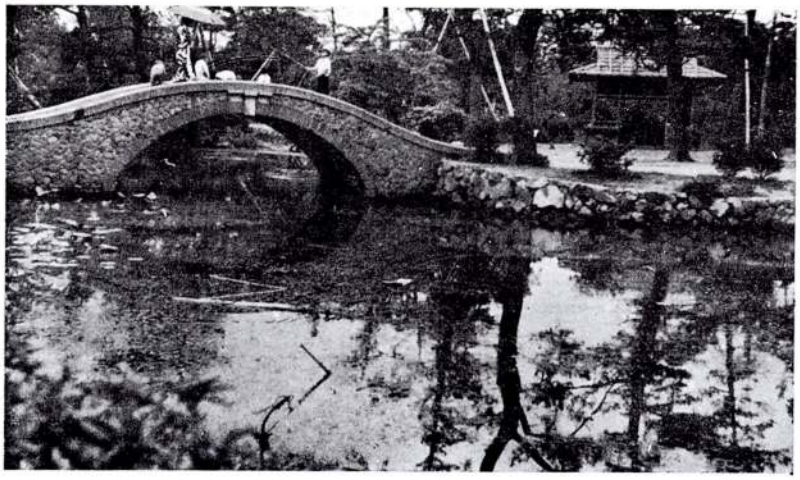


17. 住江公園野球場（寫眞中）

正面遙かに見えるスタンドは、昭和九年の大風で其の屋根が全部吹き飛ばされたが、其の他の施設萬端は舊態以上に備はつてゐる。この部分は云はば運動競技本意の場所である。

18. 住江公園瓢箪池（寫眞下）

公園北端の風景で、芝生と砂利が美しい。この部分は云はば慰樂休養本位の場所である。



19. 住吉公園

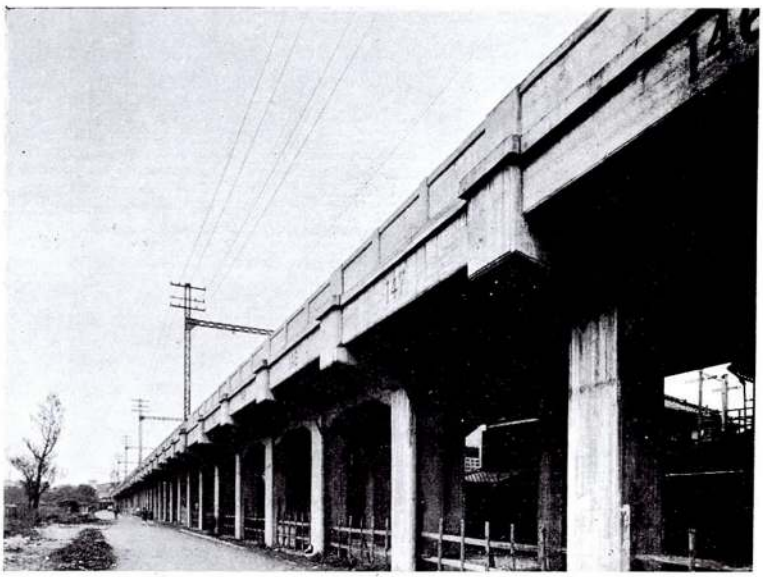
住吉公園は、もと住吉神社の馬場であつたが、明治六年允許を得て府所管の公園となつたものである。當時の面積は約三萬九千坪であつたが、其の後南海本線敷及以東竝に國道十六號敷として拂ひ下げたため、現在の面積は約二萬八千坪に減少してゐる。併し、園内各施設の改善施設は着々進捗し、昭和九年九月の大風水害の餘波を受け惜しくも古來の松樹に大損傷を蒙つたに拘らず、現在では、黒松の疎林を中心に、築山、池、花壇、運動場、兒童遊園等豊かな都市公園としての風貌を備へてゐる。昔この地一帶は入江が所々に介在してゐたため、住の江又は墨の江として知られてゐた所である。

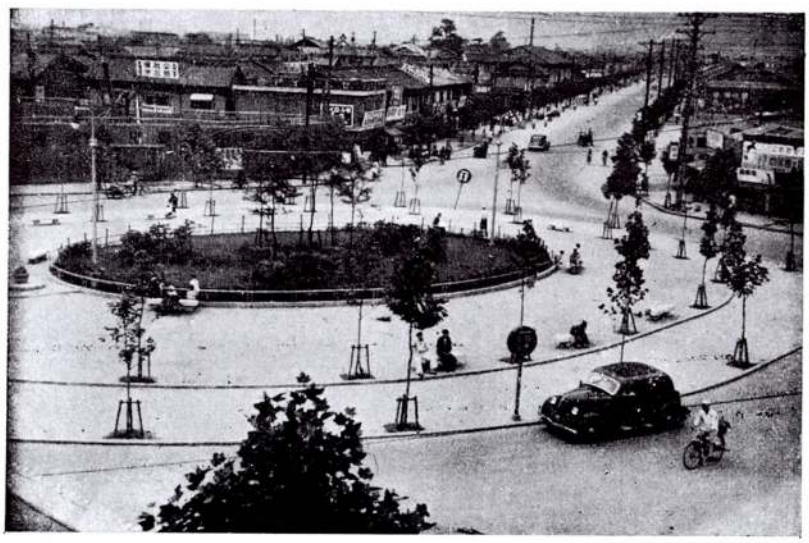
萬葉集　住の江の岸松原とほつ神わが大君の御幸しところ　　角麻呂

寫眞上は公園の南端にある池や橋を撮影したもので、大人にとつても子供にとつても自然的風景を多分にもつたよい進歩道である。

省線城東線

城東線は舊大阪市の外周を繞り、大阪驛と天王寺驛とを結ぶ所の、都市交通緊要の路線であることは云ふ迄もない。この線はもと大阪鐵道と稱し、明治二十八年五月に蒸氣機關車として開通したのであるが、遂に先年昭和八年一月電化と共に高架線となつたもので、茲に都市防護上からも新しい役目をもつこととなつたのである。即ち、本年四月の大阪都市計畫防火地區の追加變更によつて、この高架工作物内の建築物





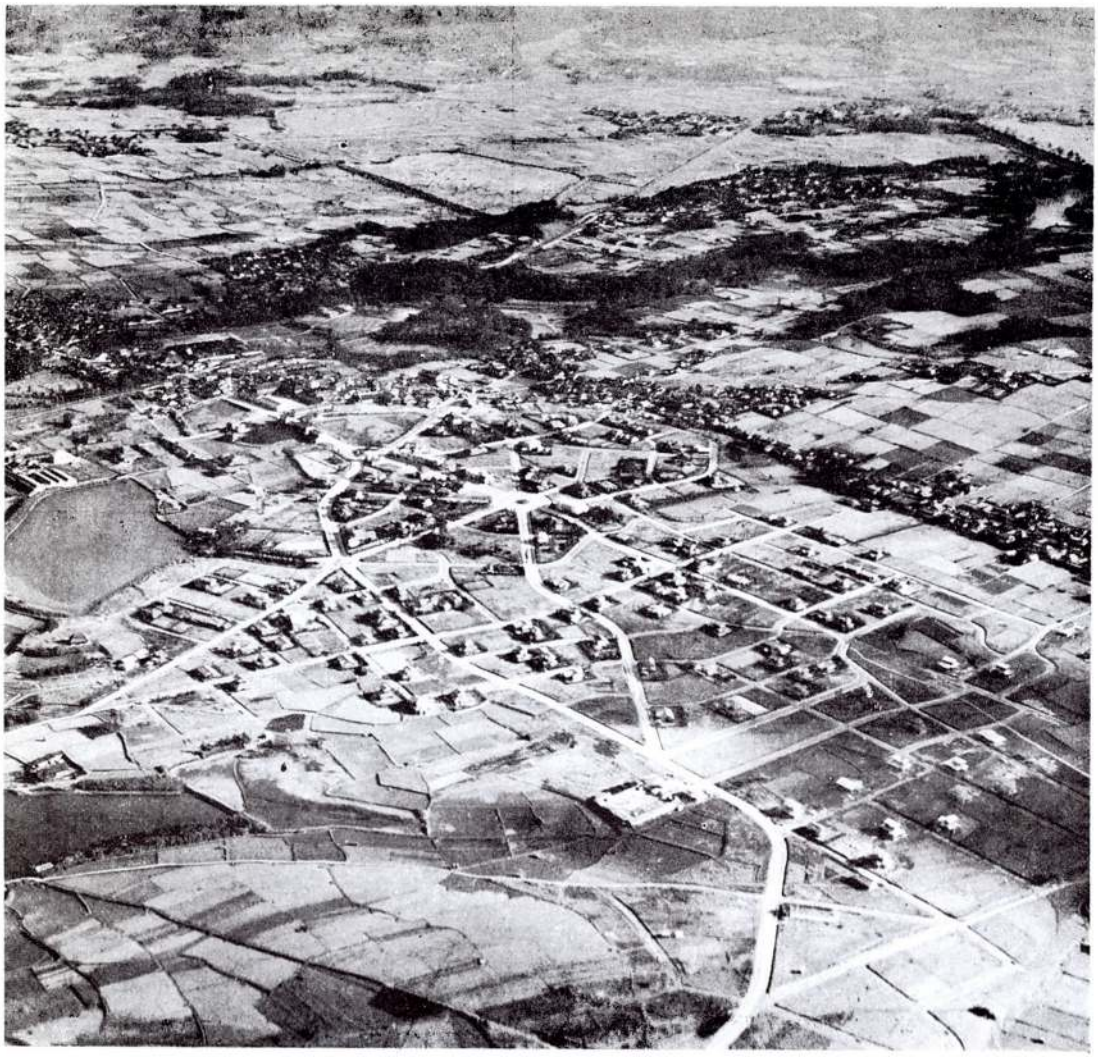
の敷地が殆ど全部甲種防火地區に指定せられ、都市の火災の延燒を防止せんとする手段にも利用されるに至つたものである。

20. 城東線鶴橋驛附近（寫眞中）

この部分、現在は未だ高架下を利用されて居らないが、一日も早く耐火建築物の簇比により、力強い都市の護りとならんことを祈つて已まない。

21. 今里附近循環式平面交叉點（寫眞下）

循環式平面交叉點とは、適當なる廣さの中央島を設け、諸車が其の周圍を同一方向に回轉し停止することなく所要の街路に向つて進行し得る平面交叉點で、大阪枚岡線の今里附近のは大阪唯一のものである。



大阪憲兵隊閲検濟
昭和11年7月13日 第8號

22.大美野田園都市　南海難波驛より車程約二十五分、高野線北野田驛より、最短三町最長二十町の地點に在る
（本寫眞は田中清志氏より貸與）

大美野田園都市

大美野田園都市と稱する住宅經營地は、廣袤約四十萬坪を抱擁する一大丘陵地に在り、上下水道完備し、其の道路系統の案配に尠からぬ興味を見せてゐる。現在、住宅約百七十戸、商店約三十戸。我日本建築協會も、昭和七年此處に建つ理想的住宅の設計案を廣く江湖より募り之を實現し、大いに之が後援に努力を拂つたものである。寫眞は其の飛行機上より撮影したものである。

近時都市の住宅問題は多大の關心を以て研究されてゐる。幸大阪府に於ては我國最初の都市計畫事業としての小阪町營住宅經營地を始め、又從來より各電鐵會社及土地會社等が之が經營に當つてゐたが、其の質に於て或は其の量に於て、未だ全體として自負し得るに至らないことは遺憾である。（吉田信武記）

都市計畫と地方計畫

片岡安

建築物の集團たる都市は、古代より近世に至るまで、何れも一國の代表的要素を具備し、政治經濟はもとより、凡ゆる風俗習慣の淵源地であり、文學美術の發生地であつたが、近世に至り、自然科學の異狀なる進歩に基く所の交通機關の普及と產業組織の革命とは、更に都市をして急轉直下の勢を以て頗る活發なる進展に向はしめ、人口の都市集中を益々盛ならしむるに至つたのである。從つて、都市生活が個人の生活上果して幸福なりや否やを考慮して、必ずしも各人が之に集中するのではなく、國民の產業戰の自然的の須要條件として、都市が盛に膨脹せざるを得なくなつたのである。

都市計畫とは、多く過去の都市に見られる如き其の無軌道的生長を避け、都市及其の附近が時と共に進むべき健全なる方向を決定し、調和ある有機的發展を可能ならしむべく指導し、保安、衞生、利便、快適上秩序ある能率よき都市生活を行はしめんとすることを目途とするもので、歐米諸國に於ては第二十世紀の初葉より、我國に於ては大正八年都市計畫法及市街地建築物法の發布前後より、夫々稍々本格的の手段が講ぜられるに至つたのである。土地の用途を規律し建築物を統制せんとする地域制の確立、各種災害を輕減又は防止せんとする都市防護策の樹立、複雜なる交通を圓滑迅速ならしめんとする交通施設の整備、其の他、衞生上、美觀上、慰樂上必要なる各般の都市的施設の綜合的策立等、何れも之が實現に對する最も緊要なる方策であるが、我國に於ては遺憾乍ら今尙其の顯著なる効果を擧げし例には頗る乏しい。

尙又從來、斯かる計畫を樹立せんとする場合、屢々都市と農村或は市街地と農耕地とを夫々相孤立したものゝ如く取り扱はんとしたことは深い誤で、之がため一貫せる眞の綜合的計畫を期待することが出來なかつたのである。都市は都市として、農村は農村として、各我々人間生活に缺く可からざるものなる故、夫々の特性を愼重に調査研究し、其の進むべき方向に之を指導統制し、以て相互の健全なる發展を期せねばならぬのである。

地方計畫とは、即ち、住宅及工場等の地方分散及再集中を計り、其の間に適當なる農耕綠地竝に交通機關を配置し、以て大都市の不健全なる過大化を抑制し、未開發地と既開發地とを問はず、一體として最も能率的にして健康的な有機的關係を得んとすることを目途とするものであつて、輓近世界各國に於て競つて之が研究及實施に邁進してゐるの現狀である。

邦家のため、社會のため、建築家を始め凡ゆる人士の愈々斯道に滿腔の關心と努力とを拂はれんことを望んで已まない次第である。

都市計畫より地方計畫へ

中澤誠一郎

都市計畫が都市の救濟の爲に一役買つて出たことは都市の爲に決して名譽なことではなかつた。元來都市計畫の必要でない狀態にあることが最も幸福なことである。(茲に云ふ都市計畫とは都市の制限と改造を目的とした都市計畫のことであつて、理想都市建設の爲めの計畫を指すのではない)。然し乍ら現代の社會的機構、經濟的機構からして現代都市の趨勢は、都市の名譽不名譽にかゝわらず、せめて都市計畫によつて都市の病弊を救濟せざるを得ないのであつて、之が最近迄の世界的傾向であつた。そして今日はどうか、今日では更に之れ丈けでは未だ物足りないといふ情勢に立ち至つた。立ち至つたといふよりは目覺めたといふ方が當つてゐるかも知れない。

◇

都市計畫が市民の一部に未だ關心の薄いところのあることは自己の病氣を自覺せざる者への憐愍を禁じ得ないのであるが、それとは反對に、正しい都市計畫の認識がなされずに、都市計畫を過信せるものも亦可成り多いと思はれる。なるほど都市の構築に對する計畫統制を爲してゐる。土地の利用を統制する用途地域制、街衢の整齊を目的とする土地區劃整理並に建築線制、都市の過密防止の爲にする容積地域制、防火地區、美觀地區、風致地區等の地區制、都市建築に對する構造制限、都市の公共的施設の計畫並に事業等がある。けれどもその病弊の因つて來るところの原因に就いて、どれ丈け考慮が拂はれてゐるか。都市の惱みの最大原因たる都市への人口集中に對する根本方策を樹てることなしに、これを宿命的なものと諦らめ、都市に於ける反道義的、反社會的、即ち極端なる個人主義利己主義的な存在に對しては靜觀し、經濟機構のあるが儘の狀態を前提として進められてゐるところの一種の對症療法たることが現代の都市計畫である。故に飽く迄都市獨善的であり、消極的である。

又都市計畫は都市を誘導してゐるかのように見えて實は都市の背に乘り、それに引き廻はされてゐるのである。都市の發展は都市計畫の實施の有無を超越してゐる。極端にいへば寧ろ都市計畫制限あるが爲に却つて其の區域外が亂雜に都市化しつゝある。郊外地の土地區劃整理の如きは最も然らざる部類に屬してゐるのであるが、仔細に見る時は之亦都市の發展に順應して危ふくもその場の體面を維持してゐるのであるが、その時分には都市の中心は最早第2の改造を餘儀なくされる迄に追ひつめられてゐるのである。都市の外延的發展はいはずもがな、分集的發展をしたところにしても、いづれは大都市の魔手の内に收

めらるべき運命を持つてゐる。かくて都市の農村への浸潤は停るところなく、大都市は小都市を併呑して行く。都市計畫は各所にその必要が認められ、そしてそこでは都市的に慣らされた眼と手を以つて都市を形成する計畫が進められて行く。斯の如く都市計畫が消極的な施設であると同時にいつ迄も都市のみに眼を奪はれ、その結果都市の魔術にあやつられてゐることが現代都市計畫の最も顯著な特質である。

◇

かく考へる時都市計畫は必然的に大旋回を要求せられる。大旋回の指令は次の質問の形式で發せられる。

1. 都市計畫を必要とせざる社會機構如何
2. 都市計畫を必要とするならばその觀點の是正如何

都市計畫を必要とせざる社會は實にそれ自身ユートピアである。然し假りに國土内の一局所にかゝる都市が存在するとしてもそれだけでは大きな意味はない。都市も農村も國土を擧げてのそうした社會機構であつて初めてユートピアたり得るのである。私は今之に對する答は出來ない。けれどもユートピアは總ての人が胸底に秘めて居るところの人間の本能であるといふことを再認識して置くべきである。英國に於ける田園都市運動はこの意味で、その動機に興味深いものがある。

然し乍ら都市計畫の必要は、あらゆる角度から見て、眼前の事實である。而も今日の都市計畫に足らざるものありとすればそれは何か、その觀點にして誤りあらばこれを是正すべき點はどうであるか。思想上の社會機構上の又は經濟機構上の匡正は出來ないまでも、

1. 都市の人口集中に對する方策を講ずること。
2. 都市を都市外より眺め之を抑制すること。

位は少くとも出來得ることであり、當然追加變更されねばならぬ都市計畫の旋回點である。

◇

都市の人口集中に對する方策としては大都市の人口分散と分散せられたる人口の衞星都市への再集がある。又都市を都市外より抑制することは都市と農村、大都市と中小都市との分割と各種土地の用途による建築物の制限禁止を要するのであつて、この爲には必ずしも行政區劃に促はれることなく、且近畿地方の如く京阪神に亘り大都市が複合的に關聯し合つてゐる場合は、これらと附近農耕、山林地全般を一括綜合して計畫すべきである。又此の爲に過大都市に在りては特に其の彊界を市の限界とする爲に形態的にも特殊の考慮を要し、その有効さを保障しなければならぬ。テーラーの衞星都市論、ホイットンの地方地域制論等は何れもこの觀點に立つたもので多くの示唆を投げかけてゐる。本年5月富山市にて開かれたる全國都市計畫協議會に於ける近畿2府5縣都市計畫地方委員會聯合の提案近畿地方計畫試案も亦此の行き方に外ならない。

◇

大都市に於いては人口(工場と住宅)の分散は既に自然的要求——都市人の要求と、これに眼をつけた企業者の努力——に依つて行はれ所謂衛星都市を形造りつゝある。然し乍ら今眼を農村に向けて、そこから大都市を眺めるならば、又そこから此の衛星都市を眺めるならば、都市の人口集中に對する解決策の鍵を見出すであらう。即ち都市と農村との相關的關係は其の經濟の上より見るも極めて密接にして概ね對蹠的の位置にあり人口の集中も亦これと密接不離な關係にあることはいふまでもない。簡單にいへば都市の人口集中は農村より出で來るのである。故に農村の窮乏を救濟し、農村に村民を定着せしめ得るならば都市の人口問題を解決し、都市と農村との相關的不均衡、大げさにいへば兩者の相剋を解消し得るのであつて、之が爲に唱道せられてゐるのは農村の工業化である。

◇

農村の工業化に就いては、農村を種類の選擇されたる都市工業化するか、又は農村に於ける農產物を工業化するかの問題は經濟機構に關しても重要なる問題であるのみならず衛星都市の施設並に形態も之に依つて左右せらるゝところが大きい。

更に對象とする農村を都市附近の農村に局限するか否かに依つて地方計畫たる範圍を出でゝ、所謂國土計畫として論議せらるべきに至るであらう。人口問題はそれ自體としても、又土地政策を加味せざるを得ざる點よりするも早晩、國土的の計畫を必要とすることは自ら想像に難くない。都市計畫は今や地方計畫へと進みつゝあると共に殆んど同時に國土計畫に進みつゝあることは、むしろ當然といふべきであらう。

◇

地方計畫を以つて單に各個の都市計畫が聯絡を保ち、互に齟齬せざる爲めの聯合計畫であると爲すことは當らない。成る程地方計畫としては、爲すべき計畫の種類は多い。その中には單にそうした聯絡の爲に便宜の多くなる種類もないではなからう。然し之を以つて地方計畫の性質を一般的にいひ表はしたものとは言ひ難い。

又都市計畫の適用範圍又はその區域を擴大することによつて綜合計畫を爲し得るとなす說又は特に之が爲に大都市のより過大なるものを期待する大都市計畫論、又は大都市讃美論の如きは既に地方計畫とは似ても似つかぬものであり、地方計畫の眞髓を見出し得ないものといふべきである。

◇

今や都市計畫の主流は國土計畫を期待しつゝ地方計畫へと進みつゝあるのであるが、都市計畫そのものが不要となつて地方計畫が取つて代り、又は將來それが不要となりて國土計畫が取つて代るといふような意味ではない。都市計畫を以つて都市の施設計畫足れりとして居たことに大なる認識の不足があつた爲にその觀點を都市外の農村を含めたる地方計

畫に移し、都市の人口を分散せしむる根本方策を樹てその角度よりする諸般の計畫に基いて都市計畫を爲すの謂である。其の結果之れ迄問題としてゐなかつた複雜なる條件が地方計畫として加はりたる爲に計畫が抜本塞源的たると同時に愈々都市計畫の重要性を加へるに至るものと見るべきである。國土計畫の樹立せられたる場合の地方計畫との關係亦同樣である。即ち都市計畫が飛躍し大旋回することは目下の急務であるが、此の時に當つて地方計畫と稱せらるゝのは都市計畫の再生の謂に非ずして、都市計畫に根本的な指針を示す羅針盤の作用に外ならないのである。それは農村への指針をも示すものである。茲に久しく別れてゐた都市と農村が慈母の膝下に手を握り合ふことが出來やう。 (11.7.11)

本號執筆者紹介

(五十音順)

荒木正己	大阪府警察部建築課
片岡安	工學博士・本協會會長
加藤善吉	都市計畫大阪地方委員會
龜井幸次郎	大阪府警察部建築課技師
中澤誠一郎	大阪府警察部建築課長・本協會常務
中村綱	都市計畫愛知地方委員會技師
吉村辰夫	都市計畫東京地方委員會技師

8月號

都市計畫—地方計畫—國土計畫

吉　村　辰　夫

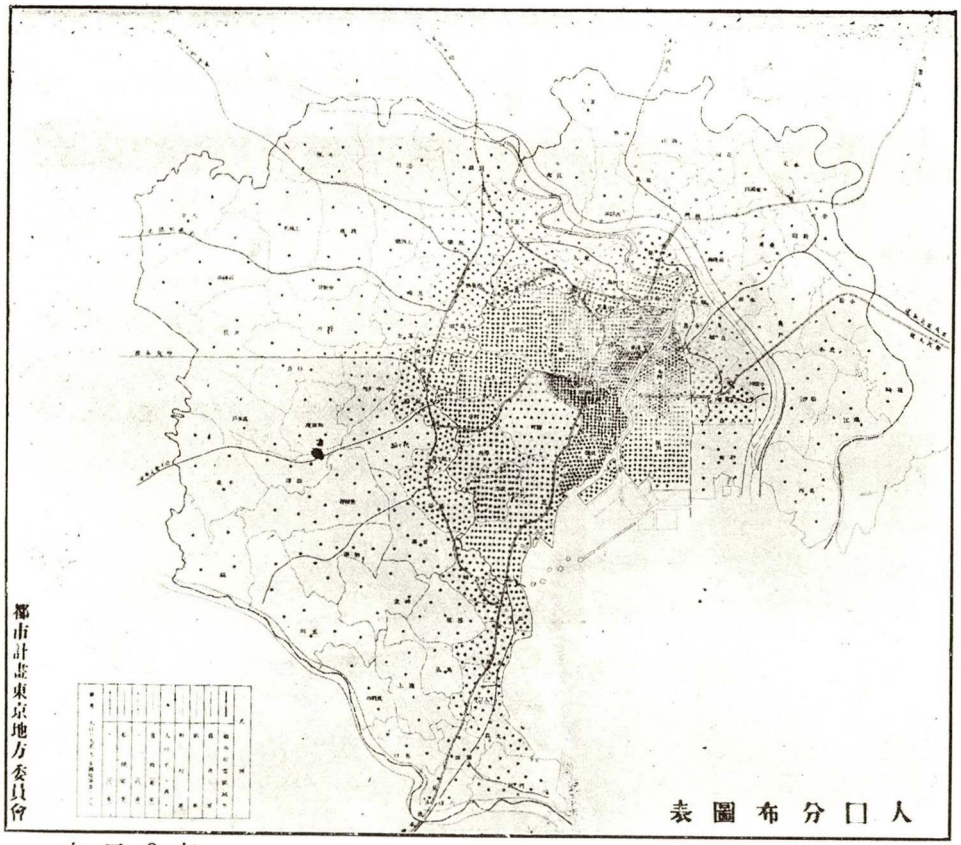
都市計畫法が我邦に制定されてから僅か20年の間に適用都市は凡そ100以上を算へるに至つた。そして何處の都市計畫に於ても大都市主義の理想の下に都市機構の擴大化に向つて專念する處となつたが、行詰つた既成大都市にあつては、近年計畫の推行上大いなる難關に逢着したのである。今日の問題たる地方計畫又は國土計畫への思想的轉化は實に此の打開策としての新しい傾向であると謂へよふ。

1. 都市のリベラリズム

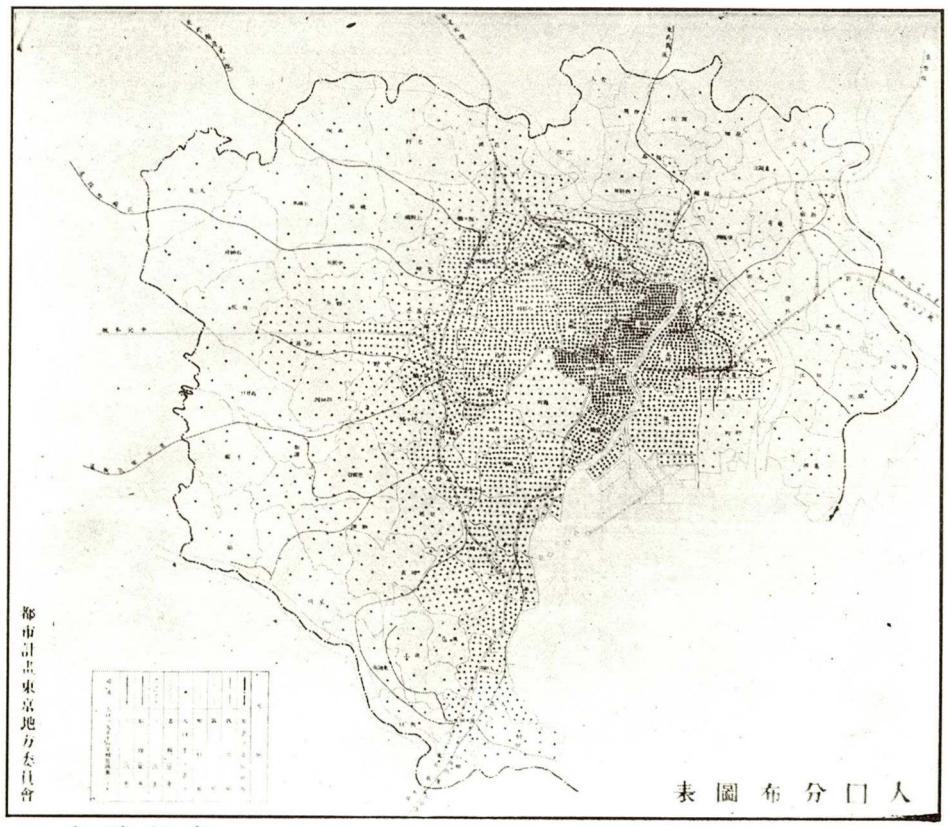
都市其自體の發育が交通と經濟の波に乘つて驚異的な手足を伸長する場合には、單なる行政區劃や、横たわる自然の障害等を踏越えて極めて自由な飛躍の途を辿る。そして斯ふ云ふ場合には往々都市計畫上の種々の施設又は制限が其伸長力に反つて拍車をかけることがあるばかりか更に之が逆用されて制限地から無制限地に、對象たるべき都市内容の流出を見ることがある。斯ふした場合の對策として、一應計畫區域の擴張によつて、其弊害排除の統制を講ずることも考へられるが、然しそう云つた手段は都市自體の認識に對して何等の根據、理由を見出せ無い姑息の手段たるに過ぎない。惟ふに現今の都市は恐らく其の擴張化のみを考へるばかりで其自體の使命から、能力から、其内容からどれだけの發展を必要とするかと云ふ點に付て、深い内省は餘り加へられてゐない様である。例へば都市の人口に付ても凡そ如何なる目標を置いてゐる都市があるだろうか。斯ふした大都市に向つて無制限の發展を希ふ事は、結局、國土を都市の蹂躙に委すと云ふことに他ならない。

そして荒癈し盡した農村と密住の都市との對立は遂て國土に重大な經濟的平衡の破綻を招くに至るであろうことは明白である。そこで現在に於て最も留意しなければならぬ事は都市の自立即ち自立的都市の建設と云ふ點である。換言すれば都市をして其本來の使命に立歸らしめ必要なる分野に止まらせる方針を確立しなければならないことである。

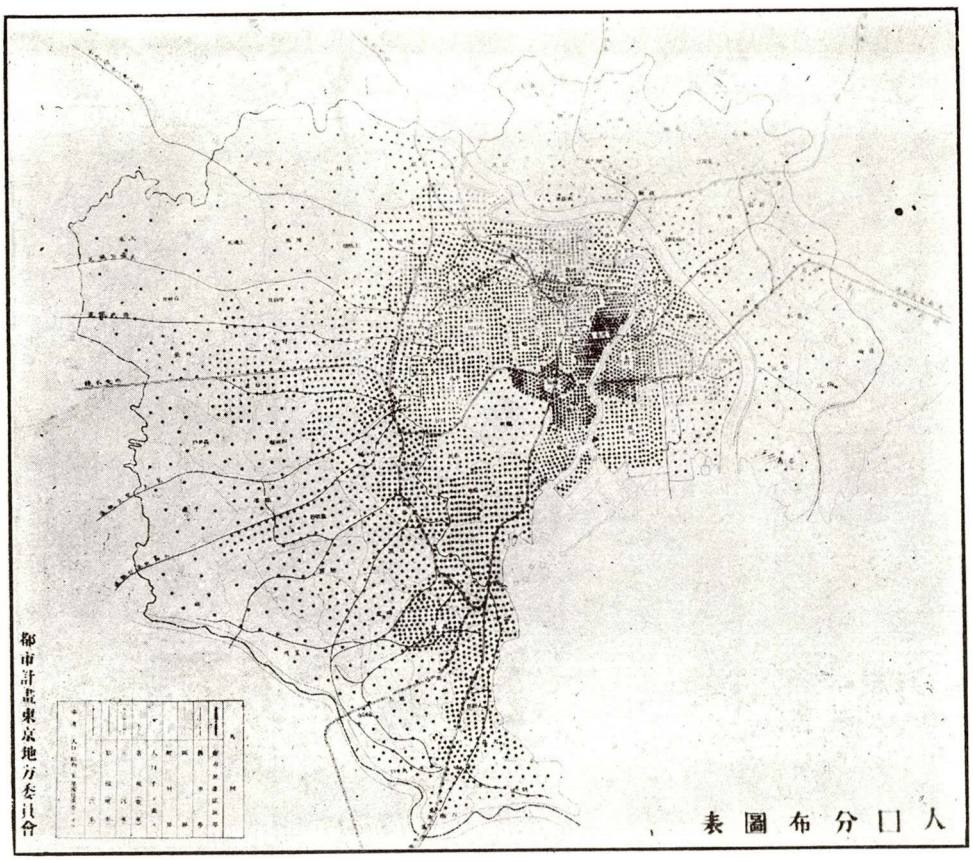
溯つて此處に一つの事例を擧げよふ。東京市と荒川放水路一つを距てた川口市は近年非常な工業の躍進を見せた。川口市は從來鐵工業の隆盛を以て著名であつたが近年の發展は之に依るものではなく種々の工業が入込んで來た爲である。之は勿論東京と云ふ大きな消費地に近接して居り、地價安く、未開地が多く、更に中仙道の改修に依て交通の便宜が非常に好都合になつたからではあるが。此の發展の内容を檢討して見ると明らかに東京の工業の手足であり、唯形式的な行政區劃が介在するに過ぎないのである。事實、川口は埼玉



大正9年



大正14年

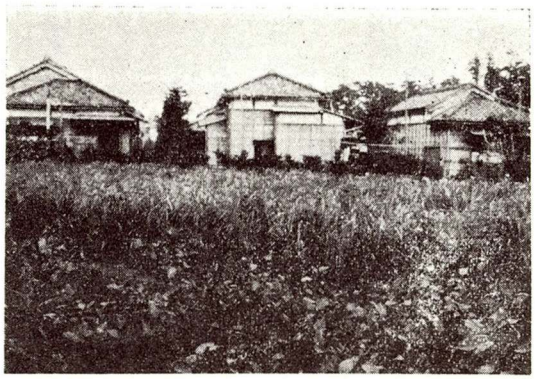


昭和5年

縣の南境に位し、獨自の都市計畫區域を有し、計畫が施行されて表面上東京とは何等の連關を認められて居ない。であるから此の二つの都市計畫の協力を願ふものとすれば恐らく兩都市の當局者の談合に依つて解決する他に途はない、もし不幸にして其が失敗に終つたとしたら都市の相剋に依て交通、經濟の關係に非常な矛盾と不都合が生れて、都市計畫の意義は沒却されてしまふと云ふ重大な危險を招くのである。そうなつて來ると都市計畫當局者は自分の領域から對岸の事象を結局拱手傍觀しなければならないことになる。單に川口市に對するばかりでなく川崎、市川、等の隣接都市に對しても同樣であり、恐らく大阪市に於ても、他の都市にあつてもそうであろうと信ずる。然し問題は斯ふ云つた事が果して都市計畫の妥當な行き方かどうかと云ふ事にある。

2. 其の結果

大都市を自由な自然的發展に委せてゆくならば、農村は次第に遠郊に驅逐され從て我々の日常生活品の需給に大きな影響を與へるやうになる。然し、斯ふして農村を破壞しつゝ行くことが果して都市に幸福を齎すか否かは疑問である。都市生活者の多くは都市と農村



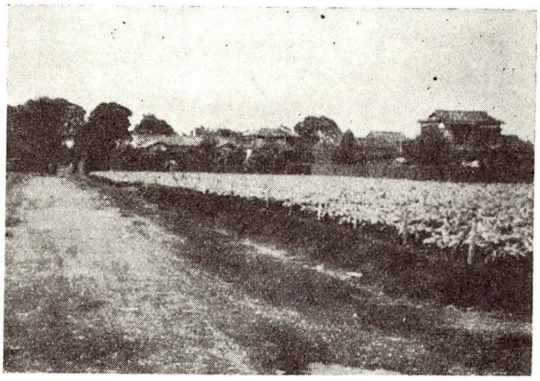
蝕ばまれゆく農村

を全く別個のものと考へるかも知れないが、之は皮相的な觀察であつて、事實、農村と離れて成立する都市はあり得ない、若しあつたとしても其は不健全なものであるに違ひはない。此の理由は極めて簡單だ、即ち人間の生活を無視しようとする考へ、つまり食料無き生活を可能とする極めて不自然な矛盾を肯定しなければならないからである。此の意味からして都市農村の兩者は互に有機的關連と密接な利害關係を持つのであり亦持たねばならないのである。又郊外の農村に付ても、豊富な勞働力の供給と、肥料の容易なる取得と、市民嗜好の變化に對する隨時適應の故を以て、都市に近ければ近い程、其の收益が擧ることは已に證明されてゐるし、事實近郊蔬菜は年々改良躍進をとげて、遠產品に對して常にチヤレンヂしつゝ、勝利を博してゐるのである。此の例證を東京市にとつて見ても市場旅荷280萬瓲に對し近在物は480萬瓲、即ち總額の$^{3}/_{5}$以上が近在物で占められてゐることからして容易に了解されるであろふ。

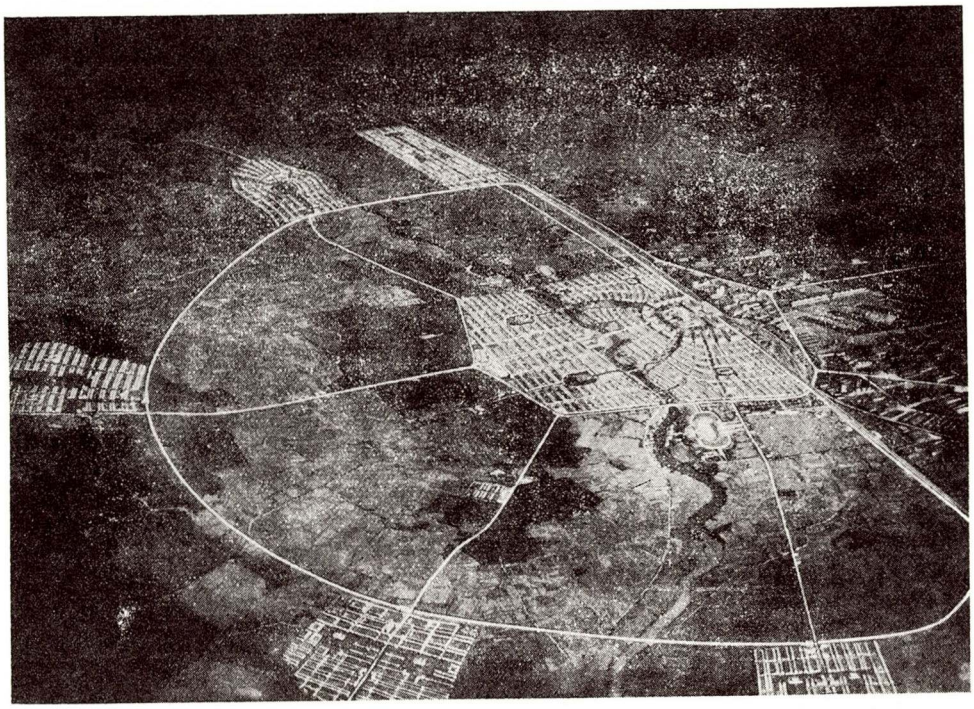
斯く考へ來ると都市近郊の蔬菜生產は都市自立の意味に於て最も必要且重大な役目を持つものであつて、絕對に切離すことは出來ない。然るに此等の農村は次第に都市に蠶食されて行く。且つての千住葱、三河島白菜、練馬大根の主產地は已に東京の陋巷に埋もれてゐる。然し都市は今尙その郊外周邊部に於て農村と爭闘し、常に勝利を奪つてゐるのである。これは土地の市街地價格と農村價格とがてんで問題にならないが爲であるに因ることは明らかである。のみならず都市の魅力は農村の子弟を誘惑する、華やかな夢を抱いて上京する青年の背後には幼老の纖細い手に委された農村が殘るばかりである。こうした都市との確執による農村の事情は餘りにも悲慘である。

3. 都市、農村の有機的結合

蝕ばまれゆく農村



彼程に必要な農村を突離してしまふ都市に、假令へそれが如何なる大都市であろうとも、何が期待出來るだろうか、而も其上都市の擴大化を自由に無計畫に進めようとする傾向が今後も尙持續されるものとすれば全く沙汰の限りと云はねばならない。故に都市の擴大化に付ては今後周到なる檢討と內省



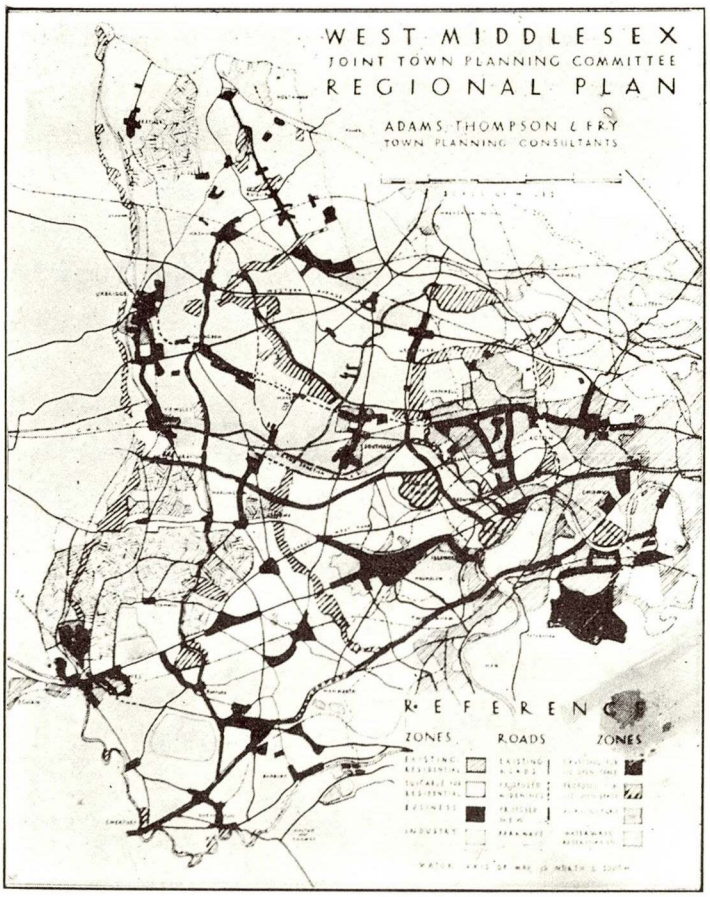
地　方　計　畫

とを加へねばならないことが必要となつて來る。都市計畫家にしても、市政當局者にしても、斯ふ云つた認識の下に、都市農村の共存と謂ふ新しい精神を以て判然たる分野を定めた計畫を樹立施行してこそ、初めて健在なる都市本來の姿に立歸らせることが出來るのであると思ふ。

誠に都市、農村の價値のウエイトは均等である。其にも拘らず從來都市のみを偏重して施設を行はふとする都市計畫そのものが國土全般の利益から考へて如何にも片手落であるとの誹ありとすれば之は甘受せねばなるまい。又都市計畫が計畫區域と云ふ形式的な區劃内に蟄居して其以外の區域の内容的連關に對して眞摯な檢討をする機會が與へられてゐなかつた事も又責められて宜いのである。

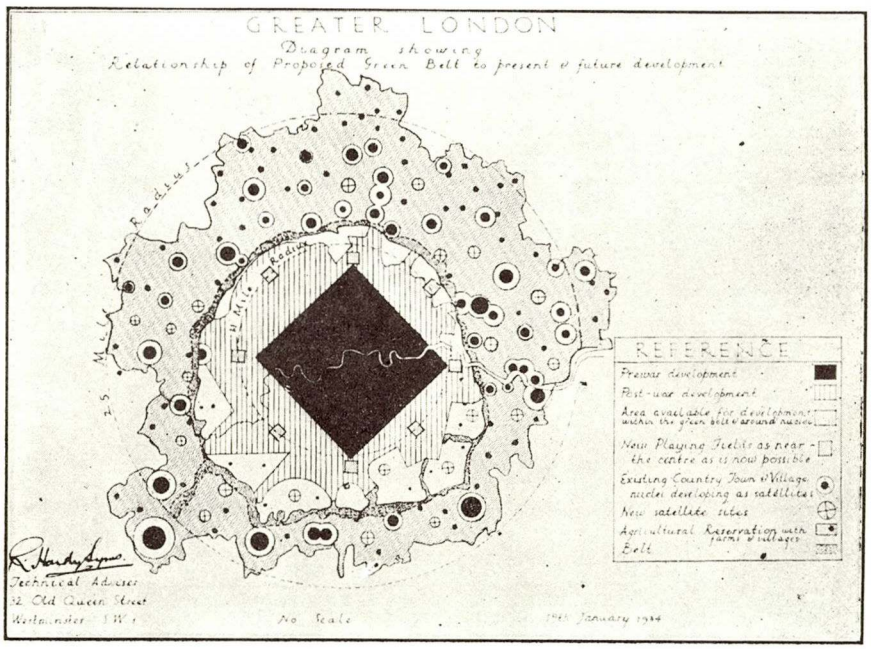
前述の如く產業は其利用、環境の條件を同じくする所に結び付くから、行政區劃等に拘束されるものではない。上毛の機業は渡良瀨川に沿つて群馬から栃木へ、埼玉北部の機業は熊谷から高崎線を溯上して群馬に迄發展してゐる事實は土地の環境、經濟、交通の諸要件の一致による爲であつて之を人爲的にはどうすることも出來ない。

利根川沿岸の水田は上は群馬から下は茨城、千葉に到る迄その灌漑用水としての利害關係に何等異るものは無い。故に關東水田の利用開發を計るには利根川流域一帶に付いての計畫を進めねばならない。之を多摩川の例にとつても小河内の貯水池計畫は下流の東京府、神奈川縣下に用水問題を發生させて長い間其の解決を見なかつたのである。即ち河川



に對する開發計畫は都市、農村の區別なく沿岸一帶に亘る計畫が根本的に必要となつて來る。又生産、消費の關係から見れば少くとも都市と農村が經濟的に結び付いた區域を含む計畫でなければならない。東京、川崎、横濱の關係は絕對に切離せぬものであると同時に地理的にかけ離れて居る桐生、足利、横濱、東京の關係も大きな糸で結び付いてゐるものと謂ひ得るのである。交通から云つても東京と群馬、栃木、茨城縣下の密接な關係は、農

地方計畫



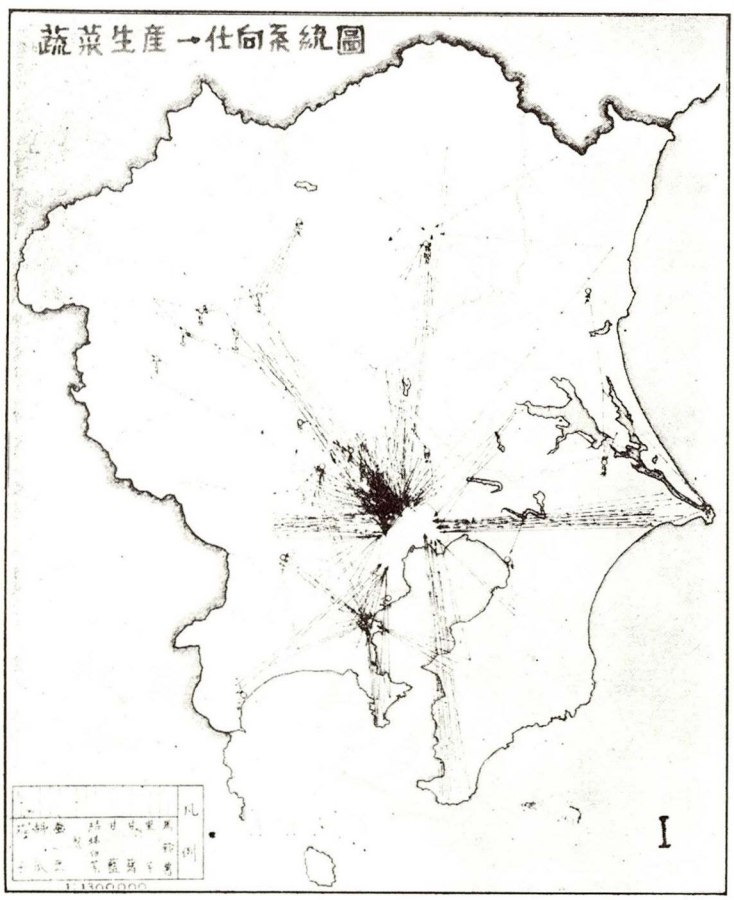
工產、集散の點に於て高速度道路の必要を痛感してゐる。此處に於てか都市と地方、及地方產業開發に對する計畫として此等のあらゆる意味に於て利害を同じくする區域を包含した地方計畫なるものが極めて重要性を帶びて來るのである。

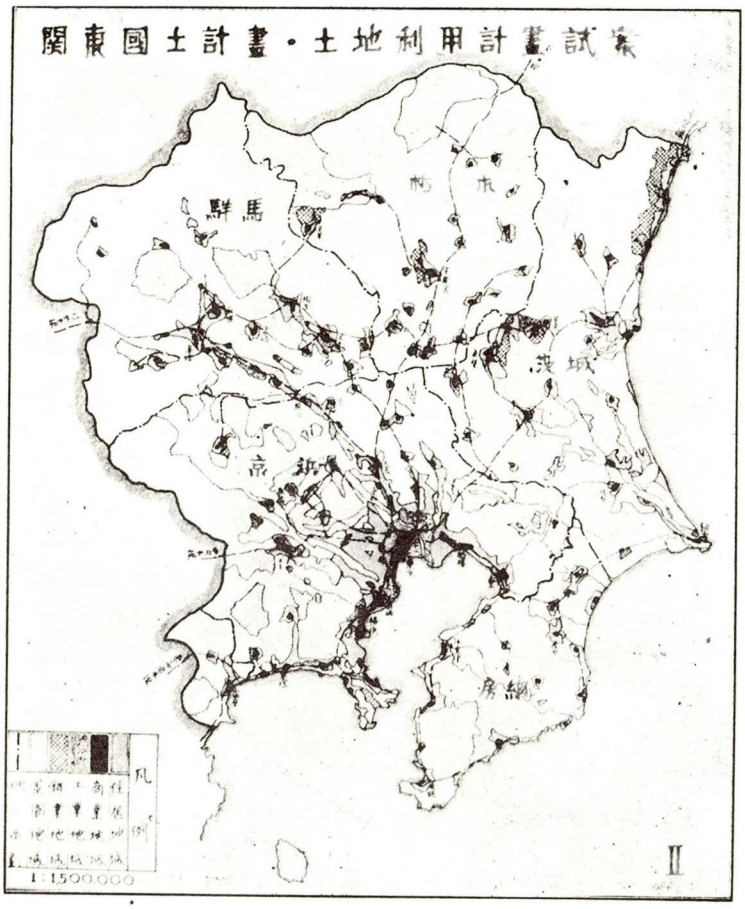
4. 地方計畫の思潮

近年產業、經濟、交通の合理的綜合の立場からする地方計畫なるものは實に此等の問題を解決する唯一の手段であろう。或人は地方即ち「リージョン」の意味を一定の型に嵌込まふとするが之は反つて弊害の逆行を招く虞れがある。ジ、ハリスは地方計畫の普通形態として一つの大工業地を中心とし之に從屬する經濟地域を以て成立するとしてゐるが、更に數個の大都市を含む「リージョン」も想像出來る。マンチエスター地方計畫はその一例と見ても宜いであろう。又アダムスは區域決定の要點は其區域の物理的並に經濟的一致の程度と隣接せる一群の地方公共團體間に存在する共通の利害關係であるとしてゐる。從來の農業地に炭鑛業及其に附隨せる工業の發展に備へる爲にドンキヤスター及東ケント地方計畫が生れた。又船舶の可航河川に附隨的な產業開發の爲の計畫として南北テイン及テイー河畔地方を擧げることが出來る。然しロンドン及ニューヨーク地方計畫の場合は大なる消費都市と其郊外を含んだ大地方であつて人口の收容施設並に交通運輸の問題と共に商工業分散に關する復雜な意味を有する。

ナチスの「ランデスプランヌング」もその意味は略同じである。ブラント博士は天然に又經濟的に纏りたる一體を爲す

關東國土計畫





區域と之に定義付けてゐる。此處に云ふランドとは政治的の區分に全然關係の無いもので經濟的に結び付いた地域と云ふ意味であることに注意を要する。又其の地方計畫の目的とする處も工、鑛、住居、交通衞生及天然保護等の相互的統制にあるのである。斯ふして國家的見地から見た地計畫の思潮は今や世界を通じて澎湃と波立つて來た。そして近年に至つて人口過剩の弊に陷りかけた我國の大都市に於て漸く此の思潮が醒め初めたのである。

此の必然的な要求が國際間に期せずして合致したことは20世紀中期に於ける都市計畫の大いな轉換と見ることが出來る。そこで我々は實狀に於ても又國際的の此傾向から見ても都市構築のみに專念する都市計畫を、更に地方計畫、更に國土計畫に迄引上げなければならぬ義務があると固く信ずるのである。

5. 關東國土計畫

國土計畫とは國土の產業、交通、經濟等の開發の爲に、地理的條件を加味した數個の自營的區劃に分ち國土全般の見地から其等の區域を如何に開發せしめるかの方針を定めることを其目的とする。そして其方針を定め得たならば其區域を更に細分割し、其大綱に從つて具體的計畫を決する。謂はゞ此が地方計畫である。故に地方計畫は國土計畫と方針に於て一致し、互に密接な關係を有するものであつて、國土計畫は地方計畫に對して指導的位置にあり、土地を中心に考へれば地方計畫は第1義的、國土計畫は第2義的のものとなるのである。

關東國土計畫とは過般富山市に開催された全國都市計畫協議會に於て都市計畫東京地方委員會から發表した計畫試案であるが之を立案した筋道を次に大略述べて見ることにしよう。

國土單位

關東地方は之を行政區劃から分けると一府六縣になつてゐるが、此の區域內の產業、交通、經濟の關係は何れも東京に依存するものと謂ふことが出來る。

先づ生產と消費即ち產業關係より大觀すると、關東地方に於る蔬菜生產總額53,500百萬貫の內20%は東京に依て消費される、即ち府下の產額8,600萬貫の內60%、埼玉、千葉、神奈川の20%、群馬、栃木、茨城の5%は東京に仕向けられる。その主な集散系統を示すと第9圖の如く、房總地方に於ける速成栽培の胡瓜、茄子、九十九里沿岸の甘藷、葱、茨城の葱、白菜、那須地方の白菜、群馬の馬鈴薯、川越近在の甘藷、馬鈴薯、湘南地方の蠶豆等は何れも東京近傍の主產地であり其他京濱周邊部の蔬菜生產は近在荷として莫大な數量に及んでゐる。

次に交通方面を考へて見ると、東京から出發する省線は

1. 東海道線　44本　此の內沼津迄　20本(此他橫須賀線45本)同以南に至るもの　24本
2. 上越、信越兩毛線　23本　此の內橫川、水上迄及兩毛線　12本　同以西に至るもの　11本
3. 東北線　23本　日光、宇都宮迄　13本　同以北に至るもの　10本
4. 常盤線　41本　水戶迄　31本　同以北に至るもの　10本

であつて何の線に於ても關東地方內に終る近距離線が半數を占めてゐる。此他、小田急、京王、西武、東武、京成の私鐵は近縣の交通を更に助けてゐることは云ふ迄もない。

更に貨物の輸送特に靑果の運輸に付て見ると三浦半島、湘南、高崎、前橋、桐生、下舘、宇都宮、水戶地方と東京とは道路、橋梁の改良に伴ひ近年は殆んどトラック輸送に轉化してゐるが之に反し仙臺、新潟、長野、靜岡との交通は經濟的地勢的狀伸に依りトラック輸送の便開拓されず、その量も少い。此等產業交通の一班よりしても關東地方の相互關係には斯く密接なものがあり、從つて關東地方を以て國土計畫の一單位とするの妥當性は極めて明瞭となつて來る。

斯うして定まつた一應の關東國土單位に對し我々は如何なる計畫と指導とを與ふ可きか此に於て最も注目すべき問題は過大都市大東京の救濟策如何である。何故ならば諸都市の產業的不振も農村の沒落も全て東京によつて爲された仕業だからである。そこで計畫の目的としては

（1）大東京發展の制限計畫　（2）地方都市振興計畫　（3）農村產業開發計畫の三大綱目を擧げ得るであろう。之を一言にして盡せば農村に職場を附與して產業の振興と人口の分散を圖り大都市集中の弊を除去することである。かくて此の方針に基く計畫推

行の爲には國土單位から地方單位へ細分割の手段を進めねばならぬ。

地　方　單　位

關東地方の相互連關の諸般に付て更に細分化の檢討を加へて見ると大東京對郊外との日常交通がどの邊迄及んでゐるか省線定期券の助力を藉りて見よふ。之によると東海道線では小田原、中央線では與瀨、高崎線では熊谷、東北線古河、常盤線牛久を限度とし此等を結付けた線內に含まれる區域內では上り線のパスが下り線より斯然多く、從て東京との直接關係極めて密接なるを知り得るのである。

更に生產關係は第9圖にも見るが如く埼玉、神奈川及市周邊部の靑果が生產地から直送されるに對し、群馬、栃木、茨城、千葉地方は生產地から一先づ附近の中心地に集まり、更に京濱の消費地に仕向けられる事情にあり、東京と近縣生產地とが直接關係あるに反して栃木、群馬の生產地とは間接的となり、地方農村と都市との間に直接關係を結ぶ點に於て大いに異色を見せてゐる。謂はゞ地方農村は地方都市を主體とし之を通じて需給の取引を行ふてゐるので、斯る關係より見れば京濱と第一義的に結ばれる區域として神奈川、東京府、埼玉の大部、茨城の一部(猿島部)、千葉の一部(印幡沼迄)を含む一帶を東京、橫濱に關するリージョンと見ることが出來、同樣にして各地方の關係を考へた結果國土計畫區域を5のリージョンに細分割し得ることが出來たのである。

即、1. 京濱地方

經濟、交通、住居に付て何れも東京、橫濱と直接緊密なる關係を有する大都市領域

2. 群馬地方

埼玉縣深谷以北、北根川上流の兩毛機業地一帶に亘り、高崎、前橋、伊勢崎、桐生、足利等の工業都市を含む機業地の領域

3. 栃木地方

關東北部の都邑宇都宮を中心とし栃木、小山、結城、下館を含む農業、機業の領域

4. 茨城湖沼地方

文敎の中心水戶、商業都市土浦、漁工都市銚子、を含み北部の鑛業新治稻敷の水田、湖沼一帶の漁業を含む領域

5. 房總地方

木更津、北條、茂原を中心とし特殊農業、牧畜、漁業及サンマーリソートとしての海濱地を含む領域

此等の5地方は其の內部關係の緊密なることは勿論、地理的又は產業的條件に於て各々其特異性を有つてゐるから國土計畫の方針に基き更に地方的特異性を加味した計畫を各々樹立せねばならない。

第10圖は斯くして出來上つた國土計畫及地方計畫區域內の土地利用計畫の一試案であるが實地其他の調査が不充分な爲に滿足なものと云ふことは出來ない、然し計畫に當つては各地方を通じて農村に職場即工業を與へて國土工業の分散化を計り、之に住居地帶、商業地帶を配し、更に高速道路網、水利、電力配給計畫を與へて農村の活潑な活動を誘導せしめると共に、此等の中心地としての地方都市の擴張計畫機構を完備せしめ以て都市の自立と農村との均衡を達成せしめよふとする意圖を含めたものである。其必然の結果として過大都市大東京の救濟を圖る蓋し最良の方策たることを信じたが爲である。

地方計畫「夜明け前」

中村綱

今日地方計畫なる概念は相當普及してゐて、地方計畫と言つても之れが耳新しい様な人は澤山はあるまい。然しこの概念は又相當に漠としてゐて一體何をすれば良いのだと云ふ事に就てはまだまとまつた意見と云ふものがない。之を具體的にまとめあげようとする事は確かに我々の仕事であるが、その前にこの地方計畫は我が國に於ては如何にして發生し如何にして生長したかを明らかにせねばならぬ。元來地方計畫なる概念は歐米諸國より輸入せられたものだが、誰がこの輸入の媒介をしたか、誰が之を普及宣傳したか、誰が之を實用化し具體化さうとしたかに注目せねばならぬ。この舞臺には3人の役者が登場する。即ち第1役を演ずるものは從來から都市計畫學(?)を研究してゐた學者である、第2役を演ずるものは從來から都市計畫に關係あり之を自己學問分野の一部門にしようとして互に無意識的に相爭つてゐた各學會である、第3役を演ずるものは從來から都市計畫事務に從事してゐた都市計畫委員會の職員である。之等の人々に共通な點は何れも從來から都市計畫に關係を持つてゐた事である。だが如何なる理由で之等の人々が斯る役割を持つことになつたか、又持たねばなかつたに就ては3者それぞれ異つた立場に在る。しかも之等の關係は互に對立もし關聯もして居り、又絕えず變動しつつ地方計畫そのものを發展せしめて居るのである。以下之等の問題について論じてみようとするものである。

先づ學者の立場について考へてみよう。一般に學者は——大學の教授かなにかで從來から一つの專門的な題目の研究者として知られてゐる所謂プロフエツサーは常に何か研究してその結果を學會に報告せねばならぬ立場にある。都市計畫を研究題目としてゐる學者も同樣で常に何か新しい研究に追はれてゐる。處が都市計畫を研究する學者の場合、他の場合に比べて特に學者にとつて氣の毒な事情がある。他の場合即ち鐵道だとか、橋梁だとか、港灣だとかを研究する學者は實際の工事の場合その研究が大いに役立ち技術的に助言者の位置につき得る。然るに都市計畫は社會經濟と密接に喰付いた綜合的な學問で決してそれだけ切離せる様な單なる技術ではない。故に例へば土木技術的立場から如何に都市計畫を研究しても實際にはその研究が大して役立たぬのである。即ち都市計畫專攻の學者の研究はややもすれば實地と遊離する傾向がある。だが學者と實際家との形式的な關係は他の場合同樣に保たれてゐる。即ち都市計畫專門の學者は都市計畫の實務に携つてゐる委員會職員を指導し又その助言者となるべき形式にあるのだ。然るに實際には技術上大した助言は出來ぬ。ここが先生方にとつて非常に淋しい處である。只さえ次から次へと研究する先生

方が何か新生面を開拓して實質的に實務者を指導する様にならねばならぬとあせつたのも當然である。頃も頃、外國では地方計畫の問題が論ぜられてゐた。そして外國の書物や雜誌を通じて「地方計畫」が學者によつて輸入せられたのである。

然し學者に依つて最初に輸入せられた地方計畫は全くの直譯物であつた。資本主義の極度に發達した外國に於てその必要も認められ又その實現も可能であつた小都市論乃至都市分散論をそのまま持ちこんだのであるから、之亦机上の空論化したのも已むを得ない。多少の新らしがり屋が之に呼應してがなりたてたに過ぎない。その主張の大要は今日の大都市に對して衞生上、保健上、交通上、保安上、等の方面からの非難をあびせかけ、都市の過大膨脹を防止しようとするのである。その目的のために或は衞生都市を設け或は永久農耕地を以て都市を圍繞し或は高速度鐵道を以つて二つの都市の關係を密接にしようとするもので、之は封建的の色彩の強い我が國に於ては到底實現不可能なことである。即ち我が國に於ては地主的權力が相當に強く、資本家的好都合のために土地私有を幾分でも制限することが至難なのである。この小都市論的地方計畫が我が國に於て全く觀念的である。證據には實際の仕事に於て決して大都市が縮少する様な方針は採用されてゐない。市內の工場が新しい敷地を求めて郊外へ移るのさえ如何にして之を喰留めようかに頭を捻つてゐる有様だ。

斯る實際とは緣遠い觀念的な地方計畫が普及したのは、學者が學會をリードする位置に居り從つて學者の說は學會が擔がざるを得ない事にもよるけれども、更に學會それ自身の仕組みが大いに關係があると思はれる。即ち從來から都市計畫を自己の學問の一部門だと信じてゐた學會は地方計畫も亦自分のものだと信じたかつたのだ。實際は地方計畫は都市計畫より更に大きな範圍の綜合科學であるのを、單なる技術と考へて之を自分の專賣特許にしようとして學者の新說を擔ぎ廻つたのである。都市計畫實務者の中にもその先棒を擔いだ人は多い。しかし之等と反對に或るものはかかる學會に愛想をつかし自分らの學會、都市計畫學會の創立を企畫してゐる。

以上學者、學會のことを述べたが、次に都市計畫實務者である委員會職員について述べよう。都市計畫法が最初に制定せられたのは大正8年4月のことである。而して都市計畫委員會官制が設けられたのがその年の暮の事である。そこで都市計畫職員は國の官吏であるときめられてゐるにも拘はらず、現實に於ては〃當分の間〃地方費から支辨されてゐる。又都市計畫法そのものの仕組みも從來からの場合主義の中へかかる綜合的な計畫的な法律を挾みこんだのであるから從來からある法律との間に矛盾を起しその實効としては當初考へられてゐたものよりはずつと骨抜きのものとなつてしまつてゐる。この法制上の矛盾と職員の官制上の宙ぶらりにも拘らず都市計畫出現の當初は大いに人士の間にもてはやされたのだが、時と共に漸く馬脚を現はし始めた。そしてその後多少の改革がなされたけれどもやはり官制上並に法の立前上の曖昧さは常につきまとひ、今日都市計畫遂行上に困難を

感ぜしめてゐる。

即ち

1. 都市計畫は單に計畫のみに留り、之が實現は自治體がなすことになつてゐるから一歩都市計畫區域外は縣費をもつて事業がすすめられるが、區域内は市の財政の及ばざる限り實現の見込がない。
2. 都市計畫區域内外に亘つた統一した計畫が不可能である。
3. 都市計畫法が計畫の内容として示してゐるものの中、例へば鐵道、河川、港灣等の如きものはそれを計畫する事さえできない。
4. 土地整理事業をする場合、耕地整理にてすれば多少の補助金があるが區劃整理にてすれば全然補助金がない。
5. 地方廳に一課をもたぬ處から豫算が充分にとれない。
6. 官制上内務省の指揮をうけるが、勤務地は地方であるから、地元と本省との間にはさまつて立場に窮する事がある。

しかし之等の諸點にも增して遙かに重要な矛盾は"實際の仕事がなくなつてきた"といふ點である。都市計畫の内重要なものは殆んど手がとどかぬ。只道路網と地域制と公園計畫だけが殊つたものである。だがこれも次第々々に計畫が終了してきた。小都市へも適用してみたけれども之とてもそのうちに濟んでしまふ。そしてその次に來るのは都市計畫不要論だ。何か仕事を見つけなくてはならぬ。或る人は盛り場へ首を突込んだ。或る縣では知事執行の事業をものにした。しかしそんな事では糊塗できぬ人達は何うすればよいのだ。何か新しい仕事を見つけねばならぬ。そこで目をつけたのが都市と都市との間の部分である。幸ひその部分は生產綠地として又は行樂地として都市と密接な關係をもつてゐる。しかるにそこの計畫的な指導をするための調査は全然なされてゐなかつた。地方計畫はそこの部分をねらつたものだ。これこそ我が仕事なりと跳びついたのである。

斯る都市計畫實務者の中にも二種の型がある。第1型は地方計畫を具體的實用的なものにしようとした人々で、第2型はプロフエツサー直傳の小都市論を振りまわす人々である。後者に屬する人々は自ら外國の書物や雜誌を研究し又は學會を通じ或は學校時代からの先生であるプロフエツサーの影響を受けた故である。第1型に屬する人々の中に更に又二通りの變つた傾向が見とられる。第1の傾向は單に自分らの仕事を增さうとするもの、即ち都市と都市との間の部分の調査計畫をしようとするもので、第2の傾向は現在の委員會制度を根本からすつかりかへてしまはうとするものである。第1の論者は生產綠地や自由空地や慰安行樂地を調査し之等の指導をしようとするものだが、こんな事ではやはり計畫のみに終り計畫を事業に移すことは困難である。第2の論者は都市計畫委員會制度を變更するか全然廢止するかして、地方計畫委會又は國土計畫院等をつくらうとするのである。

去る5月上旬富山市に於て開催せられた第3回全國都市計畫協議會に於て、第1議題として、"地方計畫を制度化するに關し其の具體的方法" と云ふ問題が提出された。即ち問題は制度化に關するものである。しかし會議の模様を見るに單に形式上の問題だけではなく、當然關聯を持つ內容——之を必要とする根本思想並統制事項にまで相當論議された。即ち從來の如き小都市論乃至衞星都市論から國土計畫的見地へと多少移つた様である。地方計畫の必要なる理由としては

1. 國內に於ける社會情勢を見るに工業は都市に集中し資本家は益々富裕となるに反し農業を主とする地方は都市の壓迫を蒙り農民は益々貧困化してゆく。かかる都市と農村との對立は非常なる矛盾をかもし遂に國家の癌視されるに至つた。之が對策として國家的立場よりの産業並人口政策を樹立せねばならぬ。この爲に地方計畫を必要とす。
2. 眼を國外に轉じて國際情勢を見るに列國の關係は甚だ逼迫しており、我が國としても國土防禦上國土全體に亘り幾多の軍事的施設を要する。然るに從來の如く都市區域內のみに於ける貧弱なる施設を以つてしては完全なる防空は期し難い。國土の防備を强化するために地方計畫を必要とす。この外に從來からの小都市論も勿論あつた。

之等の內新しい說はそのイデオロギーは幾分ファッショ的の傾向にある様であるが、ともかくも從來の如き觀念的なものではない。そして之が制度化の方法として三つの方法が考へられてゐる。

1. 現在の都市計畫法を廢止し之に代るに別に强力な地方計畫法をつくる案。

   之は內閣に地方計畫局を設けるか、或は國土計畫院又は省を設けて、ここで立案計畫された施設計畫はその重要性に應じ事業として、國の機關、地方廳等に於て實施すべき規定とする。又地方に關する限りの問題は地方に地方計畫委員會を置き之を地方計畫局長又は國土計畫院長官又は國土計畫大臣の諮問機關とする。かくするためには國の行政機構を根本から改造する必要がある。
2. 現在の都市計畫法はそのままとし、即ち地域的に見て都市區域內の統制をし、他の法令例へば耕地整理法が耕地を、森林法が山林を、漁業法が、水產事業等々をそれぞれ統制してゐるが更に之等を統制し綜合計畫を確立する爲に地方計畫法を制定する案。

   之は內務省に地方計畫中央委員會を置き各地方には地方計畫地方委員會を置き計畫事業の審議機關とし主として地方行政廳をして事業の執行をなさしめる。之によれば地方計畫は通信事業、鐵道事業等の統制は不可能であるけれども地方廳に於て可能なる限り各種事業や施設の統制ができる。しかしかくする爲には地方行政の機構を改造する必要がある。
3. 別に地方計畫法は設けず都市計畫法を改正して都市以外の部分にも法の運用ができ

る様にする案。

之は單に都市計畫法の改正に留まるものである。

之等の案は何れも"地方計畫"を實際化さうとする都市計畫委員會職員の具體的運動であることは明らかである。

世の中を更に住みよいものにすること——之こそ科學の受持つ任務で、その爲に知らねばならぬ自然界又は人間社會を支配する法則の發見のためには昔から實に多くの人の汗と血とが流されてゐる。眞理の探究の前には物凄い爭闘が繰返されその度に社會はぎくりぎくりと一歩を進めてゐる。此處に問題となつてゐる地方計畫も之を論ずる人の主觀的意圖が何にあらうと論爭を經て眞理へと近づきつつあると思ふ。今日經濟學、地理學、都市計畫界等に於て問題となつてゐる立地論又は適地論は確かに地方計畫に對して將來理論を提供するものと信ずる。他方富山の都市計畫協議會の實行委員は地方計畫を何とか物にしようと努力してゐられる。まさに地方計畫「夜明け前」ではないか。

地方計畫の思想的背景

龜井幸次郎

內　　容

§ 緒　　論。
§ 社會改良家の描いた**ユートピア**。
ロバートオーエンの理想都市、
モファツトの提案による住宅會社、
バツキンガムの〃**ウクトリア**〃
リチヤードソンの健康都市、
§ 近世に於ける工業の都市分散運動。
サルトの工業村、
レヴアの**ポートサンライト**、
キヤドベリーの**ニウアスウイツク**、
ハワードの提案〃明日の田園都市〃

§ 緒　　論

人類の生存に關して今日程都市が重大な役割をはたしつゝあるものはない。また都市問題が、同時に農村問題であるとして、今日ほど顯著に論議されたこともなかつた。が然し善惡に關らず今日まで（將來も當分此の傾向は續くであらう。）現代の社會は都市人によつて組織されて居ると云つても敢て過言ではなく、如何なる文明國でも市域は漸次擴大して行きその重要さを增して行かない國はなかつた。

最近の國勢調査によると、大都市の中心地區に於ける人口は、或る場合少しも增加せず、むしろ多少の減少を來たして居るに拘らず市の周圍部は人口激增の傾向を辿りつゝある。この周圍部の人口集中は田園より都市へ目指して來る都市への「附着的現象」と中心部よりの「溢出的現象」と見ることが出來よう。

田園より何故人が溢れて都市に集中するかに就ては本稿の參考にした〃田園都市〃の著者パーダム氏[1]は英國の事情について次の如く云つて居る。即ち、〃產業革命の影響は、交通機關の發達を促し、社交趣味を增進させ、經濟生活に大なる變革を齎し都市に偉大な力を與へた事は事實である。

產業革命以前の農村工業は、いづれも家內工業であり、全人口の過半數は農業に從事し、其の大部分は地主でもあつたのであるが、十八世紀末の產業の大變革と共に、家內工業は消えうせ、農民は、その昔、所有して居つた權利を漸次剝奪され、そして農村を追はれて、都市へ集中して來る樣になつたのである。即ちこれに基因して大都市の建設が其の必要に應じて始められた事は見逃す譯には行くまい〃と。

地理的條件に惠まれ、永い間封建の殼の中に安逸の夢をむさぼつて居つた我が國も、明

註 1　C.B. Purdom; The Garden City, P. 2.

治の維新と共に、極めて遲蒔ながら、歐洲諸國が惱みつゝある此の病弊に、漸く苦しまねばならなくなり、そして此處十數年以前から益々其の度合が烈しくなつて來たことも否定できない事實である。

殊に每年約1,000,000にあまる人口の自然增加は、益々此の問題に拍車をかけて居る。そして特に最近に於ては、農村の工業化、或は工業(又は工場)の田園分散などゝ、樣々の視角を異にした觀點より此の問題が論ぜられる樣になつたのは注目に値する。

文化の中心地たる都市への人口集中は、將來の社會に恐ろしい社會病弊を創りつゝあるので、これが根治策として必然的に都市分散の必要を提唱せしめたのは極めて當然な事であらう。何故なれば大都市或は過大都市の出現は、あらゆる方面の都市病弊を惹起せしめ、延いては都市破綻の誘因を創りつゝある譯で、交通混雜及事故、死亡率の增加と出產率の低減、人口過密及密住による不良住宅とスラムの出現、或は又上下水道の不備による都市衞生の諸問題等が、即ちそれである。是等はいづれも市民の保健衞生上或は保安經濟に重大な關係を持つもので、一日も忽に出來ざる問題であることは論ずるまでもない事である。故に如斯不健康な狀態を改善し且つ無統制な都市膨脹を抑止し同時に農村疲弊の問題をも合せて解決せんとするところに現代識者の提案になる所謂地方計畫の目的があるのではないかと思ふが、筆者は今此の問題に關する諸對策の理論的檢討に觸れることなしに、直ちに人間の本能には求心的な都向性と遠心的な分散性のある事の史實より、現代の所謂地方計畫の持つ分散運動の精心と或る共通的な氣脈のある英國田園都市運動史を說明せんと試みたものである。

§ 社會改良家の描いたユートピア

田園工場の提案は、產業都市が建設され、その弊害が初めて其の中に發見された時に起つた運動の究極として考へらるべきもので、それは決して偶然の發見でも、或は又少數熱心家の氣紛や、空想からでない事は事實である。

田園工場への用意周到なる考へと、之れに對する切實なる要求は17世紀の頭初よりあつた事は窺知出來る。即ち工業の勃興と共に新時代の風潮に適する都市建築が20世紀の初期の英國を中心として種々と建議されたのであつた。それは、諷刺家のユートピアや空想的都市とは區別さるべきものであると雖も、これらがその思想的背景をなして居る事實は否定し得ないものであらう。即ち16世紀乃至18世紀に於けるモアーやスイフト、或は19世紀のベラミーやバットラー又はモウリス等による、時代相を批評する手段として考へられた、所謂理想鄕なる思想は現代の都市分散或は農村の都市化等の思想に於けるその根源をなすものであると看做すことが出來やう。

人類は地上にその生存が可能になつて以來、地上に天國を夢見て居つた事が文獻に殘されて居る。即ち大哲學者プラートを始めとして、〃神の許を出でゝ天より降れる町[1]〃を夢

見たる聖ヨハネから聖オーガスチン[2]の〃神都論〃或はタマスモアー及キヤムパネラ[3]の、〃太陽の町〃に至るまで、多くの宗教家或は哲人は地上樂土の建設を夢見て來たのである。そして現代も尙ほ之等の夢が科學の洗禮を受けつゝ、實現可能な境地を切り開かんとして居るのである。

要するに、現代の現想都市の建設事業は、人類の集團生活が始められた古來より現代に到るまで繼續されて來た事實で、それは人類の生活記錄でもある。そして將來も尙ほ、人類は幸福と平和の中に彼等の生涯を送り得る善政の社會を夢見つゝ進んで行くであらう。

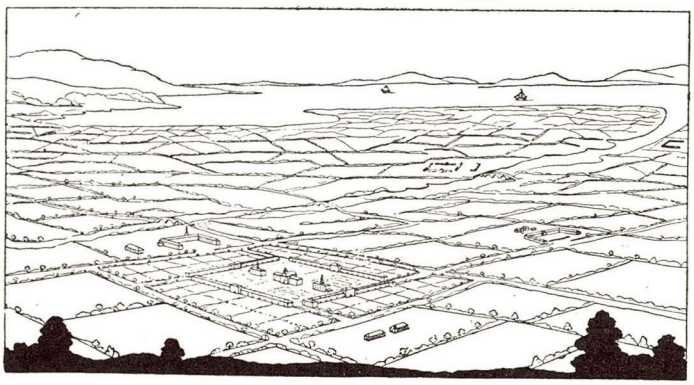
如斯人類の生存への希望はやがて一大思潮となつて現代社會改良家の精神を刺戟し、そして19世紀末には遂に、此の理想都市の建設に對し多くの理想家、社會改良家及其の他の實行家が出現する事になつたのである。此の理想都市に對するアイデアを具體的に實現せんとする運動が其の後漸次擡頭して來た事は顯著なる事實であつた。

ロバートオーエンの理想都市

理想都市の計畫を最初に提案した者は、當時の社會改良家で有名なロバートオーエンであつた。彼は1818年に〃[4]工業勞働者救濟委員會への報告〃の中で都市の人口稠密の狀態を救ふ爲めに、人口 1,200 より成る小聚落團體の形成を提案したのである。[5]壹英町(エーカー)30磅の割合で 1,200 英町の土地を購入し、その土地の上に彼れの提案を實施する豫定であつた。此の團體は、個人と敎區、州、地方及政府とによつて組織される事になつて居つた。當時、此の提案に對し、他の計畫同樣に多くの興味を以つて迎へられたのであつた。彼は此の計畫を實行するのに、25萬磅の金を募つたのであつた。が然し、結局 5萬磅の金で此の計畫の實行に着手せねばならぬ狀態に陷つたのである。然も此の金額の大部分は彼自身の醵金ですらあつた。

1820年に到り、最初の聚落がマザーウエル附近のオールビストンと云ふ所に、事業が着手されたのであつた。が然し、發起人同志の紛議や、其の他の原因で、此の事業が充分なる進捗を見る事が出來なかつた。遂に、1828年に於て、彼れの8年間の努力も報ひられ

第1圖　ロバートオーエンの計畫



註1　ヨハネ點示錄第21章第2節
註2　De Civtate
註3　City of the Sun.
註4　Report to the Committee of the Association for the Relief of the Manufacturing and Labouring Poor.
註5　壹英町 = 4046·71m² = 1224坪

す、終局を告げたのであつた。

オーエンの此の提案は、1695年ロンドンに於て發行された。[6]ジョンベラスによるパムフレット、[7]〃資本家を益し、貧困者への潤澤なる生活、青年へのよき教育そして人口と富との增加により國家をも益するところのあらゆる商業と農業の爲めの工業大學創立への提案〃に論じられてあるのを機緣として計畫されたと稱されてゐる。[8]

モフアツトの提案による住宅會社[9]

19世紀の初期に於ては、特に[10]建築會社が盛んに活躍し、多くの小地主の所有地が開發されたのである。そして、此の趨勢は更に繼續せられ、1845年9月には、ロンドンの建築家モフアツト氏による一つの計畫が提案されたのである。即ち、それは、[11]首府ロンドンから4哩乃至10哩の距離以內の各所に村落を建設する爲めの會社を組織する事を提案したのである。此の計畫は非常に大規模なもので、總經費1000萬磅で35萬人の爲めの住宅を建築すると云ふ計畫であつたが、結局着手されずに終り、今日其の詳細は失はれて居て不明である。此の提案から3年後、彼はエセツクス州のイルフオード驛附近に5000乃至6000人の爲めの住宅村落を建設する目的で、1株5磅で、25萬磅の資本よりなる會社を提案したのである。タイトの經營する雜誌〃エヂンバラ〃誌(1848年12月號)は、次の様な要領で此の計畫を批評して居る。即ち、

田園の趣を奪ふ程の大規模でなく、又社交の機會を減ずる程小さ過ぎざる、適當の大さを持つた、空氣と空地、森林と流水、學校と教會、植樹と花園に圍まれた、清楚質實なる住宅の集團である。

家屋は、3等級に別れ、家賃は、第1種住宅は、[12]年40磅、第2種住宅は年30磅、そして第3種住宅にありては12磅10志乃至18磅くらひまでとなつて居る。是等の家賃の內には、それぞれの等級に應じてロンドンに通勤し得る西部鐵道の[13]1等、2等の定期券の經費が含まれて居る。發起人は借家人に對し、株式又は賦拂の方法で、住宅購入の便宜も與へて居る。

實に此の計畫は、「他の建築業者の不完全なる計畫によつて妨害干涉される事なく計畫を遂行し得る便利と科學とそして資本の與へるすべての利益」を有する大規模なる建築會社である。

瓦斯と上水は會社から供給を行ひ、排水設備は、最初より完全を期し、教會堂、公會堂、學校等の公共

註 6 ジョージフオツクスが開祖なる、クエカー宗(Society of Friends)の有力なる信徒の一人である。

註 7 Proposals for raissing a College of Industry for all useful Trades and Husbandry, with profit for the Rich and plentiful living for the Poor, and a good Education for Youth, which will be an advantage to the Goverment by the Increase of the People and thier Riches.

註 8 C. B. Purdom; The Garden City. P 6.

註 9 Village Association.

註 10 Building Association.

註 11 衞生都市的小中都市の分散計畫が既に此の時代に試みられたと云ひ得る。

註 12 壹磅10圓として換算して見ると家賃月額33圓、25圓、10～13圓程度にあたる。

註 13 Eastern Counties Railway

用地は必要と思はるゝ限り豫定してある。

此の計畫に反對するものは次の如き主張を持つて居る。即ち、

〝如斯、實驗的計畫が、その緒に着き、そして成功の結果を得た曉には、他に之を模倣するものが出來る。その時は恐らく、大都市の職人[14]階級及其の他上層階級者だけを其處に移すことになるので、貧困者は依然として、濕氣の多い、陰鬱な狹い不健康な住家に詰め込まれて居る事になるのであらう。〟と云ふのである、が然し彼等がこの位の利益を受くるのは、當然な事で、彼等はこの世の忌け者ではない。彼等は社會に寄生して居るのではなく、社會が、彼等に賴つて居るのである。彼等は、いはゞ社會と云ふ大建築物の親柱の樣なものである。だから、あらゆる釘を巧に打つて、しつかり彼等を取り付けて置かねばならない。〟

と此を批評し、そして更にペンを進めて次の如く云つてゐる。

〝若し彼等が、古い都會から去つて行つたならば、かへつて彼等と共に行けない、貧困者に對して、經濟的壓迫は輕減し、家賃も低減して、現在より更によい家屋が殘されてゐるであらう、それ故にに吾人は、各々の大都市がその現在の郊外の周圍、數哩の圈內に於て、都市のあらゆる便利と、そして田園生活のあらゆる興味を備へた新しき郊外で、取圍まれてゐる日の來ることを、あきらめるには及ばない。〟

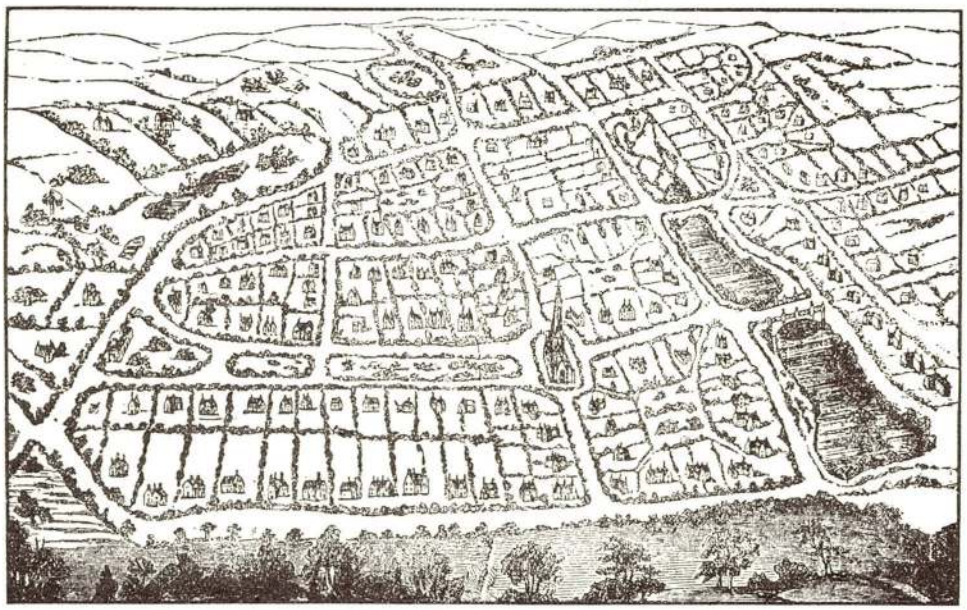
と樂觀的に此の計畫を批評して居る。そして尙ほ

此の計畫は嘗つて英國に於て考へ得る限りの最も主要な社會改良運動を惹起することになるであらう。心身を健かにし生命と經費の節約とを計る企畫に主唱者の出ない筈はなく、又反對者のないと云ふ樣な事もない。若しも大都市に於て、高い料金で賃貸される土窖の如き住宅が借り手が付かない場合には、たゞちにそれは取毀されるべきで、かつ借家人が住み良き住宅を得るために必要なる改良を要求するに於ては、其の改良も容易になし得る事が出來る筈である。

吾々は國民の血が勝手に、そして屢々無用に流された最も激しい戰ひに於けるよりも、更に盛んに年々時外れに種々の形で吾人の人口を減少せしむる熱病や虎疫と云ふ敵をより少なくする事も可能で

註 14　artisans＝. 熟練職工を意味す。

第２圖　モファットの計畫



ある。

と付け加へ批評して居る。

バーダム氏[15]は此の計畫に對して次の如く云つて居る。

〃此の計畫の成熟に就ての證據を今日まで見出し得ないが、今日のイルフオードはロンドンの近傍で、最も大きく且つ人口稠密した都會地の一つであるが、若し1848年の提案が此處を最初の田園聚落[16]となし得たならば、恐らくは最も望ましい聚落が實現したであらう。けれども今日の様なイルフオードが殖えることは、そんなに望ましい事ではない〃。

バツキンガムの提案

多方面の改革者であり、特色ある19世紀の理想家なるジエムスシルクバツキンガム氏は、1849年に「國家的害惡と實際的救濟」[17]と云ふ本を公にした。其の著書は、失業救濟の方法として、模範都市の建設の爲に「勞働と技術と資本とを合せる大原則」を推擧したものであつた。彼は大旅行家で、平和、自由貿易、禁酒、圖書館そして奴隷廢止等の熱心な主張者であつた。尙ほ此の他に彼は、新聞 Athenaeum 紙の社長にして、且つシエフイルド州選出の代議士でもあつた。

バツキンガムの計畫は、簡單に次の如く要約する事が出來やう。それは、先づ模範都市[18]會社と云ふ會社が、發起人の責任を限定する爲めに、勅許又は議會の法令の許で設立されるのである。

此の事業は、政府から何等の補助を受けない私的企業であつて、其の目的は壹萬英町の土地を購入し、千英町[19]に壹萬の人口を收容する都市を建設する事にあつたのである。當時の若き女皇の御名に因みて〃ヴクトリア〃と名づける事にし、之れが都市計畫として、工場並に個人の住宅が用意され、家賃は5磅より300磅までの等級があり、凡ての建物は、此の會社の所有で、會社は尙周圍の九千英町の土地は工場と農耕地の爲めの保存空地として管理することになつて居る。如斯して、此の會社は、土地の所有者であると同時に又雇主でもあるのである。

此の都市に於ける工場の勞働時間は、1日8時間勞働で、勞働賃金は一定の標準に從つて支拂はれると云ふのである。住宅の稠密による密住生活はなく、兒童には醫療哺育の設備があり、教育は無償で施されるのみならず公衆浴場、共同厨房及洗濯場等の設備まであり、そして彼の特種な主張の一つであるところの酒、煙草、武器等の製造は禁じてゐる。

註 15 C.B. Purdom; Garden City. p. 9.

註 16 Garden Village

註 17 "National Evils and Practical Remedies; London Peter Jackson, St. Martin's-le-Grand, p. 512"

註 18 Model-Town Association.

註 19 1,000英町＝404ヘクタール、之れを約400ヘクタールとせば人密約1ヘクタールに250人の割合になる。

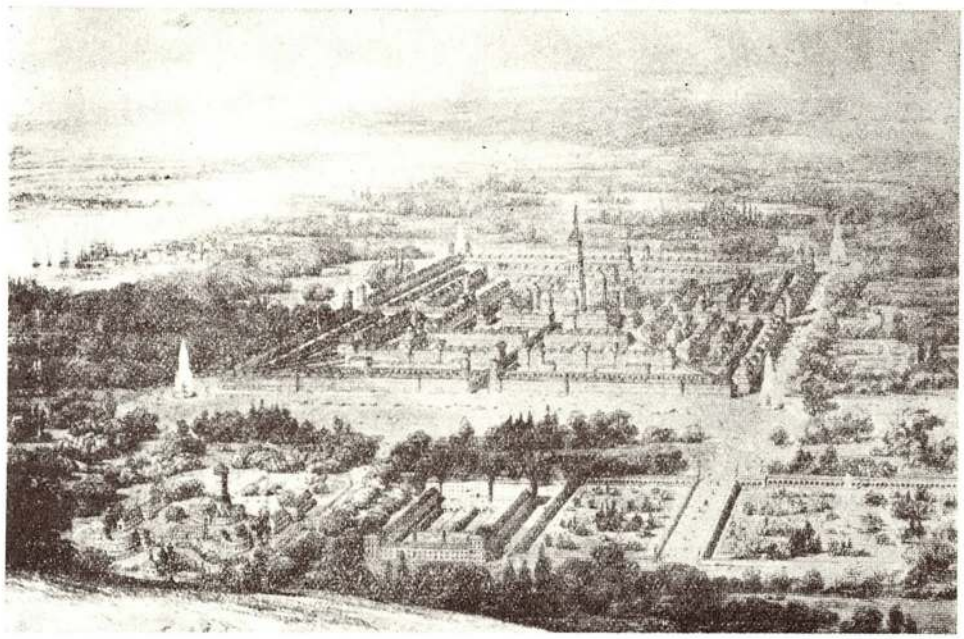
此の會社の資本は300磅で、1株が20磅に分割されて居り、その内100萬磅は農及工業に使用される事になつて居り、利益配當金の率は1割に制限されてゐる。又此の都市に居住しない者でも、これに投資する事が出來る樣になつて居る。住民は尠くとも1株以上は持つ事になつて居り、必要な場合には賦拂の道も開かれて居る。配當金を支拂ひ、凡て必要なる積立金を除いた最後に、殘金があれば、此の利益金は會社の實際居住者の株主間に分配されるのである。

計畫された都市設計圖は、正方形で、外側に近い部分は千戸の家屋と庭園より成立つて居り、次の中間の部分は商店で、屋根のあるアーケードをも含み、最後の中心に近い小さい正方形は、比較的高級な住宅及公共的の建築物等が、配置されてあるのである。

如斯、バツキンガム氏によつて立派に立てられた、此の計畫が徒爾に終つた事の一つの理由は、彼自身の性格にもよるが、又一部には、當時の英國人は投機的で、とめどもない利益を得る見込がなければ理論的又は試驗的の提案に乘らないと云ふ氣質にもよるのであるが、他により信ずべき有力な理由は、歷史あつて以來、バツキンガム氏がかゝる主張を記述した時程、都市が、不衞生で、勞働階級の生活狀態に就て無頓着であつた時代はなかつたのである。

The Dictionary of National Biography は次の如く言つて居る。「即ち彼は非常に情深く、進步的思想をもち且つ雄辯家にして、豐富な想像力に富み、勤勉にして公に處するに、身を持つこと周到であつた、彼は事に當つて心猶浮動し、同時に過多の計畫を持つて居つた。即ち此の事に歸因して彼の一生を失敗に終らしめた」。と、

第3圖　バツキガム氏の計畫



かゝる計畫を進捗させる爲には、バツキンガム氏の改革的天性の努力とその範圍が極めて廣汎に亘つた事は、今更云ふ必要もない事であつた。然し乍ら、慘憺たる社會狀態の中に於て、徒らに絕望の聲のみ高かつた當時に於ては、バツキンガムの改革的天性はかゝる計畫の發展に關して非常に廣大なものであつた。[20]そして彼の著書が比較的、空想と矛盾に乏しく、且つ實際的であつたと云ふ事は、むしろ不思議とする位であると評されて居る。が然し彼れの此の著書に與へられた他の批評は、屢々不當なものであり、其の著書を注意して讀まなかつた人々は、間違つた印象さへ與へた事も珍らしくはなかつた。けれど此の計畫が20世紀の當初のハワードの〃田園都市〃思想の起源として認める丈の價値はある。ハワードは〃私は、私の仕事が進んでしまふまで、バツキンガムの著書を見なかつた。〃と云つてゐるが、然し此の初期に於ける彼の計畫を賞讃したからと云つて、ハワード自身の事業の實際的價値とその異常なる成功とを貶毀することにはなるまい。

リチヤードソンの健康都市[21]

醫者であり且つ衞生改良家であるベンヂヤミン、ウオド、リチヤアドソン博士は、社會科學會議の保健部[22]に於て、彼が命名した“Hygeia”と云ふ健康都市に關する詳細な研究論文を發表したのである。

彼の計畫は、實現するに到らなかつたが、此の計畫の詳細が實行し得べきものであることを主張し、之れが採用を熱心に唱へたと云ふところに、此の提案の興味がある。左に採錄した彼れの此の大會に於ける講演の主張抜萃は、最もよく之れを物語つて居る。即ち、

〃私の目的は最低一般死亡率と個人の最大長命とが兩立し得る完全な衞生狀態を實現させないまでも、之に似たものを可能ならしめる爲めに科學と智識の助けと人間の自由意志の働きとを持つて、形成及維持し得る社會の輪廓を理論的に示すにある。チアドウイツク氏は屢々1年に人口千に付500乃至5人までの死亡率を有する如何なる都市をも自由に建設し得る事を說いて居るが、彼れの聲明は文字通り正しいと信ずるが故に、私は、最低の死亡率を示す所の都市を計畫したのである。で私は現在容易に可能である事の外何事も描かなかつたのである。(中略)

“Hygeia”と稱するこの都市は、新しい基礎の上に建設されるので、現在の都市も大體摸倣し得るやうに、建設されると云ふ利益を持つ。……人口の等しき分布を保持するやうに住宅建設を行ひ、人口稠密の危險より保護されるものである。(中略)

此の都市は、3の幹線道路(又は並木道)が東西に走り、その下を鐵道が都市の樣々な交通の利便の爲めに布設されて居り、幹線道路を南北に直角に橫切つて居る街路と平行に走つて居る補助街路は相當廣く、步道の兩側には街路樹を植付け、すべて家の背部の空地は庭園とし、街路に堆積した泥土及其他の不潔物は、每日路傍の口孔から地下道に洗ひ去られる。住家は空氣の流通を自由にする爲めに、床下にアーチを造り其の上を煉瓦造りとなし、內部の壁體は漆喰の代りに藥掛磨煉瓦を使用し、厨房は家の上部に設けすべて煤煙を除き、內部は煖爐もしくは蒸氣暖房で溫め得る裝置になつてゐる、此の都市には、飮食店及煙草店はないが共同洗濯場、游泳場、病院及圖書館の設備等がある。そ

註 20 C. B. Purdom; Garden City; p. 12.

註 21 Hygeia; City of Health; Macmillan & Co., 1876.

註 22 The Health Department of the Social Science Congress.

して細民の子供も下水で遊ぶ事の代りに、美しい庭園で遊び得る施設を行ふのである。現存せる都市の詳細に關する事は、今日私の周圍に居る多くの衞生科學開拓者によつて論じ盡されて來たのであるが、私は未だ生れざる此の健康都市に關する講演を終るにあたつて、諸氏が單なる夢から呼び醒まされたと云ふ事だけでない事を望む者である。〃

と彼は結論して、彼の講演を終つて居る。

§ 近世に於ける工業の都市分散運動

17世紀より18世紀にかけて、思想家、哲學者等の心底に流れて居つたユートピア的都市建設の憧憬は、20世紀の頭初に到り漸く、具體的實行運動へと進展して行つた。即ち1800年、ニウラナークに於けるロバートオーエンの提案を起源として、勞働者が健康狀態にあることの價値を認めた大工場主による、小規模の[1]工業村落の建設の企圖は、屢々時を迫つて行はれたのである。が然しこれ等は、いづれも現代の資本主義修正の時代的精神よりすれば、幾多の精算さるべき點が存在しない譯ではないが、地方計畫への發展過程の重要なる記錄として注目に値するものである。なかでも、20世紀の英國を中心として起つた、[2]フエビアンソサイチーによる勞資協調を目標とする社會運動は、是等の理想都市建設の氣運を大いに助成した事は事實である。

サルトの工業村

密集し過ぎた都市より、田園に工場を移した最初の者は、アルパカ製造工業で成功した。ブラツドフオドのタイタスサルト卿である。彼は數年間此の事業にたづさはつて居つたが、その後1850年に事業擴張の必要に迫まられたので、ブラツドより工場を他に移す事に決めたのである。

彼は人口が稠密して來たブラツドフオドの町を、それ以上膨脹させる事を好まなかつた

註 1 Industrial Village.

註 2 フエビアン協會は元來政治的團體ではなかつたが、英國の社會主義運動には多大の影響を與へた。1889年に創立されたものであつて、その組織はデモクラチックで一般人士の加入を歡迎したものであるが會員の數はさまで增加せず、多くも數千人を出でたことはない。併しその勢力は數字示すよりも遙かに上に出するものであつて、過去及現在に亘り創立者たるバーナードショウやシドニーウエヴ、ウエルズ、アンニベザント、シドニーオリヴア、グラハムワラース等の名士を會員に有して居つた。會員の多數は所謂中間智識階級に屬する人々であつて彼等の主たる目的は燥急な宣傳に非ず、社會主義の政治的、經濟的理論と實際とを眞面目に研究し、學び得た結果を各自めいめいに機會ある毎に宣傳せんとするのである。

フエビアン協會の主義するところは「土地及資本を私的階級的占有より解放して總人類の幸福の爲に社會の共有とする。かくする事によつて國家の自然的文化的富を國民全體に公平に配分する。現在に於ては生產的發明や資本より生ずる利益の大部分は資本階級を肥すに過ぎない、勞働階級は生活を維持する爲めに資本階級に隷屬しなければならぬ」

「吾人は目的を達する爲めに個人と社會との經濟的、道德的、政治的關係に對する智識を、一般に普及せんとするものである」と云ふのである。(高畠素之著、社會問題辭典、149頁)

のである。そこで、シルプレイ河の川上なるアイレ河畔に廣大な土地を購入したのである。此處は美しい風致と新鮮なる空氣につゝまれた健康地で、住宅地として、最適地である。

1851年に到り建設事業を開始したのであるが、バーダム氏は彼の著書〃田園都市〃に於て傳記々者の記錄を引用してゐる。即ちサルトは、英國が嘗て見た事のなかつた工場宮殿とこれに隣接して、勞働者住宅の建設を始めたのであると。人口3000を收容する爲め 800戸の住家を建築し、それに、敎會、圖書館、養育院等の建物が附屬する事になつて居る。住家の構造は申分なく、家賃は勞働階級の家計の許し得る範圍であり、村の狀態は當時の一般的狀勢としては、理想的なものであり。飮食店の如きは一軒も建築されなかつたのは勿論であつた。1853年に到り村はミサルテア〃と云ふ名のもとに開かれたのである。

家庭と工場の爲めに、最良の條件を付與せんとした此の都市が80年後の今日の要求を滿すべく遙かに遠いものであるには相違ないが、當時の狀勢に鑑みて、此の提案は注目に値すべき實驗的試みにして、開拓的努力に對し當然の賞讃を受くべきものがあると思ふ。

レヴアのポートサンライト

前記の〃サルテア〃に相似た運動は其の後可成の擡頭を見たが、なかでもサアウリアムエツチレヴアによるポートサンライトとジヨーヂキヤドベリによるボーンヴルは、最も著明なものであつた。

此のポートサンライトは、レヴア石鹼會社の持主ウイリアムエツチレヴア卿が1887年新しい事業と、勞働者の爲めに、模範村を建設する爲め、バークンヘツドの郊外に壹英町200 磅で五十六英町の土地を購入して設立したものがその最初であると傳へられて居るが、[3] 中村氏によれば[4]敷地面積222英町で、此の計畫が完了すれば2000戸の住宅が建築される事になり、收容し得る推定人口は10,000人と云ふことになつて居る。

此の村はレヴア卿の會社の財產で、その使用人の爲めにのみ存在するものとして建設されたのである。隨つて建築された住宅は全部會社のものであつたが、歐洲大戰後住宅組合によつて建築されたものもある。現在建築された住宅數は[5]1,000戸を越へ、住宅の稠密の程度は壹英町に付10戸と云ふことになつて居り、其の住宅の形式は雅味あるチユドル式のもので、地域全體が極めて落付きのある住宅地になつてゐる。道路幅員は、多くの場合40呎であつて、24呎が車道で殘を8呎づゝ舖道として居る。

此の住宅經營地の附屬施設としては中心に敎會、1,600人を收容し得る小學校、病院、體育館、遊泳場、郵便局、ホテル、倉庫、消防署、クラブハウス、公會堂、繪畫館、及圖書館等の公共施設がある。

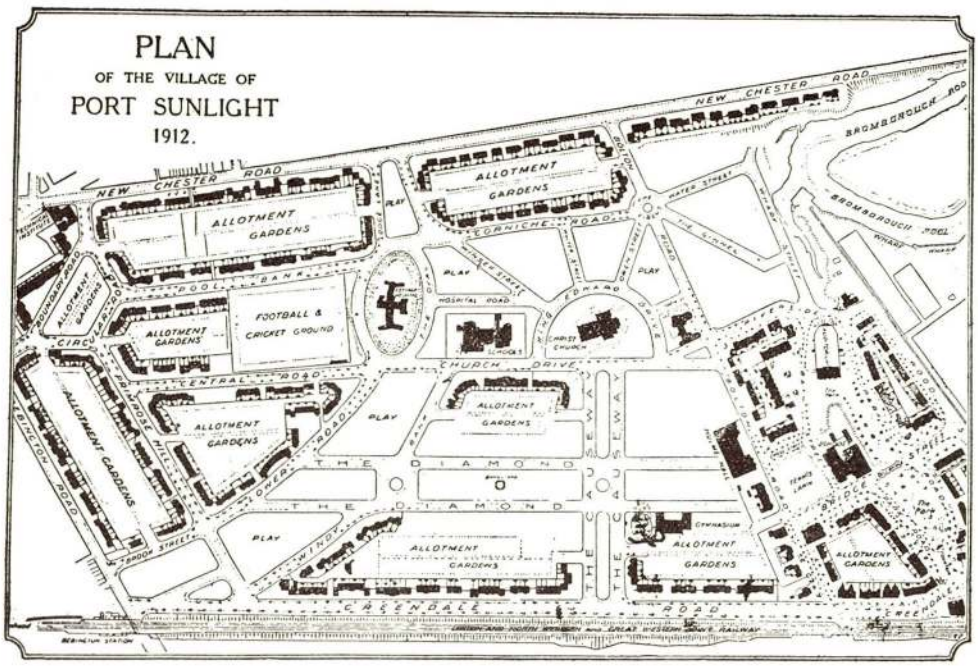
註 3　C. B. Purdom Garden City, 1913.

註 4　中村寬氏著住宅經營（高等建築學）

註 5　中村寬氏著住宅經營（高等建築學）

村は以上の如く立派に整理と設計が行きとゞいて居る。家賃は地方稅を加へて1週3志6片乃至7志6片の程度で、是等の實額は維持費と償却基金のみに充當せられ、投入資本に對する利子は、雇主が此の村は〃勞働者との幸福の分配〃[6]の形體と考へてゐる故に、別に賦課されてないのである。此の計畫事業は、時代の進展と共に發達擴張して行き、英國に於て自家の勞働者の幸福と、大工場經營の利益との一致を示せる最適例の一つである。

第4圖　ポートサンライト



キヤドベリのボーンヴル

ボーンヴルの田園村は、1889年にジヨーヂ、キヤドベリ[7]が、バーミンガムに於ける彼のチヨコレート會社を田園に移轉せんとした時に建設した田園工業村の一つである。彼の計畫は單に自己の使用する勞働者にのみ良き住宅を供給すると云ふばかりでなく、バーミンガム及び其の附近の勞働階級の人々に對しても一般的利益を及ぼさんとしたのである。彼は幼い頃より心に描いて居つたところの、「人々が自己の家庭を樂しみ得る程度の土地に住へるやうにしたい、と云ふ私のこの道樂を行ふのは私の大なる特權とする處である。」と彼れ自身言つて居る。

彼は、村を設計し且つ多くの住家を建てた。そして是等の住家は 999年の借地權付で賣却されたのである。けれども投機を煽る事になつた爲め、其の後住宅の賣買は中止された

註 6　Prosperity Sharing

註 7　Geoge Cadbury は兄の Joseph Cadbury と共にチヨコレート製菓會社を經營し且つ有力なるクエカー宗の信者であつた。

のである。此の村の總財産は、カドベリの手よりボーンヴル村信用組合[8]の手に讓られてゐる。嚮て 925戸の住宅が建築され、家賃は地方稅共週4志より10志で貸與されて居るのである。是等の家賃は、投資資本の4分利子として管理組合の手にかへる仕組になつて居る。

ジョーチ、キャドベリはバーミンガムに於て、宗教的感情を以つて、貧民の救濟と之れが教育事業に長い間の努力を傾注して來たのであるが、住宅及其の環境の不完全は、あらゆる教育並に救貧施設を無益にする事を悟り、ボーンヴルに住宅經營を始めたのである。此の經營地に於ては、2階以上の住宅建築は許可されず、又宅地と延建築面積と比率が$^1/_4$以上となる事を禁じ、各戸毎に約 550m² の庭園を附屬せしめて居る。

經營地總面積は133.5ヘクタールで、1904には518戸の住宅が建築され、2000人の居住者があつたと報告されて居る。尙公共用地(公園及其の他の自由空地)として全面積の $^1/_{10}$ が提供される事になつて居る。其の他の公共施設としては學校、公會堂、體育館、郵便局、簡易食堂、養老院、及禁酒旅館等の設備があるが、更に記念的のものとしては、ラスキンホール、ボーンヴルホール等も設備されて、村の公共用のサーヴスに應じて居る。此の村の事業と經營に關して、相當の利益を擧げて居ると、キャドベリは言つて居る。

ボーンヴルの經營を成功に導くべくキャドベリの取つた三つの手段と云ふのは次の3項である。

[9]
1. 借家人は啻にボーンヴル工場に勤務して居る働營者のみならずバーミンガムに於ける他の工場に雇はれて居る勞働者も借家人たり得る事。
2. 家賃は投資々本の4分利程度に止めておく事。
3. 經營地の發達の爲めには、將來の所得の用途に對し凡ての指導權を持つた管理局の統制下にある經營地であること。

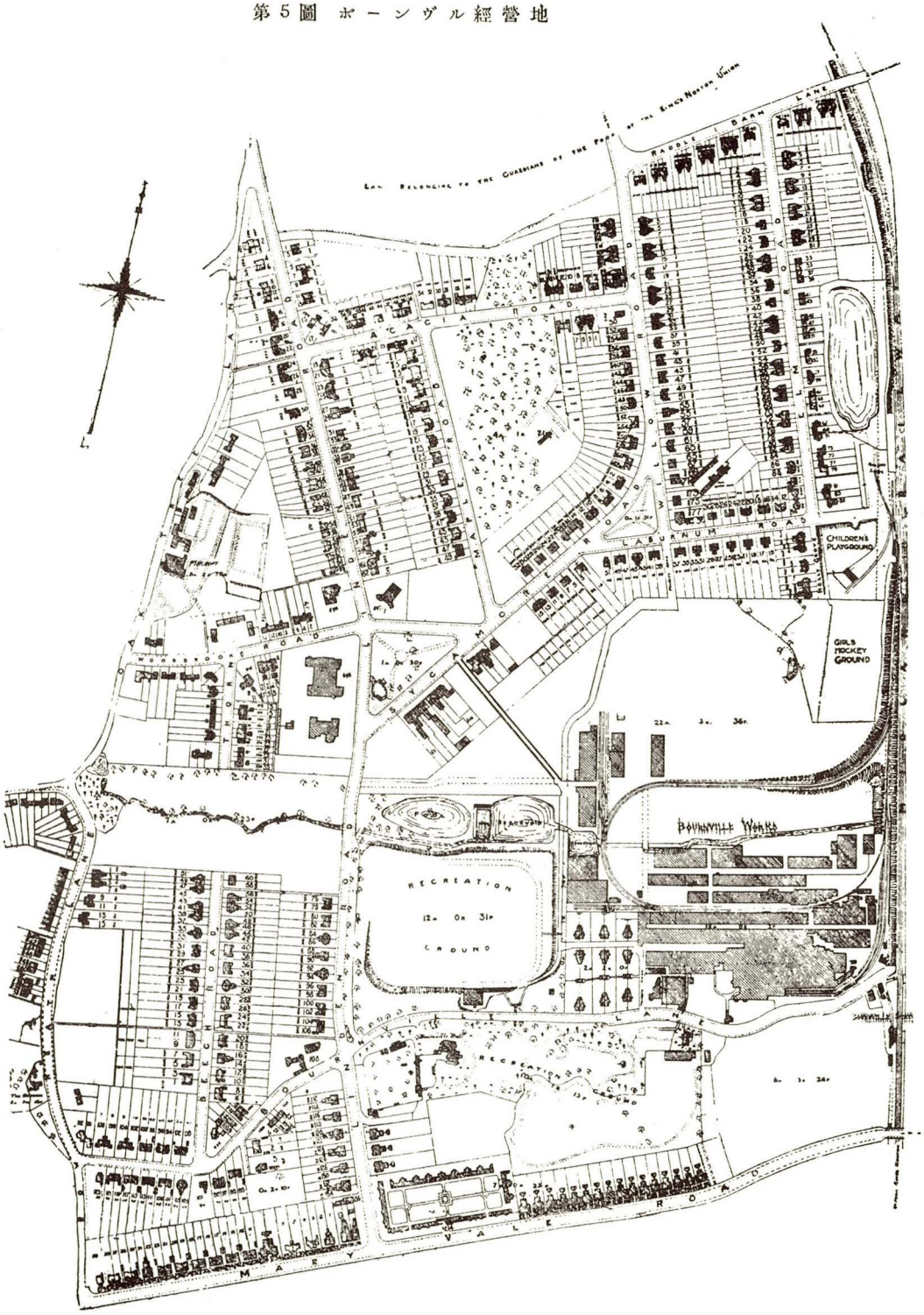
尙ほ、此の經營地が、勞働階級兒童への健康に與へた影響は如何なるものであつたかは、次に示す比較が雄辯に物語るであらう。即ちバーミンガムの密住地に於ける兒童と、ボーンヴルに於ける兒童し健康の比較表は、此の間の事情を明かにしてあまりあるものがある。

兒童の體重及身長比較表[10]

	體重				身長			
	男		女		男		女	
	A	B	A	B	A	B	A	B
6 歲 兒 童	斤度 45	斤度 39	斤度 43.5	斤度 39.4	吋 44.1	吋 41.9	吋 44.1	吋 41.7
8 〃	52	47.8	50.3	45.6	48.3	46.2	48 6	44.8
10 〃	61.6	56.1	62.1	53.9	51.9	49.6	52.1	48.1
12 〃	71.8	63.7	74.7	65.7	54.8	52.3	56.0	53.1

但 A……ボーンヴルに於ける兒童
B……バーミンガムの密住地 St. Bartholomew's ward に於ける兒童。

第5圖　ボーンヴル經營地



ラウントリーのニユアスウイツク

キヤドベリ一鄕のチヨコレート會社とならび稱せらるべきラウントリーのコヽア會社は、チヨコレートの名が有名である如く一般に知られて居るところの英國に於けるコヽア會社の一つである。そして此の持主又は社長である。[11]ヨセフ、ラウントリーと[12]ビ、シボーム、ラウントリーの兩氏は、當に實業家としての名士であるばかりでなく、ヨーク州の神として、救世軍のブース大將と共に民衆から慕はれて居るのである。彼は、救貧事業に非常なる興味を持ちブース大將と共力して、ヨーク市に於ける貧民窟の社會測量を行ひ、その結果を學會に發表し、學會に多大なる貢献をなしたのは有名な話である。此の事實は、同時に社會科學者及經濟學者の間に於て、重要な存在となり此の方面に於ても世界的に彼れの名は喧傳されたのである。我が國に於て最初河上博士によつて唱へられた〃貧棒線〃なる說は、實はブース及ラウントリーの兩氏による“Povertyline”に外ならないとの事である。

彼れのかゝる社會改良に對する宗教的な熱意と、學者的に周到なる用意は、キヤドベリー氏のボーンヴルに於ける實績に鑑み、聽て工業の都市分散の必要と彼等の所謂〃線の內の工場が結局は當時の勞働階級の社會的不安を一掃し、延いては國民生活の安定の基調をなすものであると信じ、田園村落の建設をニウ、アスウイツクに開始したのである。(1904～1909)而して勞働階級の人々と彼等の家族へ、平和なる家庭と快適なる環境を設備すべく努力したのである。

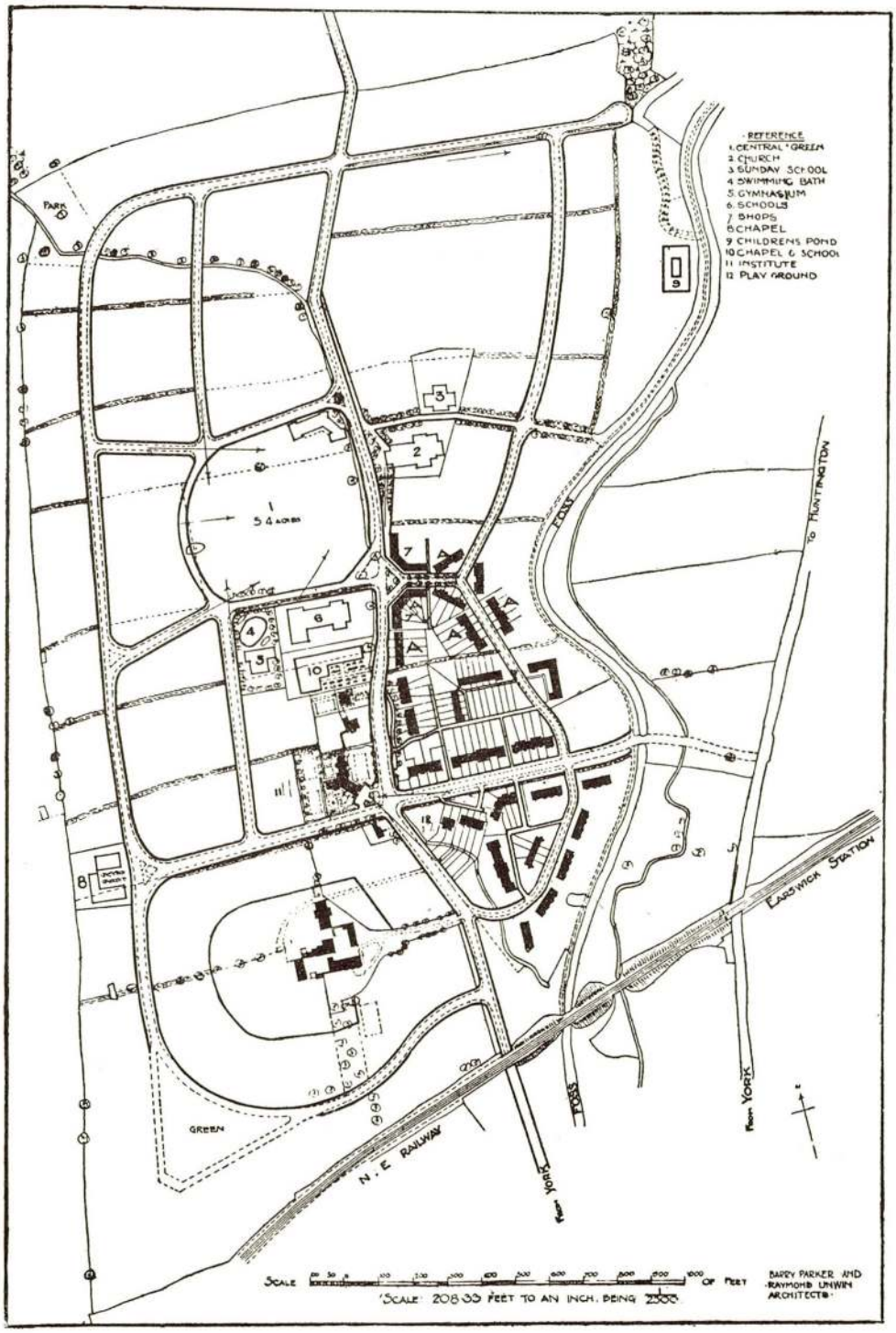
此の經營地の區劃計畫と、そのなかに建築される住宅の設計に關しては、レーモンドアンウイン氏の技術的手腕が動員されたのである。

此の經營地の總面積は僅か120英町に過きないが、此の經營地の持つ社會的意義を吟味すれば、嘗て英國に於て試みられた此の種の計畫のなかで最も〃田園村〃の理想に近いものであると傳へられて居る。[13]即ち住宅は道路境界線より深く後退して建築されて居り、住宅と庭園とがなす繪の樣な魅力ある風致のところを靜かな村道が通つて居るのである。住宅は、壹英町に10軒の割合で150軒建築され、そして經營地の開發に關しては、ビ、シボーム、ラウントリー氏の援助の下で着實に進捗して居るのである。又此の經營地の管理事務に關しては、此の方面に就て優れたる常識と敷地の分割に付いては興味ある實績を持つて居るHarlock孃がその任にあたつて居る。

要するに、此のニウアスウイツクに於けるラウントリーの試は、當時の英國の社會思潮を指導する有力な實驗であると看做ことが出來やう。

註 8 Bournvill Village Trust (1900年にトラスト組織になる)。
註 9 Henry R. Aldrige; The case for Town Planning; P.402.
註 10 前揭書 P. 130
註 11 彼は1925年2月26日88歲の高齡を以つて永眠したのである。
註 12 彼は震災直後我國に於ける森永製菓會社その商用を兼ねて來訪せられ、我國の Society of Friends 及工業俱樂部に於て〃近代の英國に於ける社會思潮〃なる題目で講演せり。(通譯者、前者は立敎敎授竹村豐太郎氏、後者は評論家早坂二郎氏)
註 13 Henry R. Aldridge; The case for Town Planning, P.410.

第6圖 ニウアスウイックの經營地



ハワードの提案の地方計畫的意義

工業の都市分散に關する以上の如き實證的試みに前後して、エベネワツア、ハワード氏による田園都市建設に關する提案があつた。

ハワード氏の提案の内容は、これまで、あまりに屢々試みられてあるので最早喋々の要なきも、彼れの精神を流れて居る地方計畫的意義を明かにする意味で、彼れのものしたパムフレツト〃明日の田園都市〃[14]の片鱗を紹介して本論の結びとする。

彼の著書の中で、彼、ハワードの唱道するところは、英國の農業地方に各階級の人々に、衞生的な環境を與へる爲めに、より文化的な住宅の供給を主張する立場から人口32,000位の模範都市を、新しい技術と衞生學的な成果を組合して建設する提案であつたのである。彼は〃私の提案は人口稠密の都市の中心地區より、人口稀薄な農村地方へ、組織的人口移住運動を企つるにあるのである〃[15]と言つて居る。

現在純農業的地方の土地 6,000 英町を壹英町40磅の割で、總計24萬磅で購入され、其の土地は第1に社債（株主）所有者への擔保とし、第2には建設さるべき田園都市の住民の爲めに信托される事になつて居る。[16]

土地購入の目的の主たるものは、大略次の様に要約する事が出來やう。即ち工業勞働者に、より高い購買力のある賃金を支給し得る仕事を見出し、そしてより健康なる環境を與へ且つ失業者をなくする事の爲め、工業資本家、消費組合、建築家、技師、建築業者及あらゆる種類の機械技術家、其の他種々なる職業に從事する者へ彼等の資本と技能に應じた、新しく且つよりよい手段を提供し、傍ら其の經營地に現在生活して居る農民又は、其處へ移住する人々の爲に極く手近なところに彼等の生產物の新しい市場を開設する事等である。要するに其の目的は、階級の如何をとはず、あらゆる勞働者の健康と快適の標準を高めんとするもので、是等の目的を達し得べき方法は、都會生活の經濟的條件と田園生活の健康的條件なる自然的な環境の合理的な結合によるより外道はないと云つてゐる。[17]

（現在外國に於て、人口の都市集中を防止する手段として、農村の都會化と農村の餘剩勞働の利用と云ふ主張は、若干是等の主張と共通點がある。）

經營地6000英町の中心部に建設される都市は全面積の $^1/_6$ で、即ち1000英町の中心部に村落を形成し、他は全部農耕地としておくのである。

彼の主張の一は、此の都市の居住者から非常に合理的に期待し得べき地代が〃田園都市の金庫〃に拂込まれるとすれば、

註 14　To-morrow; A peaceful Path to Real Reform; と云ふタイトルで1898年に再版が出、第3版が發行される時 Garden Cities of To-morrow と改題されたのである。

註 15　Ebenezer Howard; Garden Cities of To-morrow. P.112.

註 16　前揭書　P. 20

註 17　前揭書　P. 22

a. 土地購入に要した金額の利子の支拂。

b. 元金償還の爲に償還基金の設定。

c. 强制的に賦課したる地方稅に依て市及他の地方行政機關が普通に建築及維持する様な事業の建設及維持。

d. 尙(社債償却後)養老年金、災害及疾病保險等の目的の爲め多額の餘金を見出すに充分なること。[18]

を示すにあつたのである。それ故に、この建築敷地の賃貸には、かゝる財產に關して、賦課される地方稅、國稅及其他のあらゆる課稅を借地人が、支拂と云ふ普通の契約條項を含まずに反對に地主が收入の金額を第1に社債の利子支拂に、第2に社債の償還に、第3に差引の金額は其都市の市當局以外の行政機關による賦課支拂をも含みたる公共用として、公共基金の中に當てる契約をするのである。

ハワードのパンフレツトの價値ある點は、彼の田園都市案が、當時の英國の惱であつた、農村並に都市に存在して居つた社會問題解決の鍵であると主張するところにあつた。彼が社會に示さんとして居るところのものは、現在あらゆる都會に於て嘗て見出し得なかつた程の魅力のあるものであつた。即ち新鮮なる空氣と、うるはしい田園の中に於て、有利なる產業を行ひ得る機會、將來への發展をして、より幸福に快適な社會生活が如何にして創造さるべきか、或は農村より都會に溢れ來る人口を如何にして堰止めるか、その反對に都會に集中して來た農村人口を如何にして歸農せしむるか、或は又都會の利益と農村の利益を如何にして融和さすべきや、事實都會と農村が互に對立することなく如何に平和に結合さるべきや是等を解決すべきキーストンを具體的に示すにあつたのである。(彼は此の結合によつて、人生の新しい希望、新しい生活、そして新しい文明が發生するものと信じて居つた。)

彼は、都市に人口が集中する原因に就て論ずることなくして、是等の原因を一括して〃魅力〃(Attractions)と云つて居る。換言すれば、都市は自己の方に民衆を引き着ける磁石のやうなものであるが同時に農村も亦その磁石の一つである。けれども後者が社會の一般民衆に及ぼす魅力は前者より遙かに微弱である。そこで彼れが提案する所謂社會の救治策は「都市、農村的磁石」とも稱すべきもので、都會生活と農村生活とが平和に結合された新しい社會であると云ふのである。

ハワードは、此の計畫の實行性を經濟的商業的及財政的見地より力說して居る。彼は又、全國民の社會的發達に對する大なる刺戟は、全然新しい都市の建設と云ふ様な實驗によつて得らるゝ智識と經驗により來るものであらうと暗示して居る。

彼は、バツキンガムと同様に、是等を一つの社會改良的作品と見てゐるのであるから、國によつて事業を遂行する代りに、博愛と事務とを併せ持つた私人によつて實行さるべき

註 18 前揭書 P. 28

事を主張して居る。尙ほ彼れの提案に對する聲明のなかには次の如き事が主張されて居る。即ち、

〃一般民衆の心を困惑せしめ或はこの事業を國家的な規模の下に於て遂行せんとするのは早計であり。且つ企業者の努力を徒爾に終らしむるものである。充分なる考慮と注意とが最初に此の運動の上にしかも外觀内容と共に世人の注意をひくに足る規模の範圍内に於て集中さるべきである。〃と、

此のハワードの提案による田園都市とバツキンガム氏のヴクトリアとの一致する點を總括的に擧げれば下の如く要約することが出來る。

1. 全く新しい都市の建設。
2. 發起人に對する配當金の支拂制限。
3. 都市の大いさの限定。
4. 都市は農耕地帶で取圍まれること。
5. 工場は職工が充分新鮮なる空氣を享樂し得る様な場所に配置すること。
6. 地代を以つて都市の費用に充當する點。
7. 人口の過密狀態の豫防設備。
8. あるゆる階級の人々への住宅が存在すると共に都市は規約の統制下に建設されること。
9. 以上に屬せざる土地は農耕地帶を除き同様の原則のもとで建設する點。

兩者の相違點を強いて擧ぐれば、ハワードの提案によれば、都市の工業と商業を、私的企業として行はしむる事を許して居ると云ふ事だけである。

（終り）

都市計畫地域に對する施設及防火地區に於ける耐火建築物の促進助成

加藤善吉

1.

本問題は識者に於て既に屢論議せられる問題であるが、未だ容易にその實現を見るに至らざるは甚だ遺憾に堪へない。

然るに大阪に於ける地域は、指定後の實蹟と都市的事情の推移に鑑み再檢討の上全面的に大變更を加へられ、大阪都市計畫地域の確立を見、又防火地區に在つても都市防護の必要上大擴張を見るに至つたので、此際更に一層本問題を強調し之れが實現に拍車をかけることは時宜に適したる措置であらうと思ふ。

最近內務省に於て六大都市及北九州の大都市防護の施設をなすべく其の計畫が進められつつあることは、吾々の大に意を強ふするに足る、國策として是非實施を熱望する。

地域即ち用途地域の指定に當つては各種地域の持つ性能を充分發揮し都市の健全なる發達を圖るために諸般の調査と愼重なる研究のもとに決定せらるるのであるが、之れが決定せられたる儘に放任し地域的に何等の施設を爲さざるに於ては地域の効果を十分發揮せしめられざるに至るのみならず、產業の發展に支障を來す場合なきを保し難きものがある。

又防火地區に在つても之れが達成に必要なる助成の途を講ずることの緊要なるは之れ又贅言を要せない。

2.

現行我が國の地域は住居、商業、工業地域の三種であるが之等の地域に對する必要なる施設に就て漸次述べ之れが實施を願つて止まない。

1. 住居地域に對する施設

住居に關しては種々なる問題の相互考慮を必要となすも、要するに生活を安逸ならしめ精神上の慰樂を得せしめるには先づ第一に衞生的に生活せしめることにある。

住居衞生の第一要件は清淨なる水と空氣と日光とである。古の俚言にも「日光の入らざるところ醫者が行く」とある如く日光は實に吾々の生活に絕體的に必要缺くべからざるものである、又空氣汚濁の不快は精神上肉體上に及ぼす影響多大で、其の大なる原因は密住と亂雜極まる工場より發散する煤煙と惡瓦斯である、更に今日公衆衞生の機關として認められる上下水道、電氣、瓦斯設備の完成である。

其他住居環境に必要なる施設として理想的娯樂設備、公園、遊園地、教育機關の施設等相俟つてこれを爲すべきである。又一方に於ては積極的に住居の慰樂を害するものの除去、自然美の破壞行爲の禁止の取締を必要とする。

更に重要なる案件は完全なる道路と交通機關の統一的完備である、現在に於ける不完全なる郊外道路はこれを整然たるものとなすとともに交通機關の必要なる施設をなして以て統一し、運賃の低下を圖ることである。

交通機關は實に住居問題に至大の關係を持つもので住居問題の關鍵を握つて居ると言ふも過言ではない、都市に於ける人々の集中、分散の傾向は一つは交通機關の完備すると否と因るものが多い、實際の施設に當つては車中の時間、物理的エネルギー及經濟上の問題を考慮することを忘れてはならぬ。

2. 商業地域に對する施設

商業地域は主として都市の中樞部に集團をなして居る關係上交通の輻集する所である、故に街路交通に特に留意するの必要がある。歩道の幅員、駐車場の設備、路上工作物の整理、非常時の避難等諸般の施設がある。其他特に考慮すべきは下水道の計畫施設の改良である。本件に關して曩に日本建築協會より當局に建議した問題であるが、近時都市の中樞部は高層建築物の簇生を促し、將來地價の昂騰と防火地區の指定とともに益々增加を見るべく、從つて設備に於ても亦著しき進歩を見て居る。就中汚水の淨化及煖房の設備せられざるなく、從つて之等に要する水量も增加し、殊に近來發達し盛に大建築物に設備せらるる冷房設備に至つては、從來見ざる驚くべき多量の水を使用してゐる。之等汚水、煖房、冷房を合すれば其の排水量は實に夥しきものとなる。故に將來高層建築物の櫛比を見るべき商業地域に於ける下水道はこの點深く考慮して施設するの必要がある。

3. 工業地域に對する施設

工業地域に對しては道路、鐵道、水運等夫々の發展、都市の繁榮を企圖する上に必要缺くべからざる條件である。從來ややともすれば工場は都市に於ける弊害の源泉であるかの如く見られ、邪魔物扱ひにされ勝ちの傾向があつたが謬れるの甚だしきもので、實に工業は一國產業經濟上に至大の關係を有し之等の盛衰は直ちに國家に反影する。

殊に我が國の地域制に於ける工業地域は名こそ工業地域であるが用途上に於ては無制限である。從つて如何なる建築物の存在をも妨げない、これがために著しく工業施設の利用を阻害する場合が多い、之等は適當なる法の改正を必要とするも更に工業地域の現狀に於ても工業發展のために相當の施設をなすの必要を認める。工業地域內の幹線通路の速かなる實現、運河の擴築鐵道引込線の敷設、工場專用水道、工場廢水道、安價なる電力供給の計畫施設等である。

工業地域に對する施設を必要とする問題は我が國のみでなく米國に於ても一部論議せられて居る、即ち W. C. K. Baumgarten 氏の工業地域の「配置と計畫」に於て、都市當局

は工業地域は設定のみをなして何等の具體的施設をなさず市民の自由に放任せらるるが常であると實例を擧げて工業地域の施設計畫を說いてゐる。然れども近時紙上で見受ける處に依れば工業地域內の道路に大々的に鐵道引込線を設け之れを本線に連絡せしめて工場能率增進の途を講じてゐる例が非常に多い。又同氏は工場の位置は近時原料の產地、原動力、勞力、資本、自然的條件に依つて支配せられることよりも寧ろ製產品が消費者に達する運賃の低廉なることと及び短時間に達すると云ふことが重要であると說いてゐる。我が國に於も近時「トラツク」の發達著しきものあるもこの一面を窺うことが出來る、從つて街路の問題が最も重要視せらるる所以である。

施設に於て然りであるが、工場建設に對する土地の問題に關しても重要視すべき制度を認めて居る國がある、即ち曩に普魯西政府が發表したる都市計畫草案に於ては工業地域のために土地收用の制度を認め、工業地域內の土地を工業經營者が相當の價額を以て買收せんとするも之に應ぜざるときは、公共團體は工業經營者に讓渡する目的のもとに、その土地を强制徵收し得る制度を規定してゐる、これらも大に考ふべき點である。

其他空中汚染防止に關する施設であるが本問題に關して藤原博士は詳細なる調查研究を發表せられて居るが、その中でも煤煙防止、防減策として先づ完全燃燒爐の設置、無煙燃料の使用、機械給炭機の使用と手焚法の改良、噴煙取締の勵行のために監視制度の確立などが擧げられてゐる。之れは都市の空中汚染輕減策として當事者のなすべき當面の責務である。

3.

防火地區に於ける耐火建築物の促進助成に關しては、先づ以て今回追加指定せられたる防火地區內の建築物の新築改築に對しては東京、橫濱に於ける如く國家公共の費用を以て建築補助金を交附し建築資金の低利融通の途を開くことである。都市防護は究極するところ耐火建築の普及である。大阪に於ては大正12年防火地區の指定を見たのであるが、指定當時同地區內に耐火建築物が117棟ありしものが其後12年を經過して漸く201棟の增加を見たのみである。今回の擴充に依り市民は耐火建築の强要せらるる區域が增加したのであり、從つて從來より多くの耐火建築を見るべきは豫想せらるるも、この儘何等助成の途を講ずるにあらざれば結局從來の如く其の普及遲々として進まざるは明かである。1日も早く其の完備を計り都市防護の目的を達成するためには國家公共團體は進んで之れが促進に助成補助をなすことは當然のことであると思ふ。耐火建築の普及發達に達しては本協會は生命として率先强調せられ來つた問題であり、爾來各方面より屢々論議せられ來つたのであるから今更努々を要せざるを以て茲には只目的達成の速かならんことを祈つて筆を擱く。（昭和11年7月5日）

大阪衞星都市に於ける工場調査

都市計畫大阪地方委員會

I 緒　　篇

1・大阪衞星都市

昭和8年3月29日都市計畫法の一部が改正せられて、町村にも單獨に之を指定し得る途が開けた。人口增加率顯著なるもの、人口一萬以上のもの、溫泉地、海水浴場、史蹟地、遊覽地等を有するもの、災害を蒙りて復舊を要するもの、港灣の修築、工場、停車場の設置等に伴ひ市街地の造成せられんとするもの等が大體この資格を有するものとして擧げられるが、之に基き、大阪府に於ても、昭和8年12月28日、最も重要と見做され得る町村、即ち、高槻町、池田町、豐中町、箕面村、三鄕村、小阪町、布施町、長瀨村、彌刀村、加美村、柏原町、長野町、大津町及高石町の14ケ町村に都市計畫を施行することとなつたのである。而して後昭和九年六月六日、之等町村の經營に關する事項を調査研究せしめんがために大阪衞星都市協會なるものが生れたが故に、便宜上之等14ケ町村を大阪衞星都市と呼んでゐるのである。從つて、所謂衞星都市即ちサーテライト・シティに必ずしも當るものではない。

大阪衞星都市世帶及人口（昭和十年）

町村名	世帶	人口			昭和五年人口	大正十四年人口
		總數	男	女		
高槻	5,640	28,296	13,909	14,387	22,497	18,994
池田	6,658	31,457	15,750	15,707	25,434	20,643
箕面	2,059	9,895	4,740	5,155	8,012	6,245
豐中	4,934	24,126	11,855	12,271	16,129	10,674
高石	2,923	14,395	6,957	7,438	10,703	8,594
大津	4,929	24,357	11,938	12,419	19,563	16,852
長野	1,215	5,605	2,818	2,787	4,829	4,337
柏原	2,037	10,025	4,759	5,216	7,255	5,810
彌刀	1,335	5,931	2,967	2,964	3,172	2,031
小阪	2,959	13,518	6,795	6,723	9,803	6,698
布施	10,751	48,696	24,919	23.777	31,052	16,474
加美	1,496	7,088	3,722	3,366	4,468	3,092

長	瀬	3,091	14,230	7,309	6,921	8,394	5,451
三	郷	1,911	8,813	4,516	4,297	6,203	4,497

大阪衛星都市用途別戸數

町村名	年度	工場		商店		住宅其ノ他		合計	
		現在數	増	現在數	増	現在數	増	現在數	増
高槻	大正十五年	14	—	306	—	3,883	—	4,203	—
	昭和五年	26	12	399	93	4,065	182	4,490	287
	昭和十年	59	33	842	443	4,741	676	5,642	1,152
池田	大正十五年	14	—	1,017	—	3,360	—	4,391	—
	昭和五年	22	8	1,137	120	3,860	500	5,019	628
	昭和十年	29	7	1,641	504	4,909	1,049	6,579	1,582
箕面	大正十五年	4	—	224	—	1,306	—	1,534	—
	昭和五年	5	1	244	20	1,492	186	1,741	207
	昭和十年	9	4	267	23	1,787	295	2,063	322
豊中	大正十五年	9	—	212	—	1,984	—	2,205	—
	昭和五年	13	4	334	122	2,625	641	2,972	767
	昭和十年	25	12	585	251	4,618	1,993	5,228	2,256
高石	大正十五年	19	—	292	—	1,489	—	1,800	—
	昭和五年	24	5	396	104	1,841	352	2,261	461
	昭和十年	39	15	441	45	2,406	565	2,886	605
大津	大正十五年	128	—	641	—	2,674	—	3,443	—
	昭和五年	223	95	723	82	3,169	495	4,115	672
	昭和十年	430	207	836	113	3,414	245	4,680	565
長野	大正十五年	22	—	180	—	650	—	852	—
	昭和五年	23	1	245	65	617	-33	885	33
	昭和十年	37	14	270	25	882	265	1,189	304
柏原	大正十五年	30	—	311	—	1,067	—	1,408	—
	昭和五年	44	14	519	208	1,008	-59	1,571	163
	昭和十年	79	35	600	81	1,458	450	2,137	566
彌刀	大正十五年	5	—	51	—	325	—	381	—
	昭和五年	23	18	74	23	605	280	702	321
	昭和十年	37	14	129	55	1,182	177	1,348	646
小阪	大正十五年	22	—	382	—	1,161	—	1,565	—
	昭和五年	36	14	447	65	1,768	607	2,251	686
	昭和十年	64	28	578	131	2,372	604	3,014	763

布施	大正十五年	32	—	504	—	4,204	—	4,740	—
	昭和五年	75	43	1,247	743	6,224	2,020	7,546	2,806
	昭和十年	550	475	1,827	590	8,631	2,407	11,008	2,462
加美	大正十五年	25	—	58	—	689	—	772	—
	昭和五年	34	11	96	38	862	173	992	220
	昭和十年	120	86	114	18	1,262	405	1,496	504
長瀬	大正十五年	26	—	220	—	963	—	1,209	—
	昭和五年	47	21	284	64	1,327	364	1,658	449
	昭和十年	110	63	500	216	2,484	1,157	3,094	1,436
三郷	大正十五年	17	—	136	—	1,361	—	1,514	—
	昭和五年	22	5	140	4	1,472	111	1,634	120
	昭和十年	34	12	148	8	1,729	257	1,911	277

2・我國の工場分布狀態

果して工場は地方に分散するや？　この問題は住宅及工場の適當なる分集を計り以て大都市の不健全なる膨張による弊害を除去せんとする地方計畫論に投げかけられた重要な課題の一である。

其の理論的研究はさて措き、本邦内地各府縣に於ける工場分布の現狀を最も雄辯に物語れるものに、昭和9年8月、商工省工務局より發表された所の「本邦内地工業分布の趨勢」と題する統計書がある。其の中、業種別に觀た概要を抜萃すれば次の如くである。



(1) 紡織工業　經營規模の大小、設立時期の如何を問はず、郡部工場が市部工場に比して斷然多い。併し、莫大小製造業及染色、精練、漂白及整理業に屬する工場は、製絲、紡績、織物業と異り、市部工場が郡部工場に比して遙に多

い。

(2) 金屬工業　經營規模、設立時期の如何を問はず、市部工場が郡部工場に比して斷然多い。

(3) 機械器具工業　同上。

(4) 窯業　硝子及硝子製品製造業に屬する工場は市部に集中してゐるが、陶磁器、煉瓦及耐火物、屋根瓦、セメント、石灰製造業及其の他窯業に屬する工場は、郡部工場が市部工場に比して遙に多い。

(5) 化學工業　經營規模の大小、設立時期の如何を問はず、市部工場が郡部工場に比して遙に多い。

(6) 製材及木製品工業　200人未滿の職工を使用する中小規模工場は市部に多いが、200人以上の職工を使用する大規模工場は、工場數に於て市部郡部何れも同率である。

(7) 印刷及製本業　100人未滿の職工を使用する比較的小規模工場は郡部にも若干あるが、100人以上の職工を使用する比較的大規模工場は市部にのみ設立されてゐる。

(8) 食料品工業　100人未滿の職工を使用する比較的小規模工場は郡部に多いが、100人以上の職工を使用する比較的大規模工場は市部に多い。

(9) 瓦斯及電氣　200人以上の職工を使用する大規模工場は市部にのみ設立される。但し、瓦斯のみに就いて言へば市部工場が郡部工場に比して斷然多く、電氣のみに就いて言へば郡部工場が市部工場に比して遙に多い。

(10) 其の他の工業　經營規模の大小、設立時期の如何を問はず、市部工場が郡部工場に比して遙に多い。

(但し茲に言ふ市部とは市全體を含み、特に大都市を指すものでないことを斷つておかねばならぬ。)

3・本調査の内容

本調査を行ふに當つては、先づ「工場調査票」なるものを、都市計畫大阪地方委員會より當該町村に分配したのであるが、其の内容概要は次の如くである。

(1) 工場名及所在地竝に製品及原料名

(2) 登錄年月日

(3) 敷地面積及建築面積

(4) 土地賣買價格及借地料

(5) 現在使用する職工數及馬力數

(6) 主なる出入口に接する道路幅

(7) 工場の直接使用する鐵道、軌道、河川、運河の名

(8) 燃料(石炭)の運搬方法

(9) 現在の所在地を工場敷地として選定せる主なる理由

(10) 前營業地より現在地に移轉したる主な理由(當初より現在地に在るものを除く)

(11) 主なる原料の仕入先、製品の行先及其の運搬方法

本調査は名町村の全工場に亘らんとしたのであつたが、種々の都合により正確なる回答を得たものは次の如くである。但し、五人以上の職工を使用する工場は尠くとも全部之に含まれてゐる。

回答を得たる工場

町村名	回答を得たる工場数	町村より回答せる年月日
高槻	57	昭和11年4月10日
池田	28	昭和11年3月11日
箕面	7	昭和11年2月6日
豊中	25	昭和11年2月6日
高石	14	昭和11年4月22日
大津	299	昭和11年3月30日
長野	18	昭和11年2月14日
柏原	56	昭和11年3月5日
彌刀	15	昭和11年3月9日
小阪	49	昭和11年1月11日
布施	200	昭和11年3月2日
加美	87	昭和11年3月26日
長瀬	81	昭和11年4月10日
三郷	34	昭和11年4月1日
計	970	

II 本　　篇

1・工場登錄年度

登錄年＼町村名		高槻	池田	箕面	豊中	高石	大津	長野	柏原	彌刀	小阪	布施	加美	長瀬	三郷	計
昭和	11年	2	—	2	1	—	2	—	—	—	—	2	3	1	3	16
	10年	5	3	1	7	1	41	1	8	1	4	43	27	14	11	167
	9年	8	2	1	—	—	40	—	3	2	11	48	21	14	4	154
	8年	7	1	—	1	1	25	2	3	1	2	24	12	8	2	89
	7年	4	1	—	2	1	15	1	7	—	1	7	3	6	1	49
	6年	1	—	—	1	—	17	—	3	4	4	13	2	3	—	48
	5年	5	1	—	1	—	12	—	4	2	1	11	2	2	—	41
	4年	1	1	—	—	—	19	—	1	—	3	7	1	—	1	34
	3年	1	—	—	1	—	24	—	4	1	1	3	2	4	1	42
	2年	3	6	—	2	—	8	—	3	1	6	6	3	4	2	44
大	15年	3	2	—	—	1	13	1	2	1	3	2	1	9	2	40
	14年	—	—	—	1	2	4	1	2	—	—	4	—	6	1	21
	13年	—	2	—	2	—	3	—	2	—	—	1	1	1	—	12
	12年	—	3	—	2	1	9	1	1	1	1	—	1	2	1	23
	11年	—	2	1	2	—	9	1	3	—	—	1	1	1	—	21
	10年	—	1	—	—	—	7	1	2	—	2	—	2	2	1	18
	9年	—	1	—	—	—	2	2	1	—	—	1	—	—	—	7
	8年	—	1	1	—	—	1	—	1	—	2	1	—	—	—	7
	7年	1	—	1	—	1	3	1	—	—	2	—	—	—	—	9

正	6年	2	—	—	—	1	5	1	—	—	3	—	1	—	—	13
	5年	1	1	—	—	—	10	—	3	—	1	—	1	—	1	18
	4年	1	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	3年	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	1	—	—	4
	2年	—	—	—	1	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	6
	1年	—	—	—	—	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	3
明治		3	—	—	1	2	16	5	3	—	2	—	—	1	—	33
不明		9	—	—	—	2	1	—	—	1	—	26	2	3	3	47
計		57	28	7	25	14	299	18	56	15	49	200	87	81	34	970

2・工　場　の　規　模

規模 / 町村名	敷地面積(坪) 總計	敷地面積(坪) 一工場當平均	建築面積(坪) 總計	建築面積(坪) 一工場當平均	職工數 總計	職工數 一工場當平均	馬力數 總計	馬力數 一工場當平均
高槻	79,951	1,403	21,105	370	3,079	54	3,144	55
池田	4,433	158	2,641	94	194	7	211	8
箕面	1,527	218	550	79	116	16	25	4
豐中	4,427	177	1,636	65	337	13	86	3
高石	29,835	2,131	10,615	758	1,069	76	2,023	14
大津	73,976	247	34,953	117	4,501	15	4,896	16
長野	6,633	368	2,980	166	471	26	408	23
柏原	53,897	962	12,163	217	1,595	28	2,467	44
彌刀	4,010	267	1,084	72	262	17	133	9
小阪	4,663	93	2,299	95	312	6	321	7
布施	35,569	178	15,532	78	2,829	14	1,482	7
加美	28,655	329	9,632	111	1,833	21	1,957	22
長瀨	11,449	141	3,242	40	597	7	475	6
三鄕	16,864	496	4,408	130	488	14	110	3

3・工　場　の　業　態

業態 / 町村名		高槻	池田	箕面	豐中	高石	大津	長野	柏原	彌刀	小阪	布施	加美	長瀨	三鄕	計
染織工業	製糸	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	2
	紡績	—	—	—	—	2	7	—	—	—	—	—	—	—	—	9
	撚糸	1	—	—	—	—	10	—	—	5	3	—	4	20	—	43
	製綿	1	2	—	2	—	2	—	1	—	1	2	3	3	1	18
	織物	—	—	—	—	—	169	—	5	—	3	—	—	—	—	177
	其他の染色整理加工	1	1	—	—	1	51	—	16	—	—	—	—	3	2	75
	編物、組物	—	—	3	4	—	11	—	—	—	1	—	1	5	17	44
	雜業	1	—	—	1	—	2	—	—	—	—	2	2	—	—	8
	小計	4	—	3	7	3	253	—	23	5	8	4	10	31	20	376

機械工業	機械	—	1	1	2	—	5	—	—	—	2	10	9	3	1	34
	船舶車輛	—	1	—	2	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	5
	器具	5	1	—	—	—	2	—	1	1	—	4	15	2	6	37
	金屬品	9	2	—	3	4	7	6	9	6	15	69	13	13	—	156
	小計	14	5	1	7	4	14	6	10	7	17	84	38	18	7	232
化學工業	窯業	2	—	—	2	—	—	—	2	—	2	1	7	—	—	16
	製紙	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	製革及毛皮の精製	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	2
	發火物	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
	製油、製蠟	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	4
	製藥	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	—	—	7
	ゴム製品	1	—	2	3	—	—	—	—	—	2	7	2	—	—	17
	化粧料品	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2
	石鹸及蠟燭	—	1	—	—	—	1	—	1	—	—	3	—	—	1	7
	染料、塗料、顔料、糊料の類	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	5	5	—	—	12
	人造肥料	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	2
	雜業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	52	7	16	1	78
	小計	7	1	3	6	1	1	1	4	—	7	73	26	17	2	149
飲食物工業	醸造業	—	4	—	2	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	9
	畜、水産品	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	ラムネ、氷、鑛泉	1	1	—	—	—	2	1	3	—	—	—	—	—	—	8
	小計	2	5	—	2	—	2	1	6	—	—	—	—	—	—	18
雜工場	印刷製本	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	4
	紙製品	3	1	—	1	—	—	—	—	—	1	4	1	—	—	11
	木竹、蔓莖製品	7	7	—	2	—	14	9	5	—	—	5	1	4	1	55
	皮革製品	1	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	1	—	—	5
	羽毛製品	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	玉石、牙、骨、介甲及角製品	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	6
	雜業	14	1	—	—	4	15	1	8	—	14	25	6	7	2	97
	小計	28	12	—	3	4	29	10	13	3	15	35	9	15	3	179
特別工業	電氣	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3
	小計	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3
	不明	—	—	—	—	2	—	—	—	—	2	4	4	—	1	13
	合計	57	28	7	25	14	299	18	56	15	49	200	87	81	34	970

4・工場の地價及借地料

町村名	地價（坪當・圓）				借地料（坪當・一ケ月・錢）			
	回答セル工場數	最低	最高	平均	回答セル工場數	最低	最高	平均
高槻	25	3	35	12	23	2	18	6

池田	15	10	150	46	12	6	80	33
箕面	5	7	20	13	2	10	10	10
豊中	24	18	100	33	11	3	17	10
高石	3	15	20	18	8	4	12	8
大津	47	5	75	27	47	2	20	6
長野	7	2	25	11	11	1	20	7
柏原	13	10	50	22	35	3	20	7
彌刀	2	18	20	19	12	1	10	5
小阪	11	10	25	16	38	3	15	6
布施	77	8	80	28	166	5	25	14
加美	13	6	30	15	56	2	11	7
長瀬	24	8	20	15	49	1	10	5
三郷	33	5	30	13	33	2	15	8

5・工場の主要出入口に接する道路幅

町村名＼道路幅(間)	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0
高槻	1	10	7	14	2	11	5	1	1	—	—	—	—	—
池田	2	3	7	7	2	3	—	2	—	—	—	—	2	—
箕面	—	—	4	—	—	1	—	1	—	—	1	—	—	—
豊中	—	7	6	5	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—
高石	—	3	2	3	—	2	—	—	—	—	1	—	1	—
大津	4	68	102	67	27	26	2	1	1	1	—	—	3	2
長野	1	2	4	5	1	2	1	—	1	—	—	—	—	—
柏原	4	6	8	21	6	6	1	—	—	—	2	—	—	—
彌刀	3	5	3	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小阪	1	3	20	10	5	7	1	1	—	—	—	—	—	—
布施	3	16	35	60	27	33	6	4	2	—	2	—	3	—
加美	—	1	6	39	—	8	3	1	—	1	8	2	—	—
長瀬	1	12	21	17	4	21	—	—	—	—	—	—	—	—
三郷	1	6	11	8	2	5	—	—	—	—	—	—	—	—
計	21	142	236	257	79	128	19	11	5	2	14	2	9	2
百分比	2.0	15.0	26.0	28.0	8.0	14.0	2.0	1.0	0.5	0.2	2.0	0.2	0.9	0.2

6・工場の直接使用する運搬機關

町村名＼運搬機關	トラック	リアーカー	牛馬車	自轉車	肩曳車	計
高槻	36	10	7	1	8	62
池田	15	11	3	3	—	32
箕面	4	5	—	—	1	10
豊中	11	7	2	5	—	25

高石	8	4	2	1	—	15
大津	154	171	10	—	74	409
長野	7	1	1	1	—	10
柏原	37	19	3	3	1	63
彌刀	7	3	1	1	1	13
小阪	19	11	20	15	4	69
布施	80	108	38	38	5	269
加美	46	42	11	11	1	111
長瀬	31	25	3	19	—	78
三郷	5	21	2	8	2	38
計	460	438	103	106	97	1,204
百分比	38	36	9	9	8	100

註　同一工場にて〇以上の運搬機關を使用するものあれば、この數は工場數と一致せず

7・工場敷地として選定せる理由

理由＼町村名	高槻	池田	箕面	豐中	高石	大津	長野	柏原	彌刀	小阪	布施	加美	長瀬	三郷	計	百分比
交通運輸の便	19	13	1	7	2	111	4	18	1	20	40	16	4	6	262	24·4
從來の自宅に接近	1	—	2	3	—	140	7	3	3	21	7	—	—	2	189	17·2
借地料の低廉	5	2	1	6	2	7	2	3	9	9	60	36	11	9	162	14·7
職工雇傭の便	3	—	1	2	—	12	1	5	2	2	20	2	17	8	75	6·8
地域制限よりの解放	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	40	9	—	5	58	5·2
製品市場への便	7	2	1	3	1	10	2	3	1	—	12	13	—	2	57	5·2
土地の安價	4	1	—	—	—	9	—	4	—	—	17	15	—	4	54	4·9
從來よりの居住地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	45	1	46	4·2
他工場との聯絡上	6	—	—	—		3	1	2	—	—	15	2	—	2	31	2·8
用水の便	—	—	—	—	1	8	1	12	—	—	1	1	—	—	24	2·2
水質の良好	2	3	—	—	1	3	—	12	—	1	1	—	—	—	23	2·1
從來より自己所有地	3	—	1	3	—	5	—	1	1	1	3	—	1	—	19	1·7
周圍に空地の存在	4	1	—	1	1	3	—	1	—	6	—	—	2	—	19	1·7
事業の繼承	—	5	—	—	—	—	2	—	—	4	5	1	1	—	18	1·6
經業費の低廉	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	4	—	5	12	1·1
動力の便	1	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	6	1	1	11	1·0
營業の便	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	8	—	—	—	9	0·8
空氣の清淨	—	—	—	1	1	—	—	—	—	1	2	1	1	1	8	0·7
其の他	—	2	2	3	—	2	—	5	1	—	3	1	—	2	21	1·9

註　同一工場にて二以上の理由を存するものあれば、この數は工場數と一致せず

8・工場の移轉せる主なる原因

理由＼町村名	高槻	池田	箕面	豐中	高石	大津	長野	柏原	彌刀	小阪	布施	加美	長瀬	三郷	計	百分比
敷地の狹・隘	6	1	—	3	1	9	—	5	1	5	35	12	3	—	18	34.6

地域制限	—	1	—	—	—	—	—	3	—	—	31	13	2	1	50	21·4
交通運搬の不便	5	1	—	3	—	—	1	—	—	3	3	3	1	1	21	9·0
借地料の高價	—	—	—	—	—	1	11	—	1	—	—	4	1	—	18	7·6
道路工事はよる立退	—	—	—	1	1	4	—	—	—	2	4	1	—	—	14	6·0
經費の高價	—	—	1	1	—	6	—	1	—	—	2	—	—	3	14	6·0
附近への迷惑	2	—	—	1	—	—	—	2	—	—	5	—	—	—	10	4·2
火災其の他災害	—	—	—	—	—	3	—	—	—	2	3	1	—	1	10	4·2
用水及排水の不便	—	—	—	—	—	2	—	2	1	—	1	—	—	1	7	3·0
騒音煤煙粉塵等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	1	6	2·4
製品納入に不便	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1·6

9・移轉せる工場の前營業地

前營業地＼町村名	高槻	池田	箕面	豐中	高石	大津	長野	柏原	彌刀	小阪	布施	加美	長瀨	三鄕	計	百分比
同町村	5	3	—	5	2	18	—	1	—	7	11	1	—	1	54	22·4
附近町村	—	—	—	1	—	2	—	1	1	—	1	1	1	2	10	5·4
大阪市	4	—	1	1	—	—	—	4	2	1	76	28	4	7	128	64·8
大阪府	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	1	—	3	2·6
其の他	—	1	—	5	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	8	4·8
計	9	4	1	12	2	20	1	6	3	10	88	31	6	10	203	100·0

10・原料の仕入先及製品の行先

町村名	原料の仕入先							製品の行先						
	同町府内	附近町村内	大阪市内	大阪府下	其の他			同町府内	附近町村内	大阪市内	大阪府下	其の他		
高槻	13	—	26	—	14			22	3	19	1	12		
池田	5	—	20	1	2			16	5	7	4	8		
箕面	—	—	7	—	—			—	—	7	—	1		
豐中	2	—	21	—	1			10	2	12	—	2		
高石	1	—	11	2	1			2	3	7	1	9		
大津	196	4	132	7	12			185	2	133	8	35		
長野	2	—	10	—	6			2	—	13	—	9		
柏原	1	1	35	—	15			4	3	31	2	12		
彌刀	1	4	9	—	1			1	—	9	—	3		
小阪	3	7	36	8	5			2	5	43	1	5		
布施	15	2	154	8	13			6	—	153	3	40		
加美	—	1	78	1	10			—	1	65	2	25		
長瀨	—	—	74	1	1			—	—	71	1	12		
三鄕	3	—	27	1	1			4	1	23	2	6		
計	242	19	640	29	82			254	25	593	25	179		

建築隨想

國民保險の問題と住居

荒木正己

最近新聞紙上で國民保健の問題が國策として論議せられ、陸軍省の衞生省新設要望内務省の保健國策´等國民保健衞生の向上確保に關し爲政者の重大なる關心が示されつゝあることは近來喜ぶべきことである。然し伺ひ知る範圍で示された其對策を見るに保健國策の根本方策としての國民住居の問題の重要性に對する認識の驚くべき欠除に失望せざるを得ない。住居問題の重要性に氣がついてゐても方策が立たないのか、それとも全く氣か付かないのか、何れにしても甚遺憾である。然し只遺憾であると手を拱ねいで眺觀してゐられる問題ではない世人をして國民住居の問題の重要性を認識もしめ其改革向上の方策を示さなかつたことに對しては建築家は其責任の一半を負はなければならぬ。事實久しい間個々の住宅は建築家の問題であつたが國民住居の問題は關心の外に置かれてゐたと云つてもいいのである。然し今からでも遲くはない。國民住居の問題に對して眞劍に對策を考究し其責を課すべき時ではなからうか。

國民保健の問題がかくも論議せられるに至つた直接の原因は陸軍省も述べてゐるやうに壯丁體質の逐年驚くべき悪化である。この事實は本年初頭かしこくも東久邇宮殿下が煙都、大阪に對する御感懐の中に鋭くも御指摘遊ばされたのである。御言葉に恐懼して第四師團においては直ちに壯丁體格劣悪化の原因調査會が組織せられ工場衞生榮養問題、煤煙防止、公園施設等にわたつて廣範な原因調査を進められてゐると報せられてゐるのであるが、ここにも生活環境の根底をなす住居狀態の調査が忘れられてゐるかに見えることは殿下の鋭き御感懐に添ひ奉る意味において遺憾に堪へないのである。

陸軍省の發表によるも都市に於ける壯丁體質の劣悪化は實に驚くべきもので其原因は體育の不備、榮養不良、醫療施設の不備などにあるのではなく原因の根底は生産前の母體内に胚胎してゐる（6月23日、大朝）と述べてゐる。事實死亡率に就いて見れば都市より農村の方がはるかに高率であつて都市にあつては醫療機關が比較的充實してゐることを示してゐるのであるが、生れ落る前からの生活環境の劣悪さのために都市の壯丁體質は逐年悪化し蒼白い細々とした一握のもやしと化しつゝあると云ふ情ない狀態を現出してゐるのである。この事實は都市に於る住居狀態の劣悪さに起因すると見ざるを得ないのである。

然るに陸軍省の衞生省案なるものを見るに住居の問題は單に服裝、居住、其他合理化統制に關する事項として服裝の問題と同等に取扱はれて居り俗に衣、食、住と云ふのでおつきあひに擧げられてゐるに過ぎないのは殘念である。其他の方策は多く直接的な保健對策であつて火事を見て消防自動車を作るの類であつて防火地區を指定して不燃燒都市の建設を計ると云ふやうな根本方策の見られないのはかへすがへすも殘念である。陸軍省案に憤てて提出せられた内務省の保健國策なるものも殆ど同樣住居の問題は單に「榮養竝に住宅指導に關する機關を設置す、初年度豫算百萬圓（7月3日、大朝）として擧げられて居るのみで今度は衣食、住の内「食」と同居させられて居る。國民住居の問題は病人を見て藥を飲ますやうな對症療法的な保健方策と同列に取扱るべ

き問題ではなく、より根本的な國策として議せらるべき重要なる問題であると信ずる我々にとつては實に小外に堪へないのである。此際世界大戰直後英國國王が地方長官住宅竝に都市計畫評議會を招待して住宅問題の重要なることを切言せられた一節を引用するのも無駄ではないと思ふ。「健全なる民族は唯衞生的なる住宅に於てのみ之を育てることが出來る。幼兒死亡率を減じ結核を根絕するに最緊切なる要件は住宅の改善である。不安を改宗して滿足としなければならないならば良い住宅は之が一番有効なる手段たることが分るであらう」(英國の住宅政策より)。

今迄我國の住宅問題を論じた建築家は殆皆あちらのジィードルングのすばらしさを只新建築の形態として讃へるか、たまたま理論的に把握せんとする人達は我國に住宅政策の實現しない事は我國の社會經濟狀態の現段階における歷史的必然であると云ふ宿命論に陷つてゐる。其處からは單なる紙上の遊戲か何をやつても無駄だと云ふ傍觀的な態度しか產れない。一つの具體的な方策も產れつこない。それでいいのだらうか。我國の建築家は今こそ眞劍に國民住居の問題を考究し國策としての住居政策の確立に向つて一步前進すべき時ではなからうか。

我國においては今まで住居に關する法令としては都市計畫法、市街地建築物法、不良住宅地區改良法、住宅組合法、を擧ることが出來るが、都市計畫法による一團地の住宅經營は僅に唯一の試案を見出すの他空文に等しく、不良住宅改良事業も其事業費毎年僅に200萬圓程度に過ぎず此程度の費用のみでは單に大都市の見榮と誇の所謂社會事業の一つとしての存在價値はあつてもスラムの根本的な改善など到底望み得ない狀態である。住宅組合の數も甚少數で且夫を利用し得る者も自己の家を所有し得る中產階級に限られてゐる。公營住宅の供給も甚微々たるものでとうてい一般住居水準の向上に資する程の活動を見ることは出來ない實情である。やうやく市街地建築物法によつて建築せられたる一般住家の質の最低限下の低下を喰止めて居る形であるがこれとても住居の制限としては甚不備であり滔々たる住居水準の低下、生活環境の惡化に對して手のほどこす術を知らない有樣である

住居狀態の惡化に對しては何等統一的な住居監督制度にして見るべきもの無く僅に工場附屬寄宿舍規則、下宿屋に對する保安取締上の規則等によつて部分的に分散的に住居監督を行つて居るに過ぎず一般賃貸小住宅及小工場、家內工業、小商店等の從業員(所謂ボンサン階級)の言語に絕する劣惡なる住居狀態に對しては何等指導監督の方策もないのである。其結果が前述のやうな由々しき事態となつて現れるに至つたことは火を見るよりも明かである。

我々は此處に改めて國民住居の問題の重要性を認識すると共に其改革改善の根本方策の確立を期すべきである。これは一つの試案に過ぎないが少くとも

統一的な住居法の發布と住居監督指導の實施、
都市計畫事業としての强力なる集團住宅供給策の遂行
生活科學研究の爲の中央研究所の設立と地方住宅指導機關の確立、

は早急に望ましきものと思はれる。

壯丁の健康狀態の問題に止まらず國民生活の安定向上と一國勞働力の維持增進を計る根本方策は統一的な住居政策の確立の他ないのであり、住居及生產機關の合理的な配備統制による生活環境の改善と生產性の增大こそ都市計畫、地方計畫延いては國土計畫の根幹をなすのである。住居政策は單なる保健衞生立法に止まらず國策として國土計畫、地方計畫、都市計畫の下に綜合的に計畫實施せらるべきものであることを强調し度いのである。

おことわり。隨想としては少々柄にもない議論をならべ過ぎたやうです。夏の宵ビールのほろ醉に乘じて天下國家を論ずるの稚氣をお許し下さい

農村住宅設計懸賞募集趣意及び募集規定

（附設計参考事項）

福井縣に於て今回下の如き趣意にて農村住宅設計の懸賞が募集せられて居る。同縣から本誌上に紹介されたき旨の依頼があつたが、附錄の設計参考事項は住宅設計に關する基本數字として參考になる點が多いから、茲に趣意書、募集規定以下全文を掲げることとする。

（編　輯）

趣　　意

現下日本の有する缺陷の一つは都市と農村との文化並に生活條件の甚だしい不均衡である。農村は多く經濟的に行詰つてゐる。その保健狀態は都市に比して却て不良である。精神的並に物質的慰樂の稀薄は農村の青年をして都市へ逃避せしめる。然も人口の5割を包容する農村は國家機構の重要なる要素であつて其の盛衰は直に國運の消長に影響することと言ふ迄も無い。されば今日農村の生活問題は諸種の觀點より再檢討されなければならない。而して農村生活の整調は農村住宅の改善に俟つこと甚だ尠しとしない。是れ今回本縣が保險衛生並に經濟更生對策の一つとして農村住宅の改善に努むる所以である。

飜て農村住宅の機能を點檢するに、その負擔は都市住宅に比して遙かに重く且つ複雜である。農家は住居であると同時に農產工場である。農村に於ては都市に於けるが如き相互に長短相補ふべき諸施設の有機的組織が缺けてゐる。即ち個人住宅は往々集會場、饗宴場としての役目を賦課されることを拒否し難い。殊に中產農家に於て然りである。又瓦斯、水道その他の文明の利器の使用も意の如くならない。燃料の如きも自給自足、廢物利用の立場より多く原始的手段に依るを免れない。誠に農村住宅は最も不利なる條件の下に最も重い負擔を課せられてゐると謂ふ可きである。然も農村生活の改善の困難は啻に之のみに止まらない。改良の斧鉞は隨處に障碍に逢著する。蓋し舊慣の墨守體面格式に對する異常執拗なる關心等保守的生活態度は牢乎たるものあり偶々先覺者あるも、その改善の實施を遲疑逡巡せしむるの慨がある。恐らくは農村生活の整調合理化は農村全體の聚落的綜合計畫を俟て始めて可能なるものであらう。然し乍ら箇々の農村住宅の改善も亦その前哨として等閑に附さるべきでない。實に農村住居問題は此の兩者相俟て始めて實現され得るものであらう。

素より舊來の農村に於ける全村即一家族の如き隣保親和的氣風は尙ばるべきである。此の良風美俗を抹殺せずして農村生活の整調と向上を圖るは現下の急務である。

上の趣旨より今日及び明日の要求に即した適正なる農村住宅設計案を下記の規定の下に懸賞募集する次第である。

江湖の士汎く此の擧に贊し奮つて應募せられ、以て我國農村問題の解決に資せられんことを切望して歇まない。

昭和11年6月　　福　井　縣

募　集　規　定

1. 設　計　問　題

平坦部農村に家族6人より成り田地約1町5反歩（4500坪）、畑3反歩（900坪）內外を耕作し、牛若く

は馬1頭、鶏約20羽を飼育する農家あり。其の住宅及び附屬建物の設計案を求む。

但、(1) 建築費は造作付約3000圓程度とすること。

(2) 電力の供給を受くるも、瓦斯及び公設水道の設備無きものと假定す。

(3) 住宅及び附屬建物の面積及び方向、敷地の面積形狀を指定せず。但し設計圖面には之を圖示せよ。

(4) 住宅及び附屬建物の位置は配置圖に於て示すこと。

蔬菜園、竹林、庭樹、泉池等を設くるときは同圖面に於て圖示すること。

備考、 上の田地、畑を耕作するには壯年男子1人及び補助耕作者(男女不問)2人にて足る。

2. 應募者の提出すべき圖面及び書類を次の如く定む。

(1) 住宅及び附屬建物の平面圖	縮尺	50分ノ1
(2) 住宅及び附屬建物の立面圖(各箇に就て少くとも2面)	縮尺	50分ノ1
(3) 住宅及び附屬建物の斷面圖(各箇に就て少くとも2箇處)	縮尺	50分ノ1
(4) 住宅及び附屬建物の屋根伏圖	縮尺	50分ノ1
(5) 配置圖	縮尺	100分ノ1
(6) (1)乃至(5)の圖面に於て明示し得ない重要なる箇處及び特に工夫を凝せる箇處の詳細圖	縮尺	20分ノ1

(7) 設計に關する說明書、仕樣概要及び工費概算書

注意 (1) 透視圖を附加すると否とは任意とす

(2) 圖面は總て半折原圖紙(縱1尺7寸以上、橫2尺5寸以上)に墨仕上げを以てす

(3) 圖面には陰影著色を施すも差支無し

(4) 寸法は寸、尺、間を以てすること

(5) 平面圖に於ける諸室及び附屬器具類の名稱は圖面內當該箇處に直接記入すること。

3. 提出期限

昭和11年9月20日正午迄に福井縣廳社會課に到着するやう提出すること。但し應募に要する一切の費用は應募者の負擔とす

4. 賞金

審査の結果優秀と認めたる設計圖案提出者に下の賞金を贈呈す。

1等	200圓	1名
2等	100圓	1名
3等	50圓	1名
選外佳作	20圓	2名

5. 當選圖案及び書類は之を返附せず。其の一切の權利は本縣に屬するものとす

前項以外の應募圖案は其の請求により返戻するものとす

右に對しては充分の注意を拂ふと雖も萬一破損したる場合に於ても本縣其の責を負はず。

6. 應募圖案及び書類等には氏名に代る暗號(文字に限る)を記載の上表面に宛名、應募者の暗號及び「應募圖案」の文字を記載すること。

尙無記名の封筒に暗號及び住所氏名を記載したる紙片を封入し一括して提出すること。

7. 審査員は次の如し

福井高等工業學校教授	坂部 保治
同	吉田 宏彥
福井縣學務部長	奥田久七郎

日本赤十字社福井支部病院長　醫學博士　大野　淳五
福井縣農事試驗場長　三隅　虎雄

8. 審査結果發表

昭和11年10月15日福井縣報を以て發表し當選者には之を通知す

9. 設計問題に就ての質疑には應答せず。設計參考事項を附記したれば之を參照して考慮すること。

設計參考事項

1. 設計圖案は之を福井縣平坦部農村に實施し得るものたるを要す
2. 本募集に於ては外觀及び內部意匠を輕視せずと雖も、農村生活の整調及び保健衞生的考慮を重視す
3. 本設計に於ては耐震、耐風、防腐等構造に對する一般的考慮を要すること勿論なるも、福井縣氣象の特殊事情特に濕度の高きこと及び多量の降雪あること等を參酌すべきこと
4. 福井縣の氣象概況

(1) 氣候　福井縣は氣象的に、柳ヶ瀨斷層崖なる地形的境界線により嶺北(越前)地方と嶺南(若狹地方とに分たる。その氣候は共に日本海型に屬すと雖も、嶺北は純然たる北陸型性格を有し、嶺南は寧ろ山陰型性格を示し、その氣候は前者より順和であつて稍表日本型に近接する。保健狀態も概して前者に優る。茲には福井測候所(嶺北)觀測の氣象概況を設計基準として擧げる。

(2) 福井の氣象最高記錄

最高氣溫　攝氏38.5度（大正11年8月20日）
最低氣溫 (-)攝氏15.1度（明治37年1月27日）
最大風速度　毎秒16.9米（明治40年5月17日）
最大降水量　(24時間の總量) 201.4粍（昭和8年7月26日）
最小濕度　23%（大正4年6月3日／大正7年5月3日）

(3) 氣溫東京、大阪の夫と比較して概況を示さう

氣溫毎日最高及び最低の平均

測候所	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
福井	6.3	6.7	10.6	17.3	22.1	25.9	30.1	31.7	27.1	21.1	15.2	9.1	18.6
	(-)0.9	(-)1.1	1.3	6.4	11.3	16.4	20.9	21.6	17.5	10.7	5.6	1.5	9.3
大阪	8.7	9.2	12.8	19.0	23.3	26.8	30.7	32.2	28.1	22.3	16.7	11.4	19.9
	0.4	0.4	2.9	8.4	12.8	18.0	22.6	23.5	19.6	12.7	7.0	2.5	10.9
東京	8.3	8.7	11.9	17.5	21.2	24.5	28.3	29.9	26.0	20.5	15.7	10.9	18.6
	(-)1.4	(-)0.7	2.2	8.0	12.2	16.9	21.0	22.3	18.7	12.3	6.1	0.8	9.9

福井の年氣溫は平年13.6
昭和10年中の最高氣溫　36.3（7月30日、8月1日）
〃　最低氣溫 (-) 7.1（2月8日）

(4) 濕　度

平均濕度 %

測候所	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
福井	86.2	83.8	78.5	75.9	76.1	79.5	81.8	81.0	84.5	84.9	85.1	86.5	82.0
大阪	71.3	70.4	70.5	72.2	72.8	76.7	77.4	76.4	75.0	76.1	75.3	71.9	73.8
東京	63.5	62.3	66.3	72.7	76.1	80.9	82.7	81.4	82.4	79.4	73.9	67.0	74.0

日本内地に於ける諸都市及び平坦農産地の年平均濕度は總て75%前後なるに比し福井の夫れは著しく高位にある。全國都市にして之に比肩するもの殆ど無く僅かに會津（81.9）及び大泊（82.0）が之に匹敵するのみ。又昭和10年に於ける福井の年平均は80.0%にして、平均に比して2%少く各月中最も乾燥せるは5月の72%である。年を通じての最乾の極値は29%（4月25日）であつた。

(5) 降水日數（雨、雪、霰、雹）

測候所	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	總和
福井	25.9	22.7	21.2	15.2	13.8	14.6	14.8	11.6	16.8	17.1	19.9	25.3	218.9
大阪	8.7	9.4	12.8	13.0	12.4	14.2	12.4	10.2	14.1	10.6	9.9	9.3	136.9
東京	7.1	8.2	13.5	13.9	13.7	15.4	14.1	12.5	16.1	14.2	10.0	7.0	145.4

昭和10年に於ける福井の降水日數は年を通じて216日を算し平年に比して3日少し。

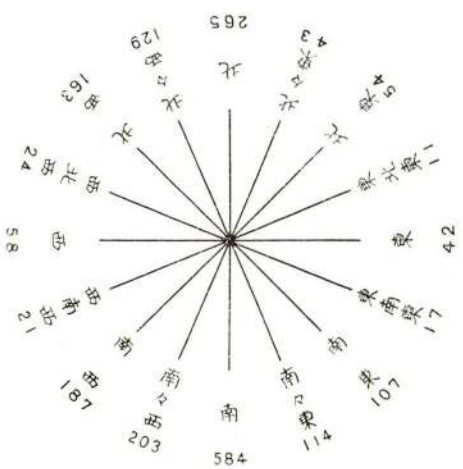
(6) 降水總量（雨、雪、霰、雹）（粍にて表はす）

測候所	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年總量
福井	285.9	202.8	159.1	148.0	135.8	171.8	201.8	140.8	221.4	176.3	223.6	335.0	2402.2
大阪	46.6	58.4	98.3	136.2	127.5	188.4	155.5	107.0	180.0	127.1	77.8	49.8	1352.6
東京	52.4	72.5	110.6	132.1	155.4	160.4	132.8	153.7	236.9	198.7	100.0	56.5	1562.0

昭和10年に於ける福井の降水年總量は（2173）粍にして平年に比し（231.8）少く各月中最も多きは12月の375.6粍又一日中最も多量に降りたるは57.5（8月10日）、4時間内に於ては32.6（7月27日）であつた。（積雪に就ては構造設備注意參照）。

(7) 風速　昭和10年に於ける風速度の年平均は1.9米毎秒にして平年に比し0.1米弱く最も強きは4月の2.0米、5年を通じて最強の極値は南の11.6米（3月24日）にして風壓坪當り約17貫なり。福井の風速最高記錄は全國的に見て最低の部類に屬す。

(8) 風の方向　平均最多風向は各自總て南である。之に次ぐは北風である。之を昭和10年に於ける統計によつて示さう。（1日6回觀測）。福井に於ける風向全年回數（1日6回觀測）



他に靜穩全年を通じて1684回

(9) 地震　從來の記錄に依るに、地方的の强震無し。寧ろ近隣地方の强震、即ち濃美地震、江洲地震但馬地震丹後地震の場合感度大であつた。昭和10年に於ける人身に感ぜられたもの2回にして平年に比して5回少く、感覺無きもの34回にして平年に比し8回多し。

構造計算に當ては震度1割を見込むは妥當であらう。

(10) 雷　昭和10年の雷鳴日數の內、電光を伴ふ雷鳴は16回にして平年に比し4回少く、單に雷鳴のみなりしもの6回にして平年に比して2回多し。

大木に落雷し附近の家屋の火災し原因となることあり。

5. 火災の度數及び原因

最近3ヶ年間に於ける福井縣農村火災度數及び原因

原因	昭和8年	昭和9年	昭和10年
火鉢	4	3	4
炬燵	22	34	37
乾燥場	10	21	26
竈	6	8	9
湯殿	2	—	3
取灰	24	21	15
漏電	7	2	2
弄火	21	16	18
放火	8	5	2
落雷	7	—	—
焚火	26	33	34
不詳	34	44	43
合計	171	187	193

6. 福井縣の保健狀態

福井縣の保健狀態には寒心すべきのがある。即ち人口1000人に付ての總死亡數は日本生國平均が18.64人なるに對し本縣に於ては25.12人を算し、累年死亡率は全國の第一若くは第二位を占む。之を乳兒死亡率、結核死亡率等の箇々に就て見るに第五位を下ること稀である。之を地方的に見るに嶺南(若狹)地方に比して嶺北(越前)地方に於て一層不良である。又市、町に於けるよりも郡部に於て著しく不良である。その最も不良なるは丹生郡であつて、死亡率28.44を示す。

其の原因としては、衞生思想の不足、天候の不良、營養攝取の不足、醫療機關の不足、住宅に於ける採光通風の不良等が擧げらる。

7. 福井縣の農家の經濟狀態概況

本縣農村及び農家經濟狀態は、同一縣内に於ても地方々々により徑庭ありと雖も、之を概括的に言へば、全國的に見て比較的良好の部類に屬すと謂て宜い。殊に越前平坦地方に於ては、機業は普く農村にも浸潤し、農閑期に於て婦女子亦近隣の機業工場に通勤の便あり、簡便有利なる副業となること は特筆に値する。但し嶺地地方の如く副業として主として養蠶に依存せる處並に半農半漁の農村に於ては、其の經濟狀態は前者に劣り疲弊を認むべきものがある。之等に於ては負債整理組合の成立せるもの往々ある。其の主因は養蠶魚獵の不振に在る。

尙之を中產農家と小作農家の比較に依て見るに、時勢の進展に伴ひ前者は漸次不利なる立場に陷りつゝあるが如くである。

凡そ農村の疲弊の原因を尋ねるに、次の如きものがある。

1. 生活の向上並に耕作勞働に對する倦怠嫌惡
2. 勞働力の都市及び工業への逃避
3. 副業の不振並に勞力の季節的運用調節の不足
4. 金肥(硫酸アムモニア、燐酸石灰、豆粕、油粕、麻粕、鯡粕等)の偏用と收獲の之に伴はざること(採算の不利)

尙之を特に中產農家に就て見るに、中農は格式體面の觀念强烈にして、婚禮等に莫大なる費用を支出するのみならず、子弟の教育に就ても盲目的に都市中產階級の夫に倣ふの風がある。即ち女子をし

て副業に従業せしむるを快しとせず、専ら花嫁教育に又男子は将来の俸給生活を目指して教育に就かしむるもの多し。従て中農の支出負擔多く労働力は減少する。其の結果、小作農の主張通り易く農作の收益は小作農之を收むるも、中農は徒らに廣大なる田畑を擁して收益之に伴はず漸次不利なる情勢に陷ること多し。之が匡救には諸種の觀點より對策が講ぜらるべきであるが、農村住宅箇々の機能的負擔を輕減することも一つの側面的對策である。而して之を促進する爲には、農村の聚落的綜合的計畫が重要となる。

8. 農繁期及び畑作物

(1) 農繁期、3月雪融けを待て遲くも4月20日頃迄に耕作を始む。5月20日頃より田植、次に中耕二、三遍を行ふ。更に田草を二、三回除去する。之を8月中旬了る。其後暫く閑散となり、9月中旬收獲期に入る。凡そ11月中頃迄農繁期となる。12月、1月、2月、3月は屋内副業に従事する。繩製作が主である。婦女子は近傍の機業工場に通勤織工として働く便あり。

(2) 畑 作 物

大根、蕪類（8月中旬下種、11月中旬收獲）

菜　　類（同　　上）

馬 鈴 薯（3月中旬植芋、6月下旬收獲）

麥、豌豆、そら豆、甘藍、玉蜀（10月中旬下種、甘藍、玉蜀は9月中旬下種、10月下旬定植、冬作、翌年6月中旬收獲）

茄子、瓜、胡瓜、西瓜、南瓜、葱、トマト、隱元豆、うづら豆、お多福豆、金時豆、ささげ（溫床の場合は3月上旬下種、屋外の場合は5月（八十八夜）下種、收獲は7月上中旬（溫床）、下旬（屋外）より始まる

大豆（5月中旬下種、9月中旬收獲）

小豆（5月中旬下種、10月收獲）

之等の畑作物は市、町の近傍に於ては販賣するが、市、町より遠隔の地に於ては單に自家用に當てるのみである。

尙都市の近傍に於ては草花を栽培して、生花、供花として販賣すれば有利なる副業となるのみならず、趣味的景觀を添へて面白し。

9. 設計基準農家所要の農具

鍬（約12丁）、鋤（約2丁）、せば（鐵製開墾鍬、1丁）、けづりん（畔草取用、約3丁）、牛馬用鋤（1丁）、牛馬田切車（1丁）、鋸鎌（4丁以上）、草苅鎌（2丁以上）、鉈（1丁以上）、ふづき（畑起し用1丁）、鋸（大小各1丁）、よき（1丁）、かけや（木製大槌1丁）、梯子（長さ2間物2丁）、負ひ棒（2本）

足踏稻こき（1臺）、荷車（ごむ輪二輪車1臺）、肥桶（2箇）、杓（大、小各1箇）、千石（2丁）、唐箕（1丁）、蓑（2枚）、笠（菅笠、檜笠、編笠等5箇）、ござ（約3枚）、籾通し（四箇）、田植枠（田植定規、1箇）、苗籠（4箇）、箕（4箇）、むしろ（80枚）、こも（30枚）、畚（もつこ、土運搬用の繩製の粗綱6箇）、手籠（てご、2箇）、大型手籠（2箇）、

之等の置場としては壁面、廂下を利用し又は天井に吊て保存す。

10. 平面計畫上の注意事項

(1) 舊來の農家は住宅兼作業場であつて、住宅の一部を臨機、作業場に當てた爲、土間、板の間を廣くとつた。然し乍ら、近來、住宅と作業場とを分離し又は相互に遮斷可能ならしめ各々機能を發揮せしむる傾向次第に增加した。今後此の傾向は益々增大するであらう。

(2) 農村に於ては、公會堂、宴會場、旅館等の設備無きを普通とす。從て、個人の住宅は不時の重荷を課せられることあり。近時公會堂を設くるの必要は屢々唱へられ、之を實施したるもの無きに非ざるも、個人住宅の負擔を輕減する點に於て未だ甚だ不充分である。寺院を利用する處ある

も之亦稀である。蓋し、各村必ずしも寺院を有せず、又從令之を有するとも檀家關係に於て全村必ずしも一致しない故である。中流農家の負擔は依然として莫大である。是れ農村住宅改善の最大の惱みである。此の立場より舊來の農村住宅に於ては數室を開放合併して大廣間として流用し得るやう平面計畫されたもの最も普通である。農村住民相互の親睦團欒の氣風を保有するには此の慣習を全然抹殺し難い實狀に在る。殊に中流農家は農村に於ける社會的地位に束縛され、之に改革を施すの最も困難なる立場に在る。一面農家經濟の合理化の餘地の最も多く存するのも此の點に存する。是れ聽て農村全體の聚落的計畫の重要となる所以であるが、暫く現狀を直視參酌するを避け難い。本設計基準に對しては居住用室として8又は6疊少くとも4室が要望せられる。

(3) 舊來の農家に於ては、2階又は屋根裏は、蚕、俵、農具其の他の雜品の置場に當てられたが近時2階に居住用の室を設くる風增して來た。

(4) 福井縣に佛教特に眞宗盛である。各家庭は壯麗なる佛壇を有するを誇りとする風習あり。主要居室の一部に佛壇（大型約6尺×4尺、或は小型約4尺×3尺）を安置し得ることを要する

(5) 作業場の面積は約3間×5間を要す。その二階又は屋根裏を物置場として使用するものもある。その壁面及び軒廂下は屢々農具置場として利用される。作業場は亦籾置場となること多し。

(6) 土藏又は物置　近時米の貯藏は農業倉庫に託せられるのが一般である。又舊來の住宅に於ては押入を欠くか或は少かりし爲、特に土藏又は物置を別に設けられること多かつた。諸調度品、漬物、味噌等の置場を適當に設くることを必要である。

(7) 臺所　多人數の訪客ある場合、大型の鍋、釜を使用し又餠搗等の爲、比較的大なる土間又は臨機土間として流用し得る面積が要求せられる。殊に農繁期に於ては土足のまゝ出入し、炊事及び食事可能なることが要望せらる。

(8) 湯殿　從來の農家に於ては多く臺所土間に接續して設けられた。之は農場より歸來後、直に入浴し得んが爲である。

(9) 圍爐裡　冬期集會、應接の中心となるのみならず全年を通じて炊事補助機關として利用せられる。農家より之を抹殺することを不可能である。

(10) 便所　農作中に於ては、土足のまゝ用達可能なることを要す。從來此の用途の爲に、粗末なる下便所を屋外に設くること多し。

(11) 畜舍　臭氣を發し又蠅を發生すること夥しきを以て居住の室及臺所より適當の間隔を保たしめ或は遮斷するを要する。又畜舍を住宅の風上に設くるを避くべきである。雞舍に就ても同樣である。

(12) 堆肥小屋　畜舍に接して設ける。

(13) 灰小屋　爐竈等の取灰を貯藏するもの。火災の危險あるを以て敷地內、住宅より努めて遠隔の箇處に設く。

(14) 溫床　作業場の附近、日射良く風當り少き箇處に假設することあり。

(15) 野天乾燥場　收獲期、籾の乾燥場として敷地內に作業場に接し空地を保有すること。之は常時畑として使用し得る。

近時籾乾燥機を使用することあり。此の場合、乾燥場を要しないことさなるが、現在多くは乾燥場を必要とする。

11. 構造設備其他に關する注意事項

(1) 積雪に對する考慮

A、屋根面に積雪3尺にも及べば除雪作業行はる。雪の荷重として、3.4尺の積雪を見込むを要する（本縣の雪は水分多き爲比較的重し）

B、屋根葺材としては瓦が普通である。雪留瓦を併用することを望ましい。雪溶けに際し雪塊に落ち、軒樋を曲折する等、軒部を破損すること多きが爲である。

C、軒樋は積雪の亡落の爲、破損すること多し。考慮を要す。

D、積雪長期に亘り殘存する爲、特に屋根谷は損傷し易い。從て、屋根伏は簡單なるを要する。屋根の高さ數層に分るときは、上層屋根より積雪落下し下層屋根に衝撃を與へ、破損を導き易し。

(2) 圍爐裡　冬期暖を採る爲には、炬燵が主となる。來客時等には火鉢を用ふることもある。多人數のときは、圍爐裡を圍み暖をとる。その燃料は藁、薪、しば、籾殻であつて、廢物利用となる。但し、從來普通の圍爐裡は煤煙を四圍に發散し、非衛生的なるのみならず、天井、壁面を燻らし甚だしい不潔感を伴ふ憾みあり。

(3) 竈所燃料　圍爐裡の場合と同樣である。近時之等を使用する便利なる瓦斯發賣せられ、燃料及び手間節約される。灰に肥料となる。湯殿燃料も同一である。

(4) 井戸　汲揚ポンプを使用すること多し。

(5) 便所は蛆發生し易し、その發生及び匐上を防止し度し。

(6) 窓は採光及び保溫上硝子の使用な有利である。

(7) 作業場には土足にて出入し又車を挽き入ることあるも、床は清潔を要する場合あるを以て清掃に便なることを要する。又防鼠、防蟲の考慮を要する。

(8) 畜舍は不潔濕潤のもの多し。清潔を圖り度し。牛、馬の觸れる壁面、戸等は堅牢なるを要する。屋根裏を乾草置場として利用すれば保溫上有利である。

(9) 堆肥小屋は蒸發を少からしめ肥料價値の減殺を防止する爲、日射を避ける。堆肥の高さ約5尺迄コンクリート壁にすれば有利である。

(10) 雞舍は獨立して或は物置小屋等の軒下に設けられる。努めて溫度の變動を避くべし。寒冷の影響は少きも暑熱は有害であつて直に產卵を減少する。通風亦良好なるを要する。屋根裏には藁、茅等を置き溫度の變化を緩和するが宜し。

(11) 灰小屋　灰が濕氣を帶べば肥料價値減ずるを以て、灰小屋は防濕的なるべし。又取灰より發火することあるを以て、內部は柱を露出することなく準耐火的となすを要する。

會　報



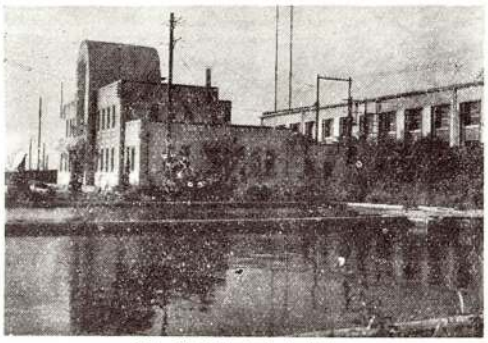
會員　加護谷裕太郎氏

會員從六位加護谷裕太郎氏昭和11年6月7日病を以て逝かる洵に哀悼に禁へず茲に照宥と略歷を揭げ謹みて弔意を表す。

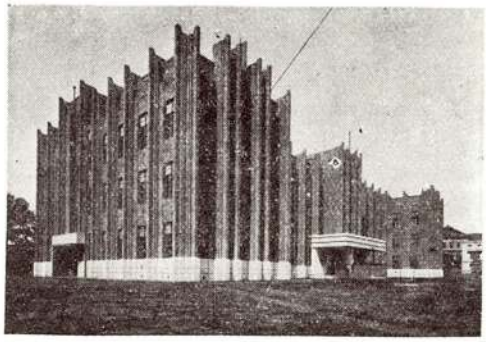
加護谷氏は明治9年12月19日兵庫縣明石郡伊川谷村に生る略歷下記の通。

1. 明治7年7月11日東京帝國大學工科大學建築科卒業
1. 明治37年8月8日奈良縣古社寺修理技師ヲ命ス（奈良縣）
1. 明治37年8月8日東大寺大佛殿出張所主任ヲ命ス（同）
1. 明治37年8月29日任奈良縣技師 叙高等官七等（內閣）
1. 明治37年10月21日叙從七位（宮內大臣）
1. 明治39年9月15日陞叙高等官六等（內閣）
1. 同　同 11月10日叙正七位（宮內大臣）
1. 明治42年10月4日陞叙高等官五等（內閣）
1. 同　同 12月20日叙從六位（宮內大臣）
1. 明治44年3月1日奈良縣工師ヲ命ス（奈良縣）
1. 大正2年3月31日依願免工師　（同）
1. 大正2年5月27日陞叙高等官四等（內閣）
1. 同　同 6月30日依願免古社寺修理技師（奈良縣）
1. 同　同　同　文官分限令第11條第1項第4號ニ依リ休職ヲ命ス（內務省）
1. 大正3年2月2日建築技師ヲ囑託ス（山梨縣）
1. 同　同 3月1日特別保護建造物名草神社修理工事監督ヲ囑託ス（兵庫縣）
1. 大正4年2月28日右囑託ヲ解ク（同）
1. 同　同 4月5日特別保護建造物修物工場ノ監督ヲ囑託ス（鳥取縣）
1. 同　同 12月27日建築技師囑託ヲ解ク（山梨縣）
1. 大正5年4月1日臨時建築技師ヲ囑託ス（辰馬汽船合資會社）
1. 同　同　8月30日御用濟ニ付特別保護建造物修理工事監督ノ囑託ヲ解ク（鳥取縣）
1. 同　6年2月28日特別保護建造物御靈神社修理工事監督ヲ囑託ス（兵庫縣）
1. 同　同　11月30日同上解囑（同）
1. 同　同　12月25日臨時建築技師囑託ヲ解ク（辰馬汽船合資會社）
1. 同　同　同　同名譽建築顧問ヲ囑託ス（同）
1. 同　7年3月31日鶴林寺特別保護建物修理工事監督ヲ囑託ス（兵庫縣）
1. 大正7年6月30日青島神社建築業務ヲ囑託ス（青島守備軍民政部）
1. 同　同　12月31日建築設計並工事監督ヲ囑託ス（大分縣）
1. 同　8年3月1日鶴林寺特別保護建物修理工事監督ノ囑託ヲ解ク（兵庫縣）
1. 同　6月1日日本赤十字社山口支部病院建築工事顧問技師ヲ囑託ス（日本赤十字社山口支部）
1. 同　10年1月31日特別保護建造物八幡神社拜殿修理監督ヲ囑託ス（兵庫縣）
1. 同　同　2月2日御用濟ニ付囑託ヲ解ク（青島守備軍民政部）
1. 同　同　12月22日御用濟ニ付囑託ヲ解ク（大分縣）
1. 自大正3年至10年民間一般建築工事設計監督ニ從事ス
1. 大正11年1月13日建築事務囑託（東京市役所）

1. 同　同　4月4日　任東京市技師(同)
1. 同　同　同　同　建築課長(同)
1. 同　12年10月16日帝都復興院建築事務ヲ囑託ス(復興院)
1. 同　13年2月23日囑託ヲ解ク(同)
1. 同　同　3月27日臨時建築局營繕課長ヲ命ス(東京市役所)
1. 同　14年5月21日依願免技師(同)
1. 同　14年10月1日事務所開設　(麹町區丸ノ內)
1. 同潤會囑託
   津上製作所監査役
   東京府立第五高等女學校講師



愛知縣碧海郡依佐美在
日本無線電信株式會社依佐美送信所



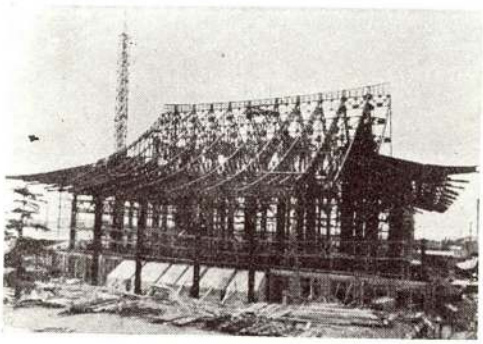
東京小石川區
拓殖大學本館



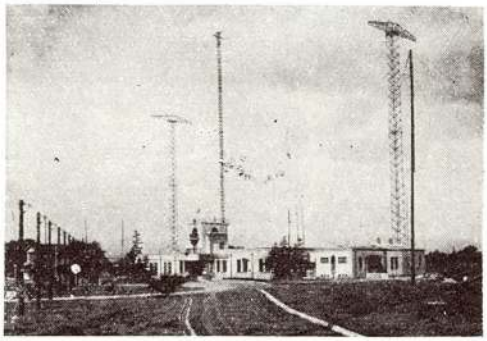
埼玉縣入間郡福岡在
日本無線電信株式會社中央受信所



栃木縣小山町在
日本無線電信株式會社小山送信所



東本願寺東京別院淺草本願寺



三重縣四日市在
日本無線電信株式會社四日市受信所

災害調査委員會編輯會（第4回）

時　6月23日午後6時30分－10時30分
所　建築材料陳列場
出席者　幹事　黒田
委員　龜井、篠原
玉置、山口
矢田

協議事項
1. 委員提出の原稿に付整理を爲す。

災害强度委員會（第3回）

時　6月25日午後6時30分—8時30分
所　協會倶樂部室
出席者　委員長　波江
幹事　黒田
委員　中井、中島
矢田

協議事項
1. 下記事項調査研究することに決定
イ　型枠調査の整理
ロ　大阪市地盤沈下の調査
ハ　鑿泉井戸の調査
ニ　大阪城濠の異變に就いて

材料委員會（第7回）

時　6月25日午後6時40分—10時
所　建築材料陳列場
出席者　委員長　高橋
幹事　松久保
委員　楠瀬、高岡
道田

協議事項
1. セメント防水劑につき當業者との懇談會に關する件

材料委員會（第8回）

時　7月2日午後7時30分－10時
所　建築材料陳列場
出席者　委員長　高橋
幹事　松久保
委員　楠瀬、高岡
道田

協議事項
1. 本夕はセメント防水劑に關し當業者の出席あり、種々意見の交換を爲す。

住宅委員會（第8回）

時　7月3日午後5時－7時
所　協會倶樂部室
出席者　委員長　石川
幹事　矢田
委員　荒木、岡田
貴資院、中野
宮脇

協議事項
1. 國策として住居政策の確立を促進する爲の建議案作成に關し協議す

常務會（第12回）

時　7月6日午後6時—9時
所　建築材料陳列場
出席者　理事　安井副會長
常務　北垣主記、中澤主記、中西主記
内藤主記、加田主計、作間主計
清水主計、島田編輯、堀口編輯

議事
1. 材料委員會より要求に係るセメント防水劑試驗に關する件（高橋委員長出席説明）
2. 材料委員會より木材市場品寸法規格再檢討に關し回答の件
3. 7月例會に關する件
4. 第5回全國都市問題會議總會出席者の件
5. 陳列場幹事長より要求に係る建築寶典に廣告の爲料金支出の件
6. 災害强度委員會要求に係る委員一名依囑の件
7. 常設委員會開會の際正會員の傍聽を希望するの件
8. 農村住宅設計圖案懸賞募集を會誌にて紹介の件
9. 細則一部（第六條）變更に關する件
10. 會員詮衡

報告
1. 6月例會に關する件
1. 5、6月分會計報告
1. 本年上半期會計概況報告
1. 本年第1回會計檢査報告

數化委員會（第3回）

時　7月8日午後6時—8時
所　協會倶樂部室
出席者　委員長　永澤
幹事　篠原
委員　伊東、高木

協議事項

1. 建築電氣熔接講座開設に關し具體案を協議す

材料委員會（第9回）

時　7月9日午後7時—9時30分
所　朝日倶樂部
出席者　幹事　松久保
委員　楠瀬、高岡
道田

協議事項

1. セメント防水劑試驗に關する具體案を協議す

都市計畫委員會（第6回）

時　7月9日午後7時－9時
所　協會倶樂部室
出席者　委員長　鳥井
委員　龜井、村井
元吉、吉田

協議事項

1. 前回に引續き都市問題會議總會に提出すべき問題につき具體案を決定す。

建築材料陳列場幹事會

時　7月13日午後5時30分—8時
所　陳列場會議室
出席者　幹事長　岡部
幹事　今林、浦
北垣、高橋

協議事項

1. 陳列場今後の宣傳方法に關し研究す。
1. 大朝紙〃産業日本に輝く工場建築と設備〃欄に陳列場廣告掲載することに決定

報告

1. 6月20日附日本工業新聞に廣告掲載の件
1. 大毎エコノミストに廣告掲載否決の件
1. 陳列場出品棚電氣照明設備完了の件
1. 陳列場狀況報告
1. 陳列場會計報告

會員動靜

入會者

會員

宇津木　潔君　府下豐中町新免480ノ6（大阪市臨時校園建設所）
後藤　武一君　市外千里山61（日本生命保險株式會社）
近藤鯛次郎君　東成區東小橋北之町2ノ15（三澤建築事務所）
廣瀨源三郎君　普通贊助員より轉格
右田　常秀君　東淀川區元今里南通3ノ55（日本生命保險株式會社營繕課）
矢野　七郎君　此花區上福島北2ノ6明治館內（井上雅男建築事務所）
山口　吾郎君　普通贊助員より轉格

地方會員

池田　官治君　哈爾賓特別市埠頭區警察街58號ノ16（哈爾賓特別市公署工務處營繕科）
前田　敏男君　奉天滿洲醫大衞生學教室（關東局囑託）
增田　八郎君　和歌山市豐原町3ノ2（和歌山縣建築課）

特別贊助員

喜田　一雄君　大正區小林町145（合資會社ボルネオ物產大阪出張所）

普通贊助員

石田　太郎君　府下布施町荒川918
小川靜一良君　東淀川區元今里南通3丁目40ノ27草煙舍（東畑建築事務所）
撫本　泰助君　渥速區惠美須町3ノ201渥速工務店內
蜷川光太郎君　東淀川區元今里南通3丁目40ノ27草煙舍（東畑建築事務所）
福田　享二君　岡山市古京町61野村俊夫方（桑原工務店）
松永　疑君　東淀川區元今里南通3丁目40ノ27草煙舍（東畑建築事務所）

退會者

普通贊助員

後藤　光一君　芥川　武夫君　本島　武夫君

轉居轉勤

會員

成田　昌弘君　府下北河內郡門眞村門眞驛南1丁半
日置　邦範君　東淀川區木川西之町3ノ18
吉原九州男君　東成區南生野町4ノ51

吉本　幸一君　兵庫縣魚崎町橫屋川井442
西村　信一君　府下豐能郡箕面村櫻ヶ丘坂下
增田　建司君　京都市御幸町二條上ル鹿島組組員宿舍
鳥井　捨藏君　京城府明倫町4ノ206（朝鮮總督府警務局）
星　廣文君　府下茨木町南清水町801ノ2
前原大二郎君　住吉區丸山通アパート丸山園
青島　務君　堺市南三國丘1ノ12田淵方
小林　俊三君　住吉區住吉町1927
根來　弘君　京都市左京區聖護院東町16ノ3
曳野　與藏君　廣島市皆實町3丁目幸生通1004ノ3
岡田嘉兵衛君　住吉區住吉町1230ノ2（電天王寺1719）
岸田　吉彥君　青島市外46大康紗廠青雲寮內
松本　宇市君　京都市上京區上塔之段町485 堀定藏方
石田　慶一君　尼崎市東向島西之町28住友金屬工業鋼管製造所工事場大林組出張所
安藤金一郎君　西成區田端通1ノ2
中田　猛君　西成區姬松通2ノ2丸田方
中村　武雄君　西宮市川西町39森島輝夫方
森島　輝夫君　西宮市川西町39
谷　隆夫君　住吉區阿倍野筋2ノ7
小林　謙三君　神戶市林田區宮川町2ノ28
古井　康男君　西成區玉出新町通3ノ8林田新三郎方

地方會員

天野　一正君　（勤務先）東京府總務部營繕課
島武　賴三君　南區日本橋筋3丁目松坂屋建築部（松坂屋）
進木　義雄君　神戶市灘區中原通5ノ3進木組
三宅　貞藏君　兵庫縣川邊郡塚口郡是製糸塚口工場內
村野　威夫君　東京市荏原區小山町456
有田　桂太君　大分市荷揚町大分市廳舍建築場石本建築事務所出張所
加藤喜三郎君　宇治山田市岡本町438
森　茂樹君　東區上本町4ノ610木村組內（株式會社木村組）

特別贊助員

平松　鶴吉君　港區北境川町2ノ66

普通贊助員

大瀧庄二郎君　中華民國日本租界支那駐屯軍經理部
佐藤　佐七君　府下吹田町1084池村建築事務所
中　茂君　兵庫縣多可郡西脇町椿坂
白井　俊雄君　滿洲國奉天紅葉町19
堀川　竹雄君　神戶市灘區高羽寺口8
甲斐　郁郎君　西成區粉濱中之町2ノ33
角谷　一郎君　朝鮮平北江界郡前川面前川株式會社錢高組前川詰所內
久森　茂君　京都市下京區新町七條下ル七條公設市場改築工事場奧村組出張所
山原　正美君　西成區曳船町2曳船莊園內
武井　德松君　東成區南中濱町1ノ8

改名

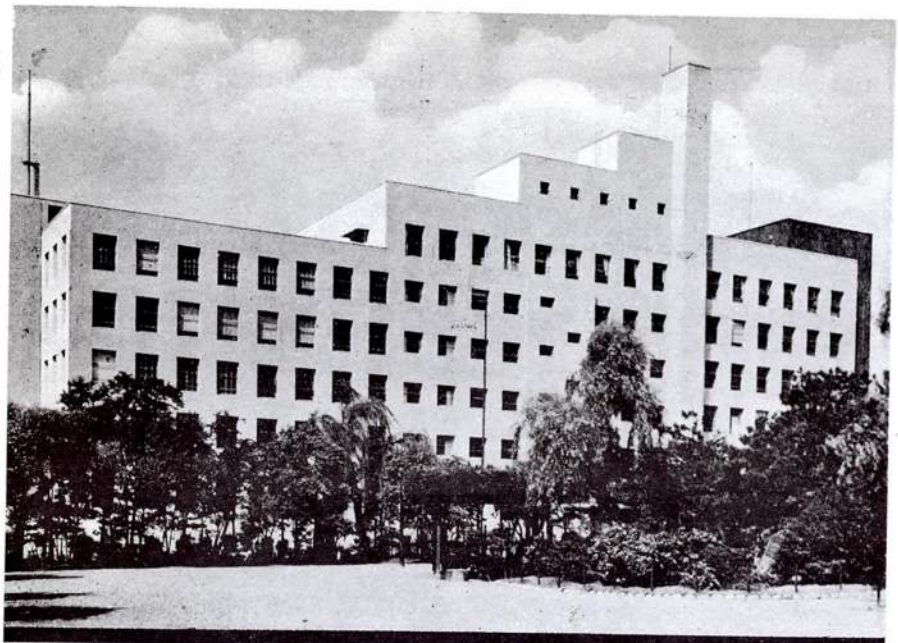
會員

友淵　善信君　（舊名義延）



外觀

"滿鐵東京支社" 設計・安井武雄建築事務所・施工・大倉土木株式會社

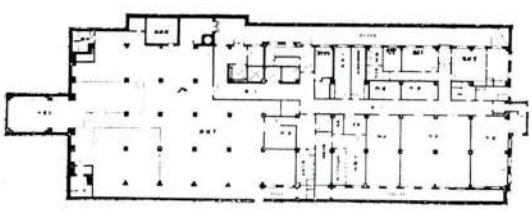


外　　觀

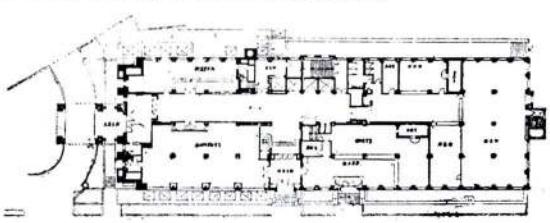


正面車寄

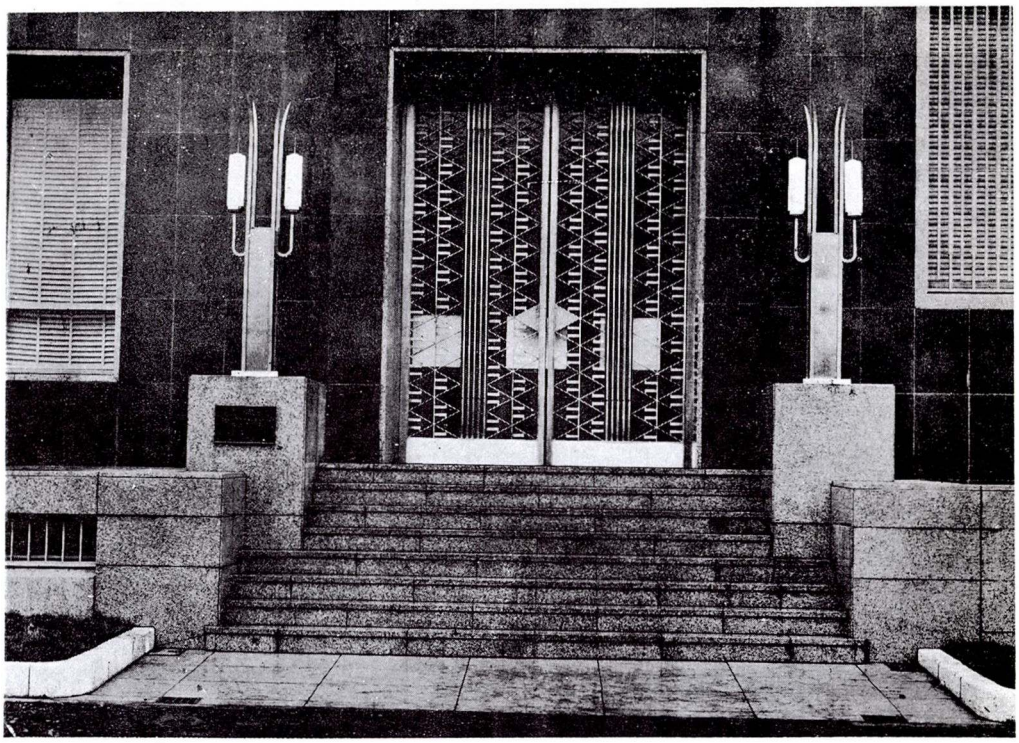
地階平面圖



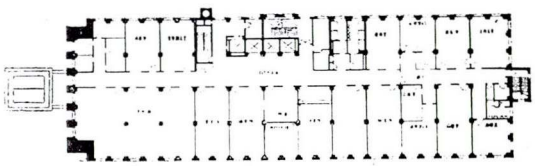
1階平面圖



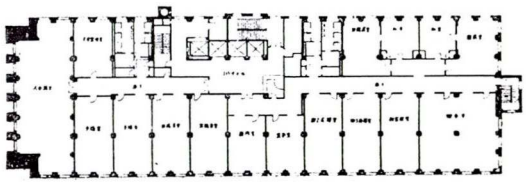
VIII 2　“滿鐵東京支社” 設計・安井武雄建築事務所・施工・大倉土木株式會社



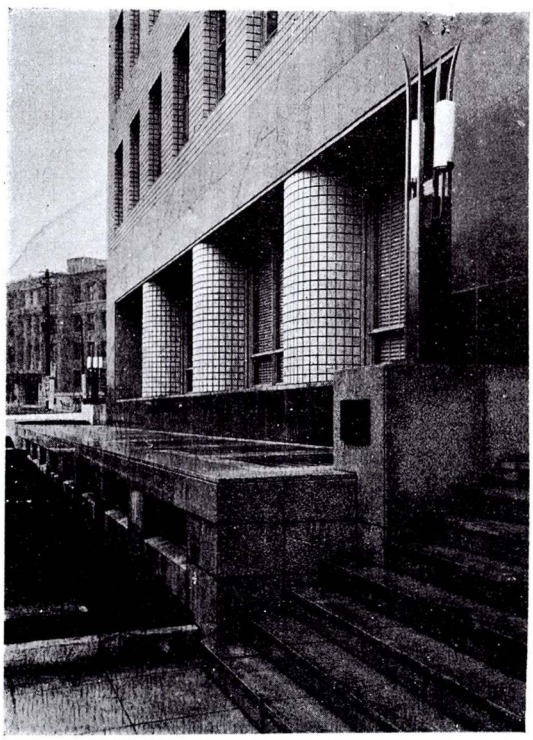
側面玄關



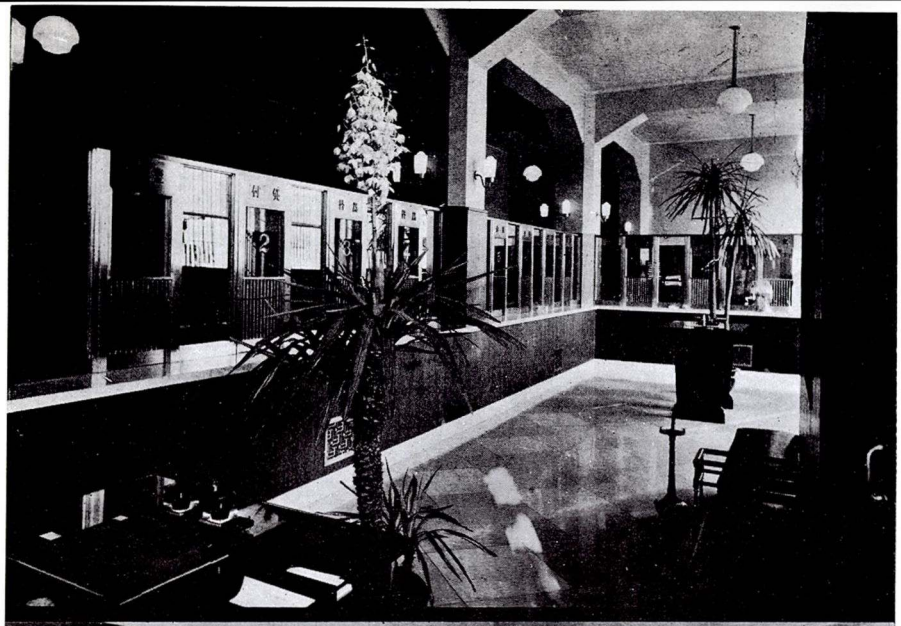
2階平面圖



3階平面圖



外觀

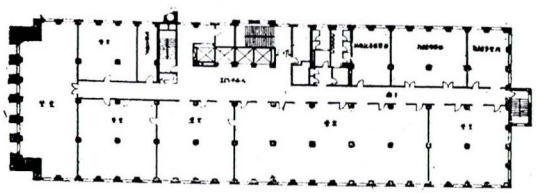


三菱銀行虎之門
支　店（1階）

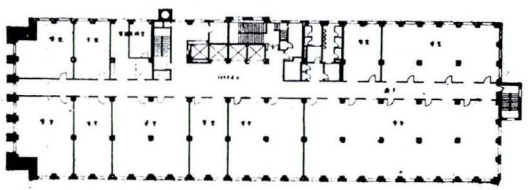


總　裁　室（3階）

4階平面圖



5階平　圖



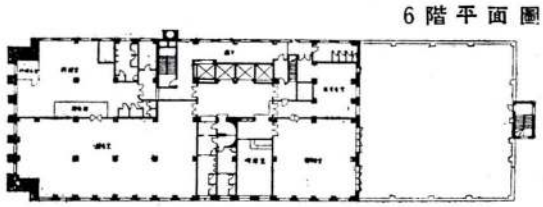
VIII 4　“滿鐵東京支社” 設計・安井武雄建築事務所・施工・大倉土木株式會社

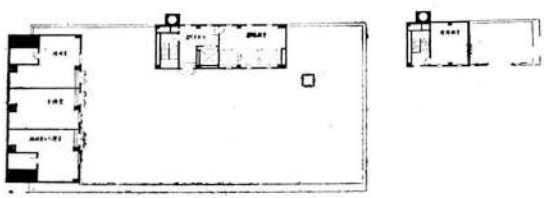


1 階 廣 間

位　　置　東京市赤坂區葵町二番地
面　　積　4,284.85平方米
建築面積　1,650.43平方米
總延面積　2,580.71平方米
　內譯　地階 2,083.60平方米、1階 1,650.43平方米、 2階 1,588.82平方米、 3階 1,588.82平方米、4階 1,588.82平方米、5階 1,588.82平方米、 6階 1,089.41平方米、7階 350.75平方米、塔階 51.24平方米
　軒高　地盤ヨリノ高サ
　正面(北西)29,426米 7階
　背面(東南)21,746米 5階
　屋上突出部33,626米
　樣式　使用目的及ビ構造ニ基ケル自由樣式
　構造　總　體　鐵骨鐵筋コンクリート造
　間仕切　鐵骨輕量間仕切トシ鐵筋コンクリート壁併用
　基礎下鐵筋コンクリート杭打
各室配置　地階　管理室、宿直室、運轉手控室、更衣室、物置、機械室（煖房衞生、電氣、塵芥燒却等）、1階　ホール、事務室、陳列所、株式係、用度係、會計係、三菱銀行、 2階　支社長室、次長室、應接室、各課長室、事務室、3階　總裁室、同副室、副總裁室、同副室、理事室、應接室、秘書役室、顧問室、會議室、4階　貸事務室、5階 貸事務室、6階 エトアール・レストラント（大食堂、喫煙室、特別食堂、小食堂、厨房）　7階　機械室(煖房、衞生昇降機 塔屋昇降機機械室
外　　裝　正面及四面腰ノ大部分ハ折壁石及ビ稻田石張リ上部ハ「タイル」張トシ陸屋根「クリンカータイル」敷キトス

6 階 平 面 圖





7 階 平 面 圖



外觀西側

外裝北木島產花崗
石高さ60尺



營業室の一部

天井高さ41尺5寸
石膏製エナメルペンキ
色彩金箔押へ・取引臺及柱伊太利產大
理石・スクリーンブロンズ製反射燈付

地階平面圖





營業室より中2階廊下を望む

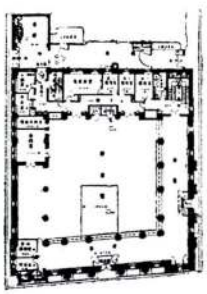
壁及柱大理石・平摺ブロンズ製



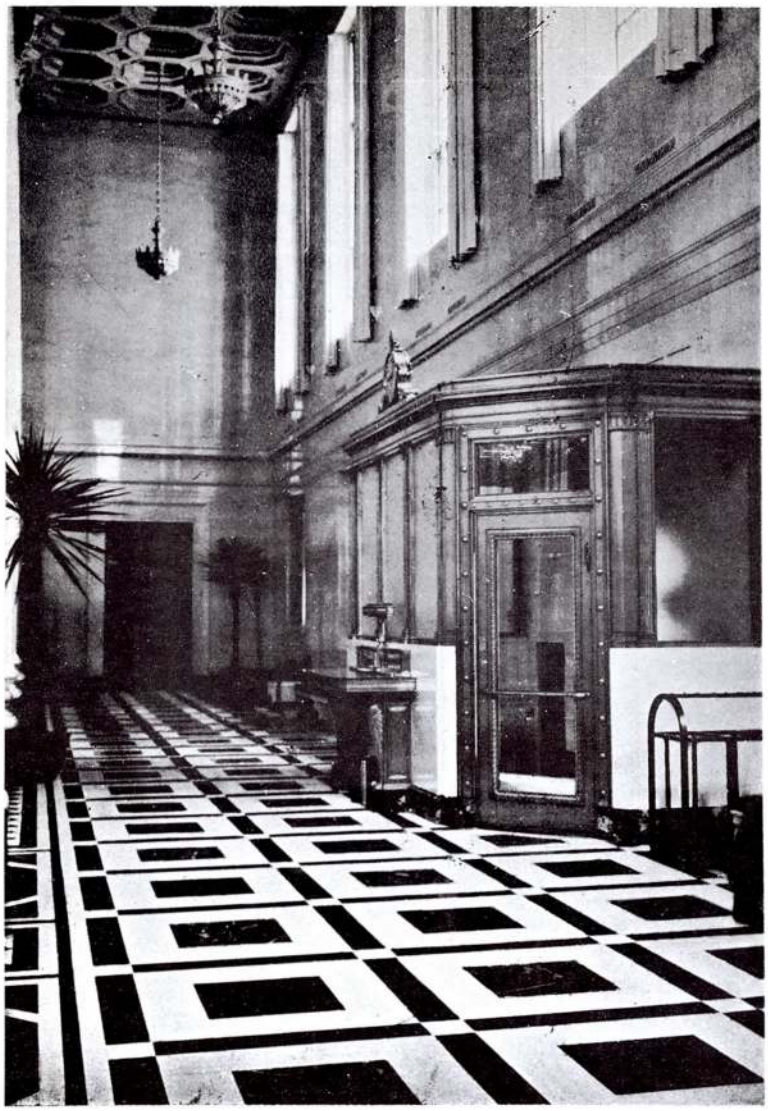
支店長室の一部

壁チーク製・床寄木張

天井プラスターペンキ塗



1階平面圖

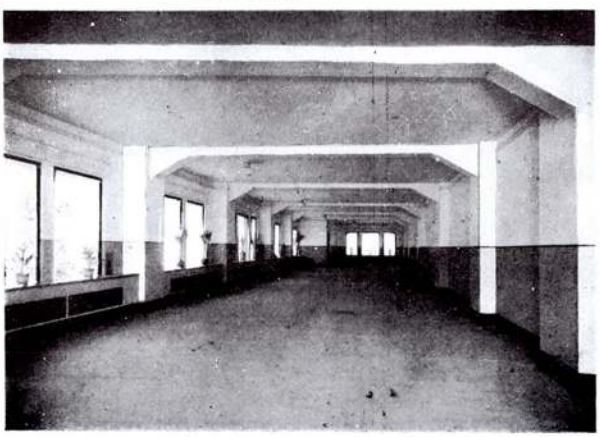


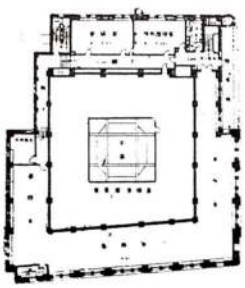
客溜の一部

天井高さ38尺石膏製エナメルペンキ色彩・風除スクリーン付ブロンズ製金箔押へ・壁及床伊太利産大理石

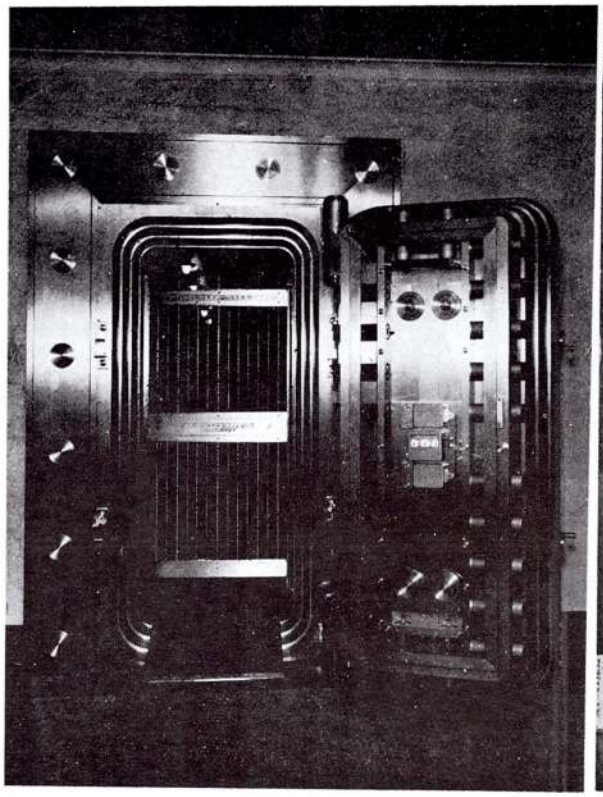
2階豫備室

壁及天井プラスター塗・腰ペンキ塗・床モルタル塗・巾木大理石





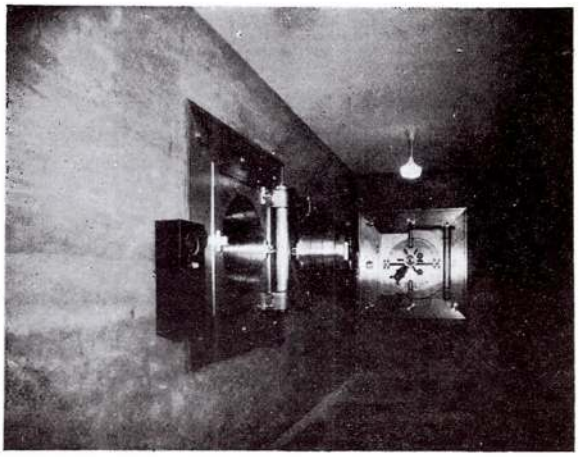
2階平面圖



保護函庫出入口扉
アメリカモスラー會社製



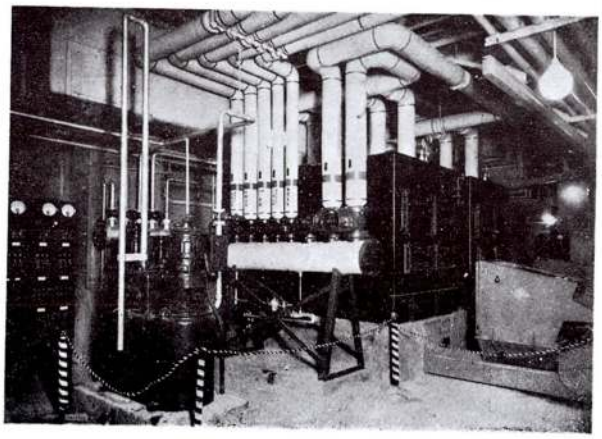
中2階廊下の一部
營業室天井と同樣

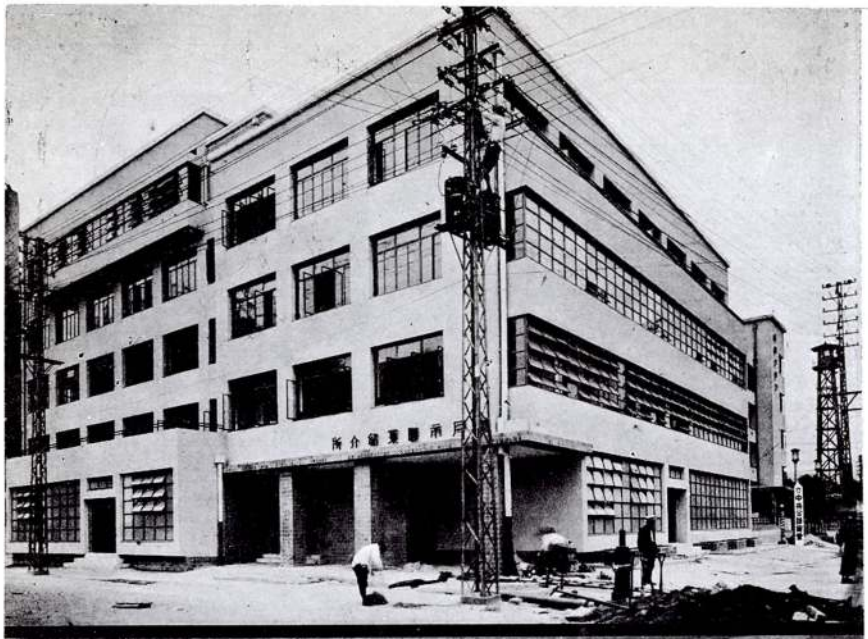


送風室

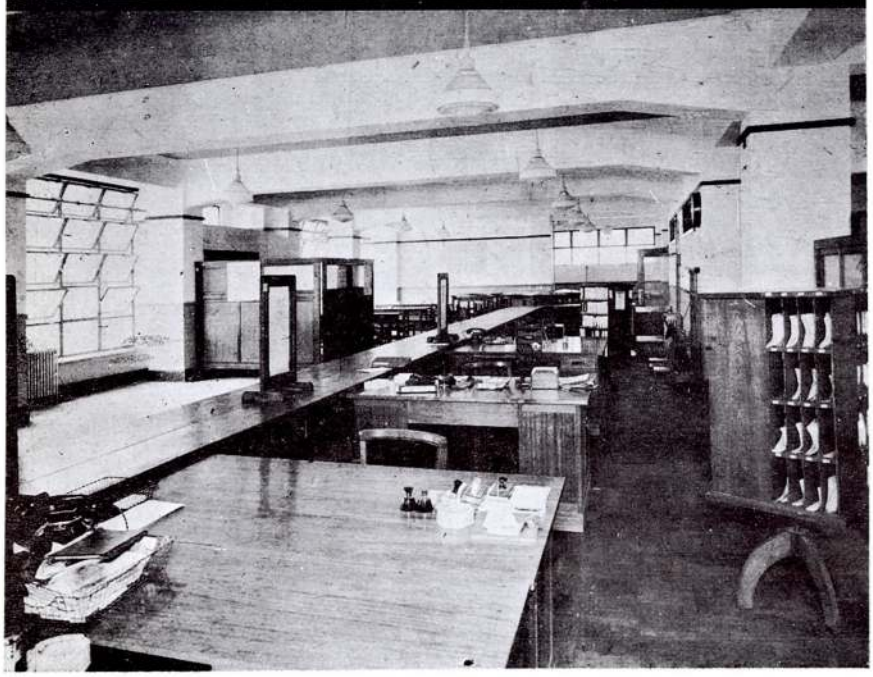
金庫及保護庫等のマンホール・アメリカモスラー會社製・壁はイドラタイト塗

ボイラー室の一部

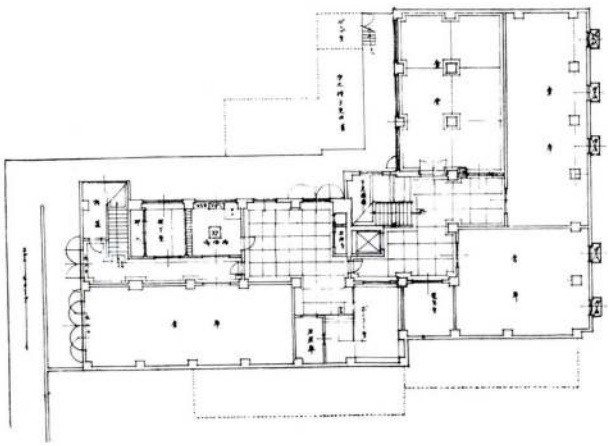




正面外觀



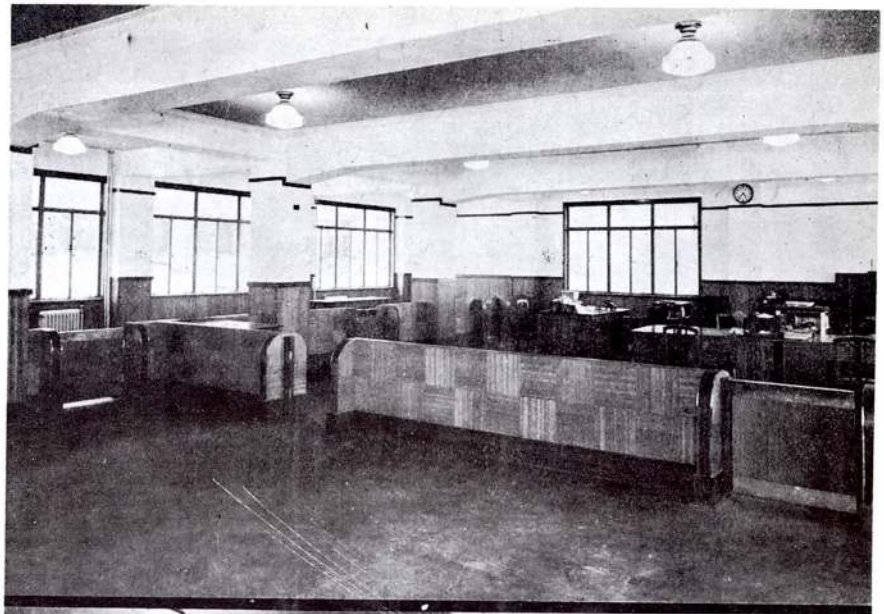
工業部紹介室



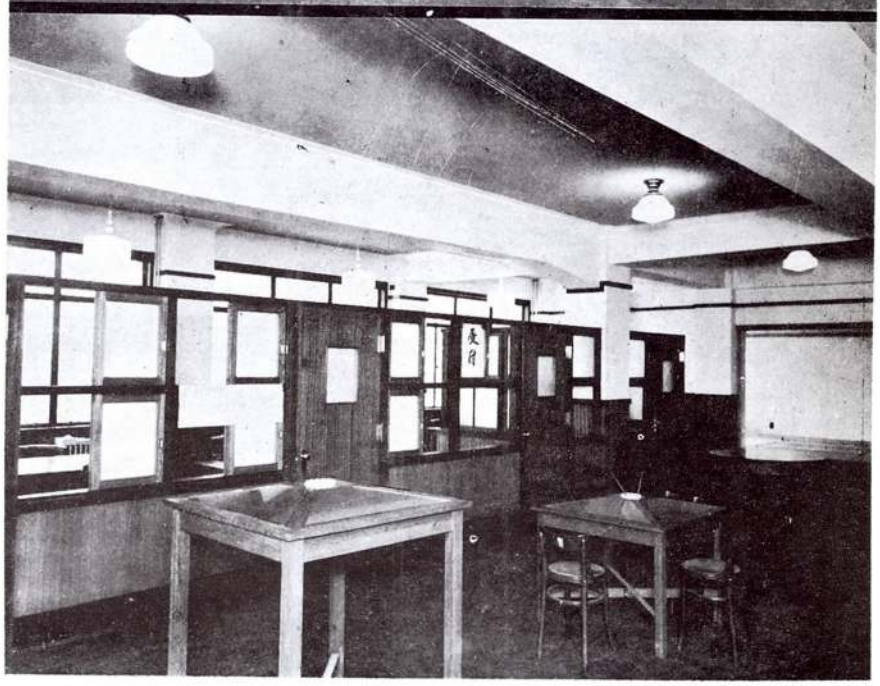
地階平面圖

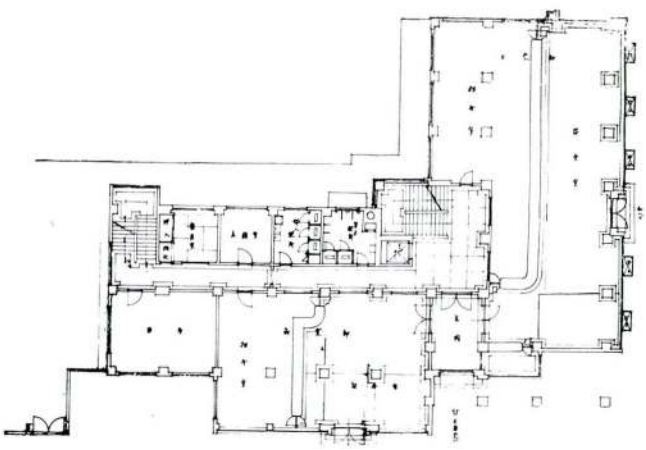
VIII 10 “神戸市中央職業紹介所” 設計・神戸市營繕課・施工・鴻池組

少年少女部紹介室



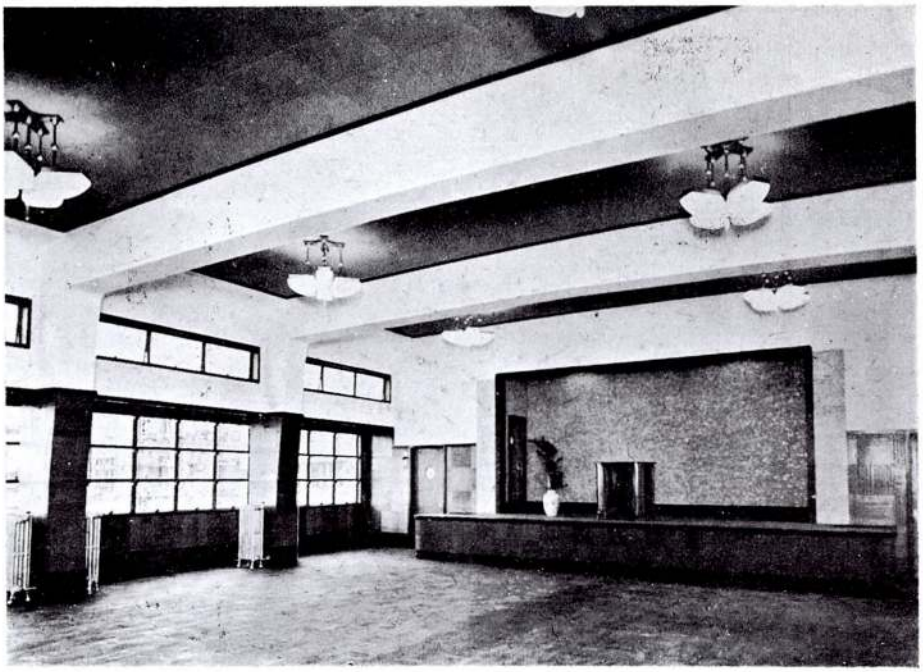
婦人部紹介室



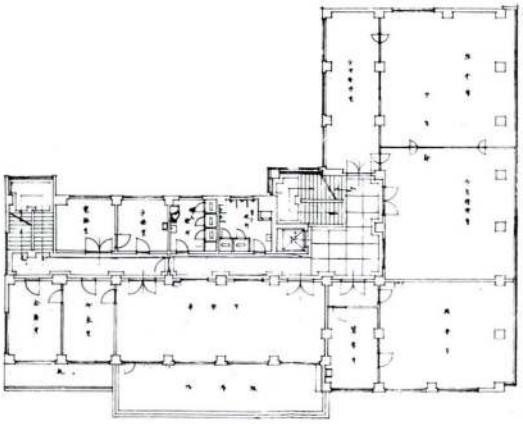


1階平面圖

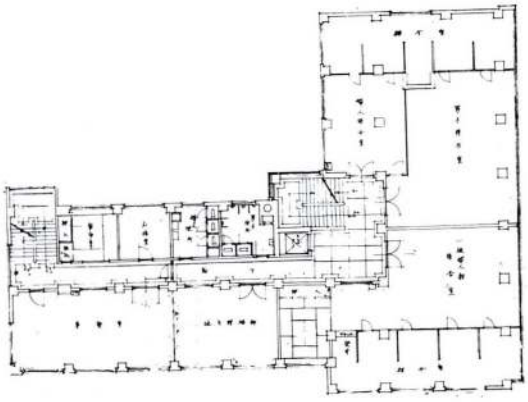
“神戸市中央職業紹介所” 設計・神戸市營繕課・施工・鴻池組



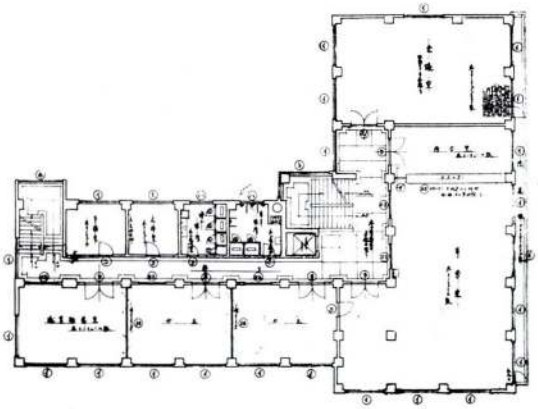
大會議室



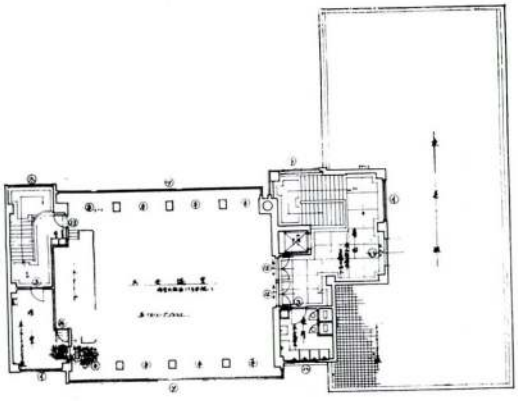
2階平面圖



3階平面圖

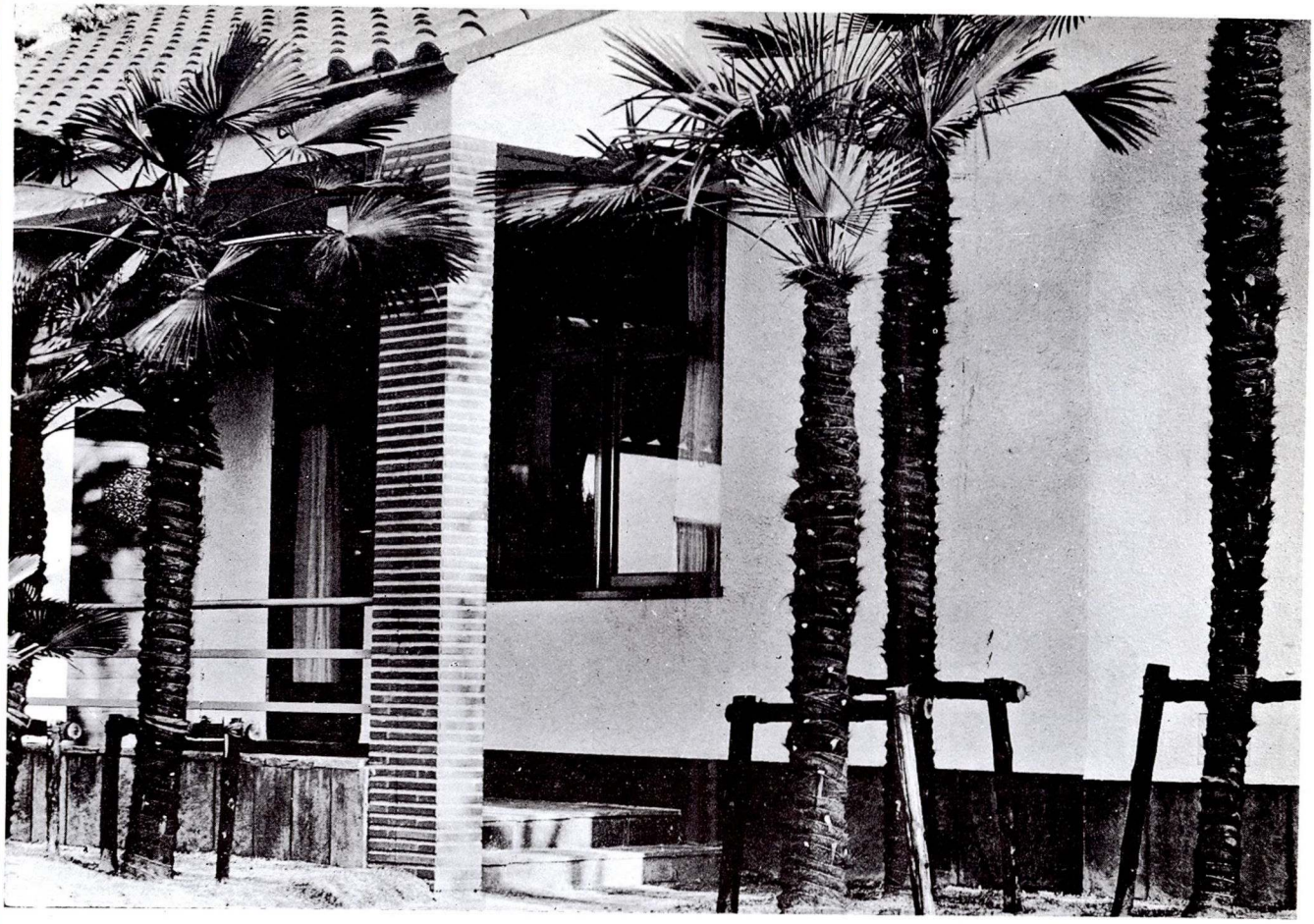


4階平面圖



5階平面圖

12 “神戸市中央職業紹介所” 設計・神戸市營繕課・施工・鴻池組



讀書室外側・ポーチ



主室より玄關ホールを望む

六梧荘

所在…西ノ宮市夙川
工期…昭和十年五月—昭和十一年五月
設計…池田總一郎
施工…大阪岡田工務店（岡田嘉兵衛商店）

仕様

木骨造、平家建、約60坪餘、外壁、白セメントスタッコ塗、中央主室ハサロンニ、集會室ニ、娯樂室トシテ使用サル、其他、讀書室ヲ附隨ス。

床仕上ゲハ、チークオーク、モミヂ材寄木張リ及ビリノタイル、紋様張リ。

壁ハプラスター塗油性ペイント塗分ケ、グレイツシユアンバーガ主色、天井ハ同上及ビコルク吸付ペイント塗分ケ、

其他、チーク、オーク材ベニヤ板羽目ヲ使用ス。

アントルピースハ琉球産トラバーチン繰出シ、

電氣設備

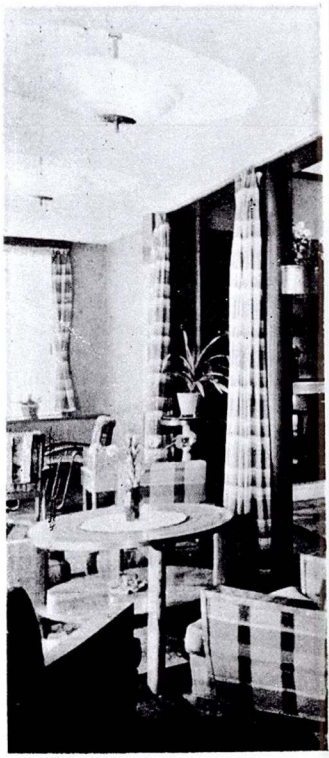
暖房—電熱、スペースヒーター對流型、ヒーター

照明—主室天井、ボーダーライト、ハ白色灯、及ビ（照明器具ハ林電機製品）橙、青、兩色、交互切替點滅ナシウル様、三重配線、トス。

天井中央ニハ、ビリヤードテーブル照射專用トシテ二個、プロゼクターヲ仕込ム、

其他ブラケツト、天井灯、等ニ特殊ナ工夫ヲ施ス、

擴聲裝置—出力 15Watt 強力增幅機12″ダイナミツク、スピーカー二個、一個ハ電氣時計、グリル中ヨリ發聲セシム、ラヂオ（**スーパーヘテロダイン、レコード、自働交換裝置、マイクロフオン、**裝置、尙**レコードトマイク**トハ互ニ**ミツクス**スル様特殊Lubbingmixing 裝置ヲナス。



二基のフロアスタンドは天井向き照射、ホワイトブロンズ製、傘、下部根付けはレンズグラス使用、下方にも一部照射せしむ、グラス中棚下はセブラウツドネリ付け幹、チークノバンドを象嵌す、扉は兩方に引込みのハンギングドア木部はすべて合板式

主室突當りにあるアルコーヴ 壁天井共合板ねり付け（オーク、チーク、シカゲ）マントルピース、は琉球産、トラバーチン、

Verandah より主室を望む 中央、大テーブルは上板をとりて Billiard Table に變ふる裝置あり



映寫裝置—16mm. 及ビ 9.5mm. 各二基 Tapestry ノ後方、壁ノ孔ヨリ Project セシム。

其爲メ Tapestry ハ必要ニ應ジ Proju. Booth ヨリ捲上ゲウル裝置トス。

Scren ハ Verandah Side ニ天井中ニ roll up. サレ、必要ニ應ジ捲下ゲソノ前ニ mask 及ビ title curtain ガ下ゲル樣工夫ス、其場合、**ダイナミツクスピーカー** ハ Screen 後方ニ裝置シ、Sound effect ヲ與フ、映寫室ハ、暗室ニ兼用サレ、電氣冷藏機ヲ供ヘ、電氣レンヂト共ニ Kitchen. ノ用ヲモ兼用セシム。

其他、電氣 Hand dryer. 湯沸器、Drinking fountai 等…

電氣裝置ヘノ Supply トシテ、阪神電鐵ヨリ 110 Volt. 20Amp. ノ柱上**トラレス**ヲ一個特設セリ。

裝飾設備

施工ハ内外木材工藝株式會社林屋、

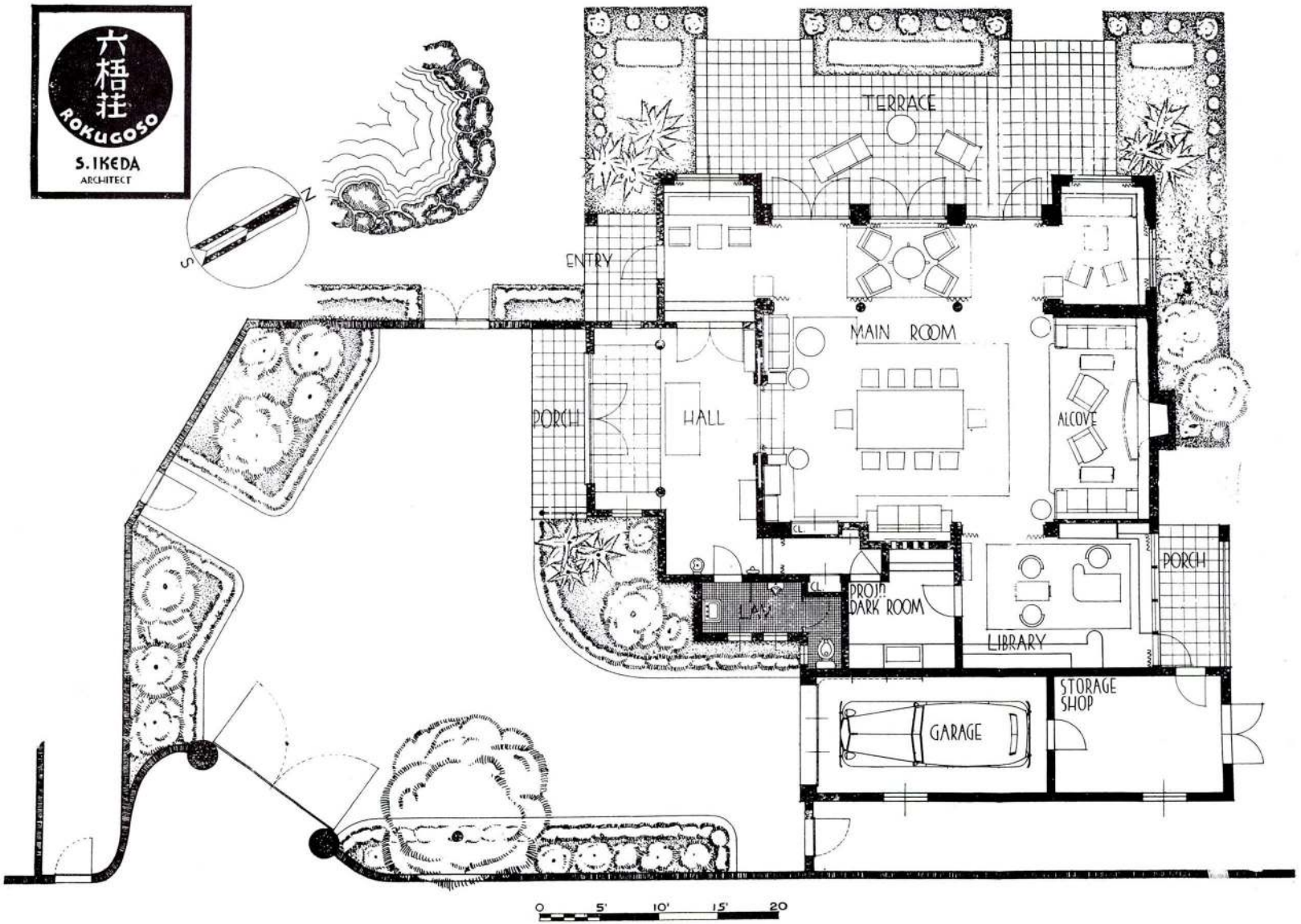
家具用材ハ、オーク、チーク、ゼブラウツド、等ヲ使用、適宜配材セリ、木材ト同時ニホワイトブロンズ、グラス、等ヲ組合セ取扱フ、取手、ツマミ、等ハラクトロイド製ヲ用フ。

敷物、緞通、一銀鼠、色、ペミノイトブルー色等ヲ主色ニ配ス、

カーテン、一主室ライトレツド、グレイイツシュブラウン、アイボレー色、横縞京都織物株式會社別織

讀書室—シフオンベルベツトーゴールデンアンバー色、等…

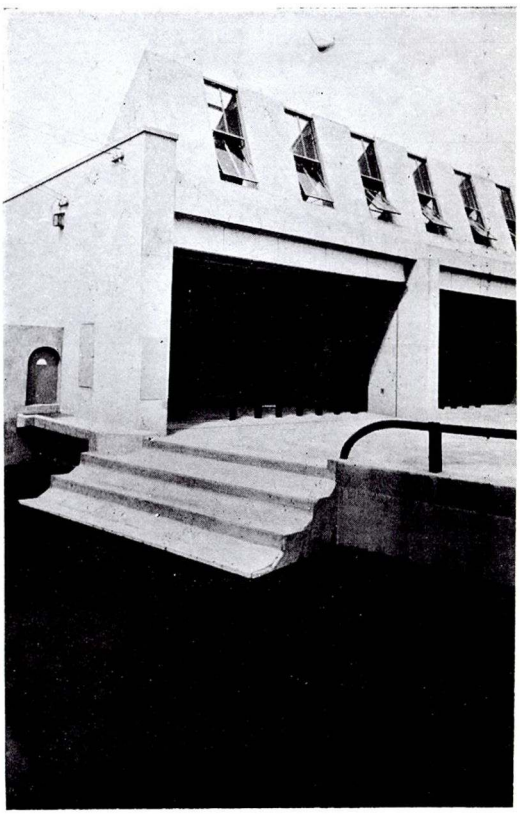
“六　梧　莊” 設計・池田總一郎建築事務所・施工・岡田工務店



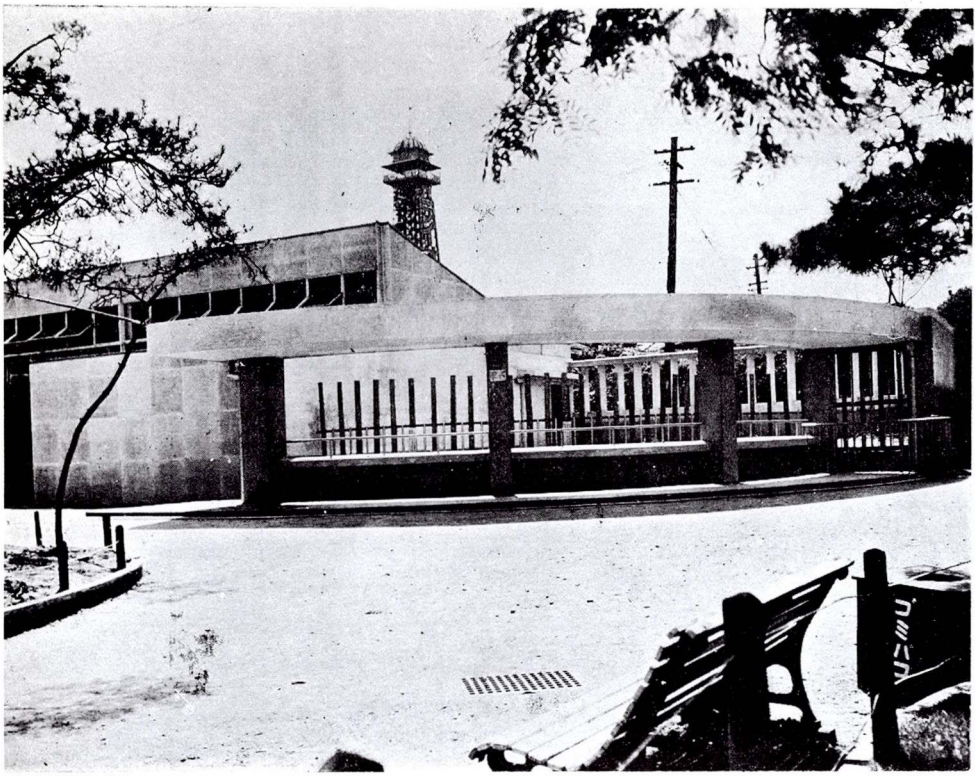
VIII 16 “六梧荘” 設計・池田總一郎建築事務所・施工・岡田工務店



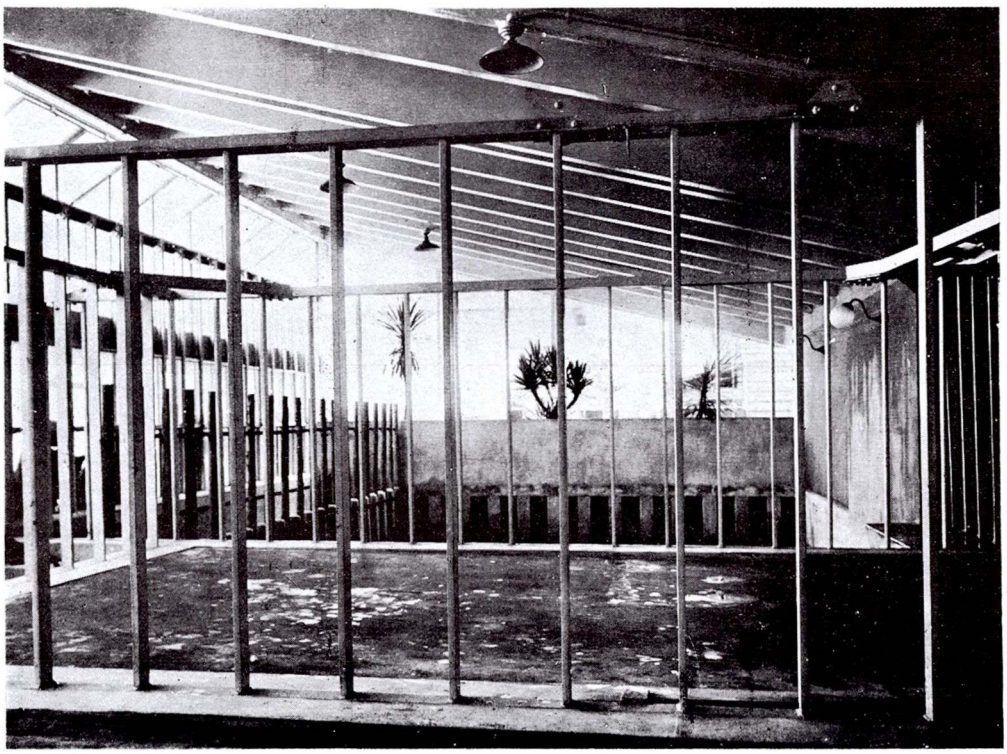
象舎運動場



象舎バスプールより寝室を望む

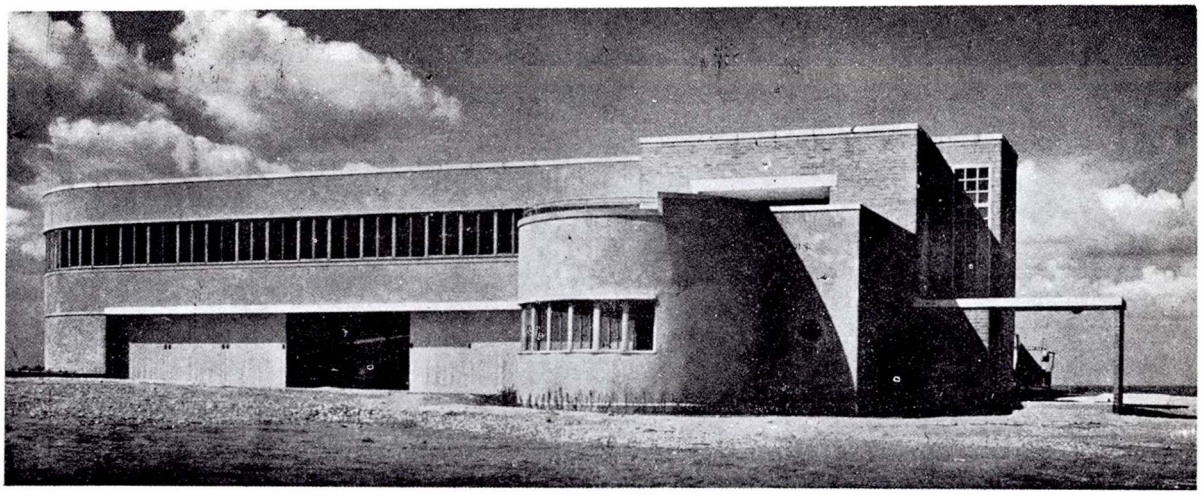


河馬舎屋外プール

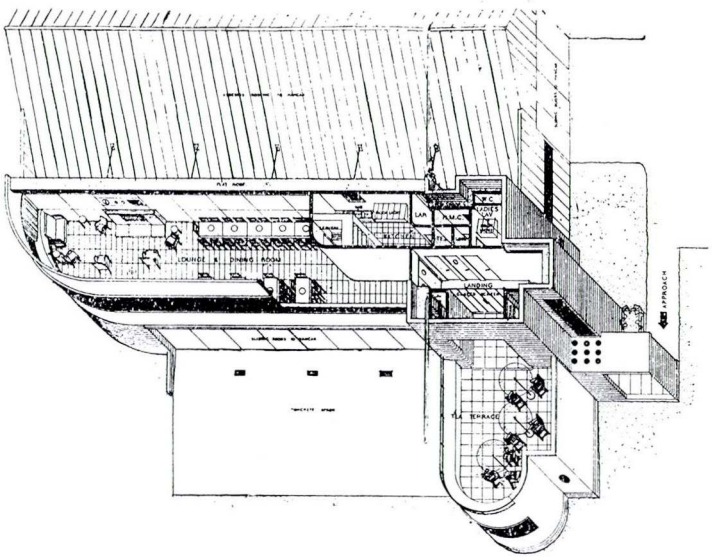


河馬舎寝室及
屋内プール

VIII 18 “天王寺動物園河馬舎” 設計・大阪市營繕課

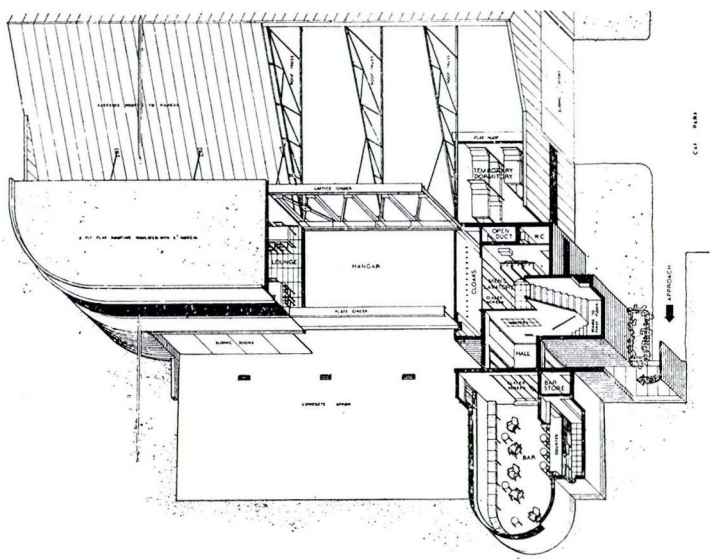


外　　觀



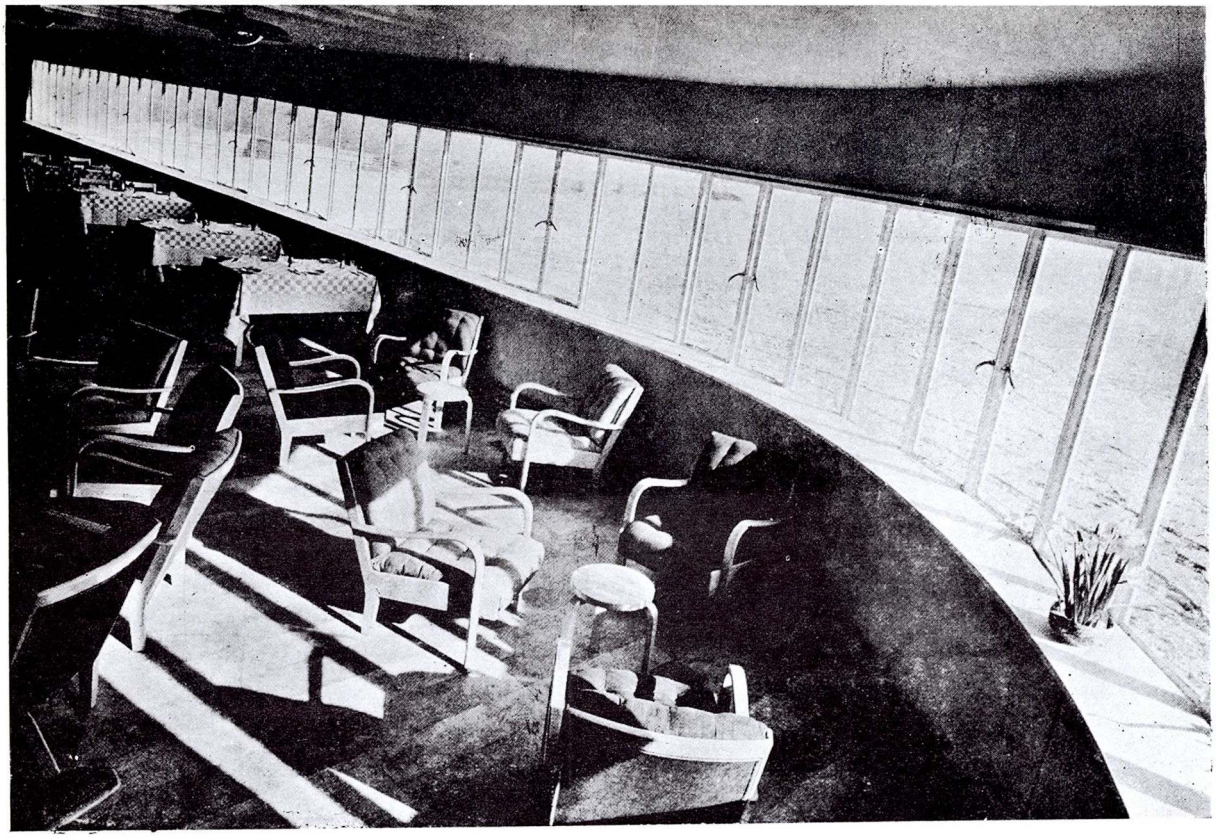
斜 投 象 圖（2階を示す）

クラブ部と格納庫は一つの建物として取扱はれ、格納庫の入口幅は巾 18.0m（グライダーの最大のものは翼長 17.0m以上あり）中に25機を格納する事が出来る。(Architectural Review, June,1936 より)



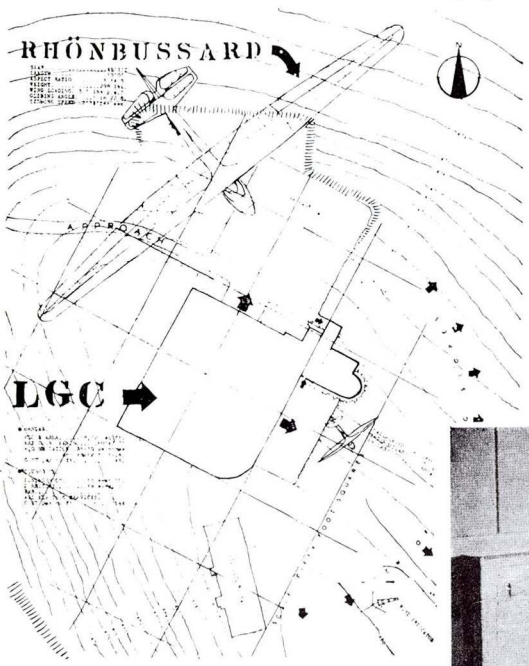
斜 投 象 圖（1階を示す）

（イギリス） ロンドン・グライダー・クラブ　　建築家 Christopher Nicolson



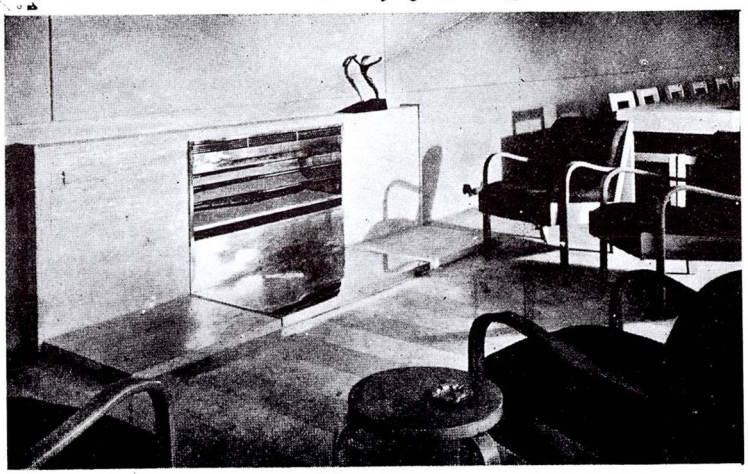
食堂内部

THE



配置圖

ローンヂの一部



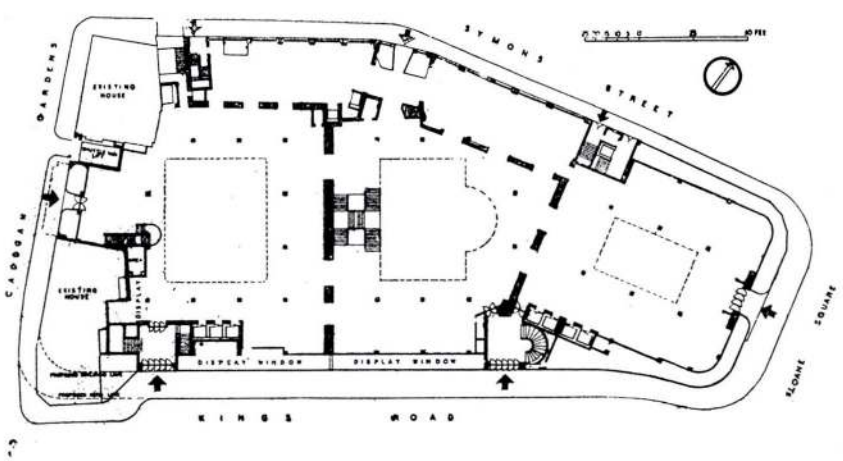
VIII 20　（イギリス）ロンドン・グライダー・クラブ　建築家 Christopher Nicolson



外　　觀

角地に建つ此のガラス張りの大商店は現在ロンドン中で最も異彩を放つた商店建築の一つである。

（Architectural Review, June, 1936 より）

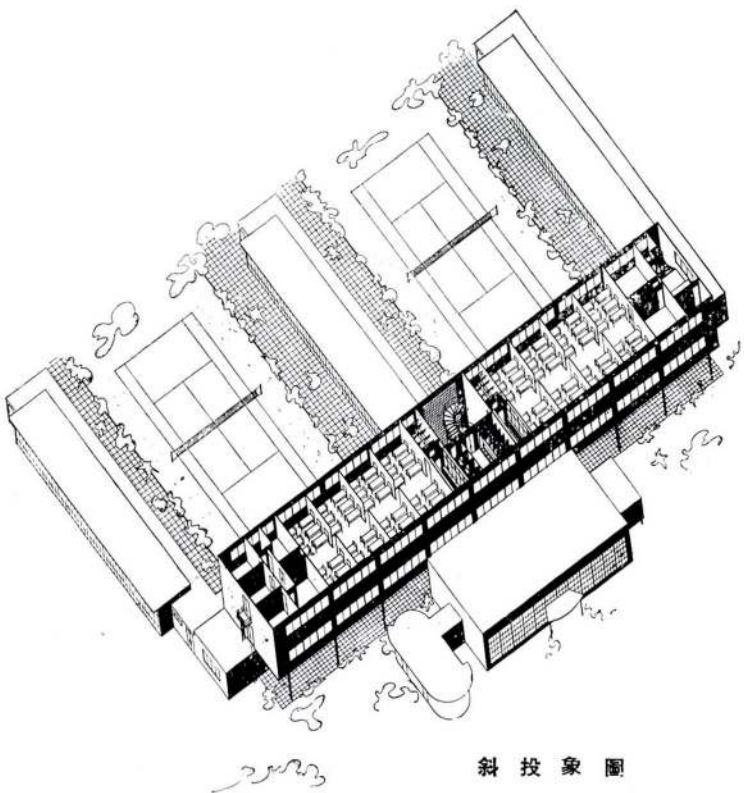


1 階 平 面 圖



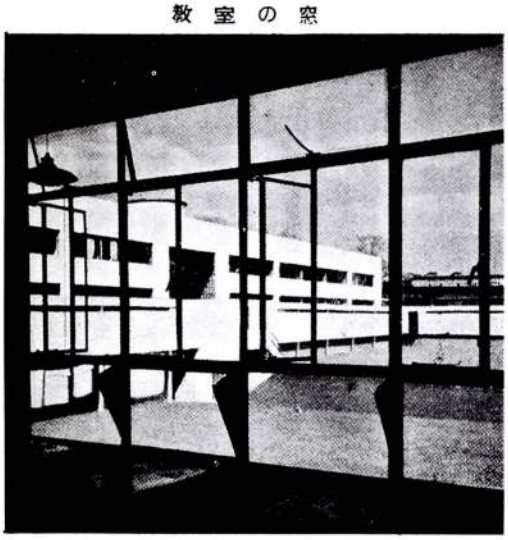
運動場側外觀

鐵筋鐵骨コンクリート造2階建一部平家建、鐵骨は熔接、生徒約100人を收容するが、將來中央に一棟を增築すれば200人を收容し得る計畫となつてゐる。



斜投象圖

教室の窓

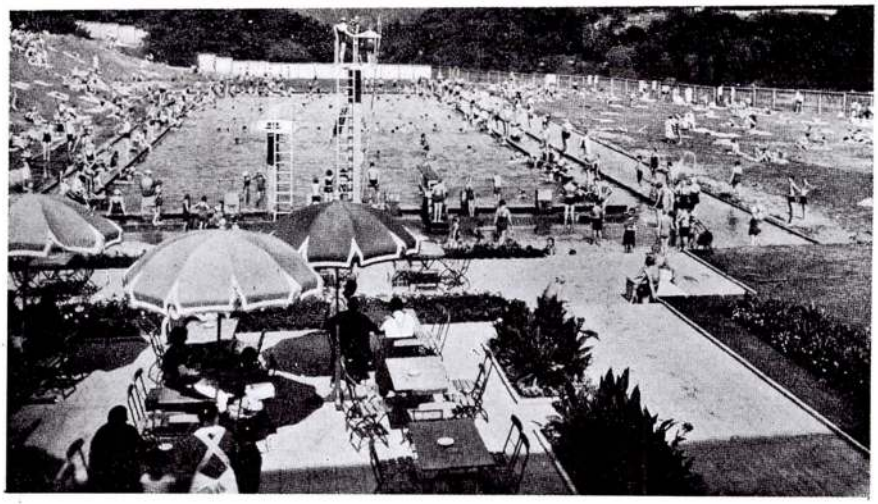


本館1階の片側は圖書室、控室等か占め、反對側には食堂、料理場、上階には寄宿室が北側に over hang して、その下がロジヤとなつてゐる。本館の兩翼平家には教室、北側には平家の體操場兼講堂がある。各室共對角通風を得るやうに、高窓を設け、又2階中廊下と寄宿室の仕切は上部吹抜としてある。

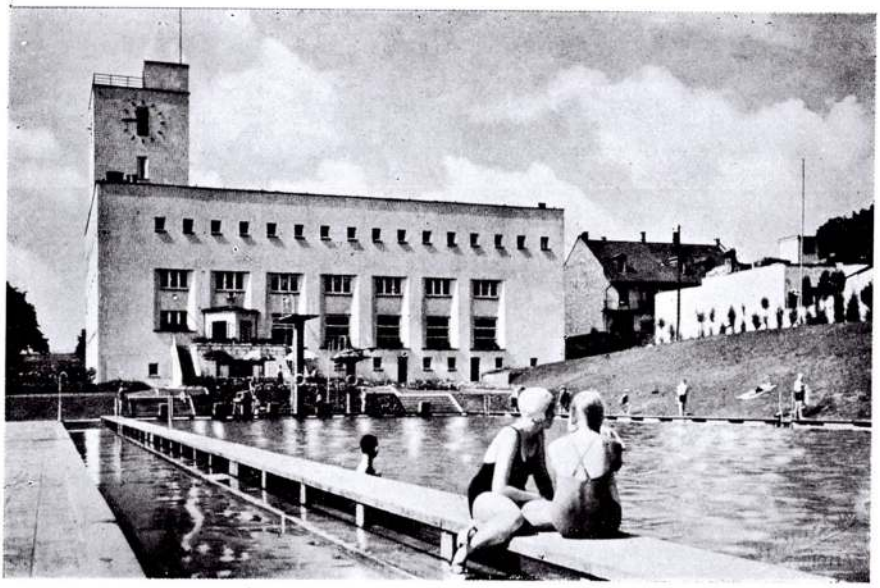
(Architectural Review, June, 1936 より)

VIII 22 (イギリス) ブライトン郊外の寄宿學校

建築家 A. V. Pilichowski



第 1 圖　屋外水泳場

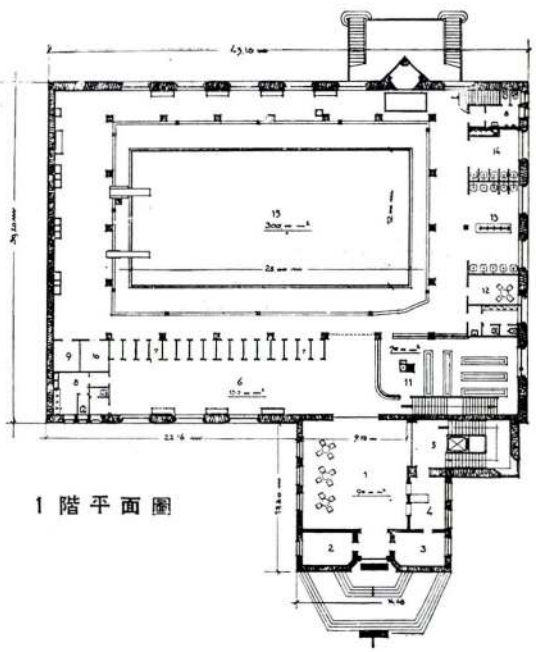


第 2 圖　屋內水泳場建物外觀

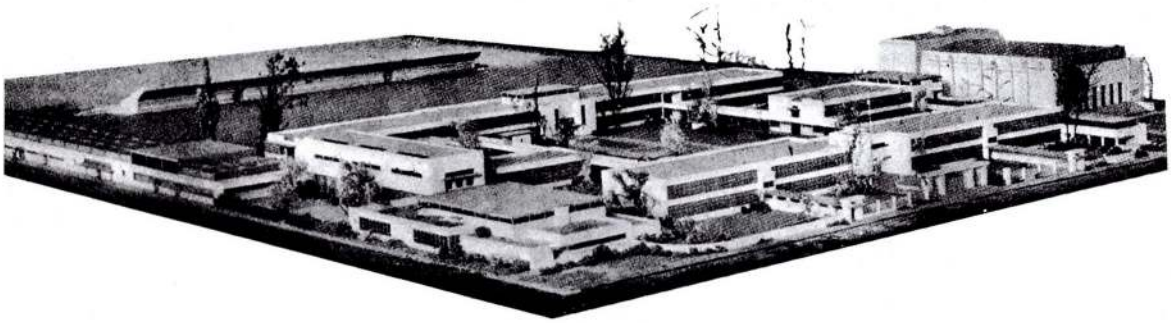
Pirmases 市の郊外の森を拓き屋外水泳場と屋内水泳場の建物を建設し水泳の中心を形造つたものである。第 1 圖は屋外水泳場で 50meter × 20meter の廣さでこれに廣々とした芝生を附屬せしめ日光浴場としてある。

第 2 圖は屋內水泳場の建物を見たところで屋內には 25meter × 12meter のプールがある。

（Der Baumeister, Juni, 1936 より）

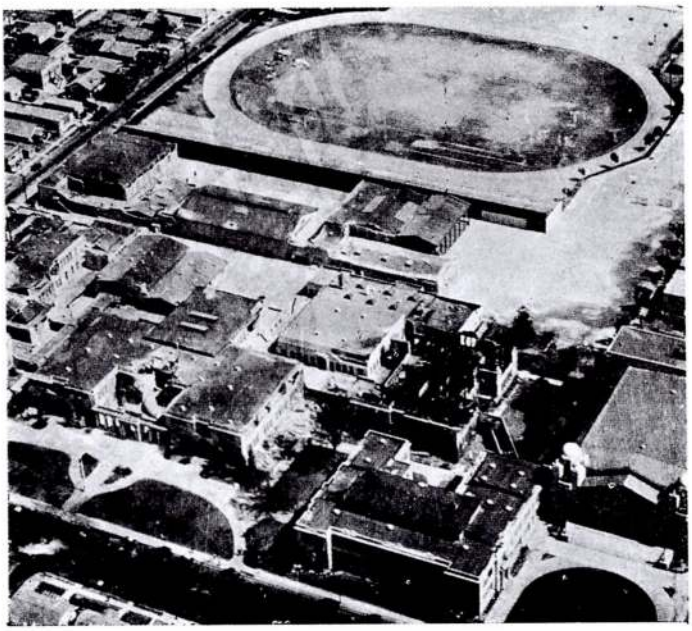


1 階平面圖



完成後の模型

地震前の全景



1933年3月10日の午後6時に、ロングビーチ附近を襲つた大地震の爲、破損した同地の高等工藝學校の復興が最近完成した。

地震後ロングビーチをはじめ、同様な影響を受けたロスアンゼルス地方の諸都市では、より高度の構造規準を要求する新法規の設定及新しい耐震構造法の使用を許すべく建築法規の大修正に着手した。復興事業に對してのみならず全州の學校建築の改造を要求するこの大事業は、外觀に於けるさ同様に構想に於ても近代的合理性を持つた2,3の建築を作り出したが、ロングビーチのこの新しい高等工藝學校はその代表的なものの1つである。

學校建築を近代的するさいふことは、アメリカに於ては今日まで極力反對されて來たものであるが、カリフォルニヤの地震は議論よりも効果的であつた。生徒達の安全の爲には樣式などは問題ではないからである。

そこで、この工藝學校の復興計畫には次の如き點を考慮し、垂直荷重さ同時に地震力(横力)にも充分抗せしむる樣設計が進められた。

a. 建物の自重を最小限度に局限すること。

b. 外部に面する教室の窓を連續的ならしめて採光を充分にすること。

c. 廊下の兩側上部には連續的な欄間を取り、下部にはロッカーの場所を取ること。

d. 煖房の配管を天井さ床又は屋根スラブさの間に仕込むこと。

結論さして教室の部分は斷面圖に示した樣な構造さなつた。

敷地は西に主要道路を控へ、他の3方は自動車の通行の辛ふじて出來るか出來ないか程度の小道に面した 765

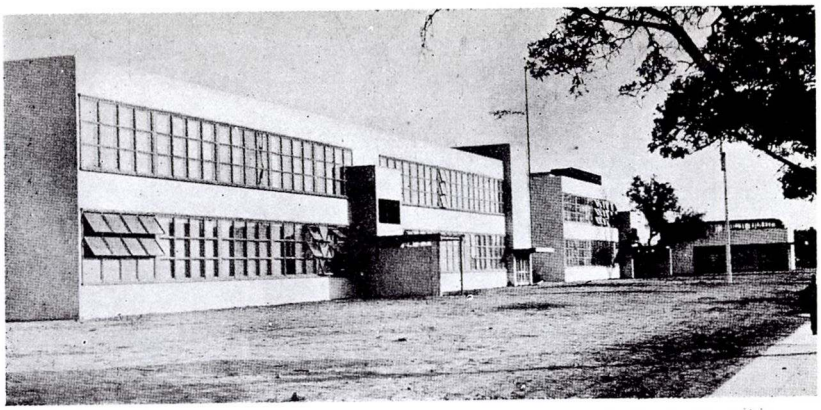
× 1.250呎の大さで、西南隅講堂の後方に奥行150呎の私有地があり、學校當局は敷地を正しい長方形にする爲これを買收することを主張したが、建築家の奬めに依つて將來はその部分に擴張し得る樣に計畫が立てられた。

建物は次の5つの部分に分けられ内外の騒音の防止、學生、教授及一般の利便及各部所要面積等を考慮して計畫せられて居る。

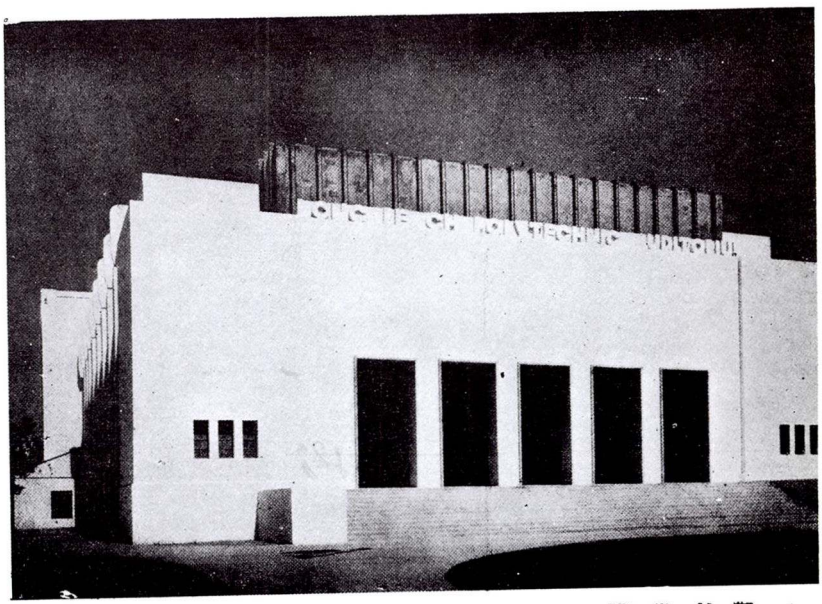
1. 商業及科學部
2. 音樂、美術部及圖書館
3. 事務室及一般工藝部
4. 運動場及同附屬建物
5. 手工部

出來上つた建物は茲に掲ぐる通である。この組織的に配列せられた一群の建物は、その見掛の脆弱さが却つてその丈夫なる所以である。學校建築のモダンな樣式が學校の雰圍氣を全く機械化するとして恐れて居た人々にとつて、この實例は大に安心を與たことであらう。

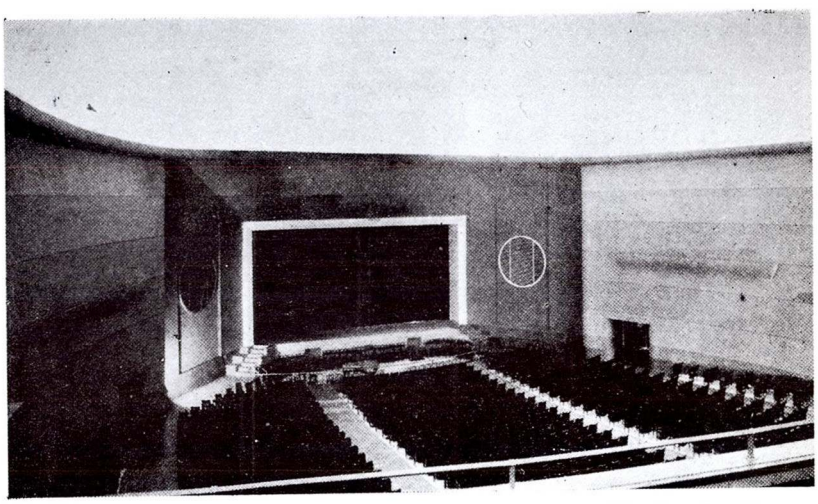
(Architectural Forum,June, 1936 より)



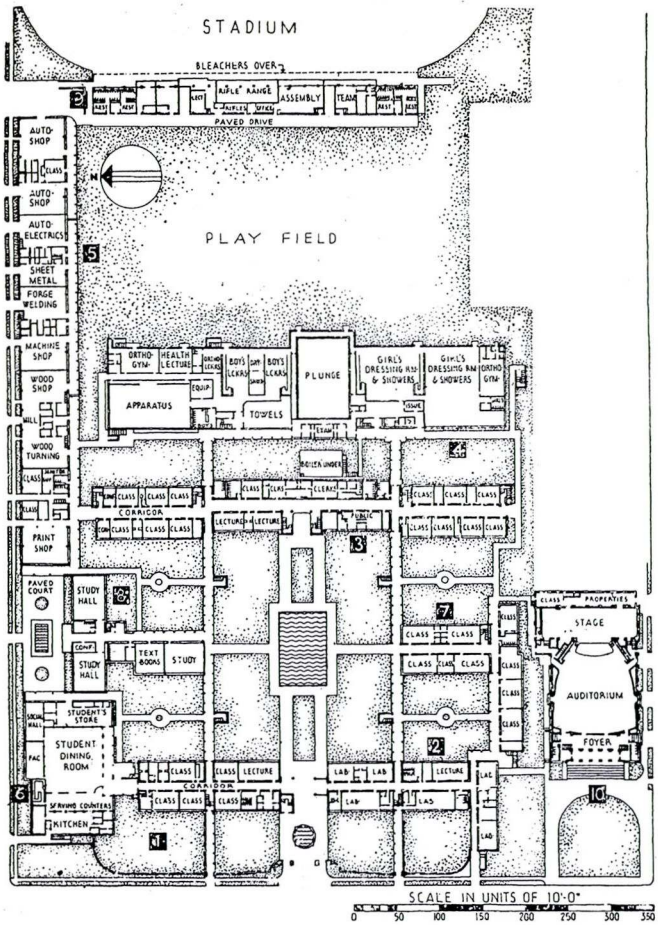
商業部外觀



講堂外觀



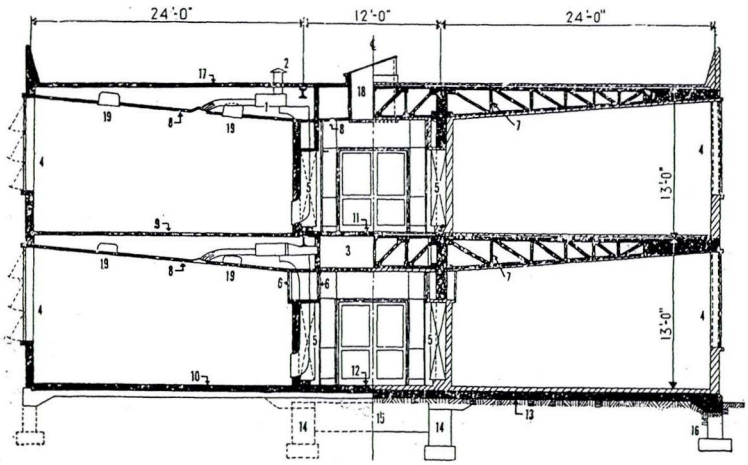
講堂內部



配　置　圖

1. 商業部
2. 科學部
3. 事務部
4. 屋內體操場
5. 手工部
6. カフエテリヤ
7. 音樂及美術部
8. 圖書館
9. 寄宿舍
10. 講　堂

1. 煖房換氣裝置
2. 送氣孔
3. 實　墳
4. 連續窓
5. ロツカー
6. 連續欄間(スチール・サツシユ)



7. 熔接サレタ鋼鐵梁(4呎間)－繩鐵 床ガソノ梁ニ熔接サレテ居ル
8. 天井、サーマツクスの上に吸音性プラスター仕上
9. 床、サーマツクスの上に楓のプロツク張
10. 床、コンクリートの上に楓のプロツク張
11. サーマツクスの上にアスフアルト、タイル
12. コンクリートの上にアスフアルト、タイル
13. 鐵管コンクリート床版
14. 柱脚
15. 柱脚を連續する梁
16. 外壁下の柱脚
17. サーマツクスの上の屋根仕上(砂利敷)
18. スカイライト
19. 取付の照明裝置

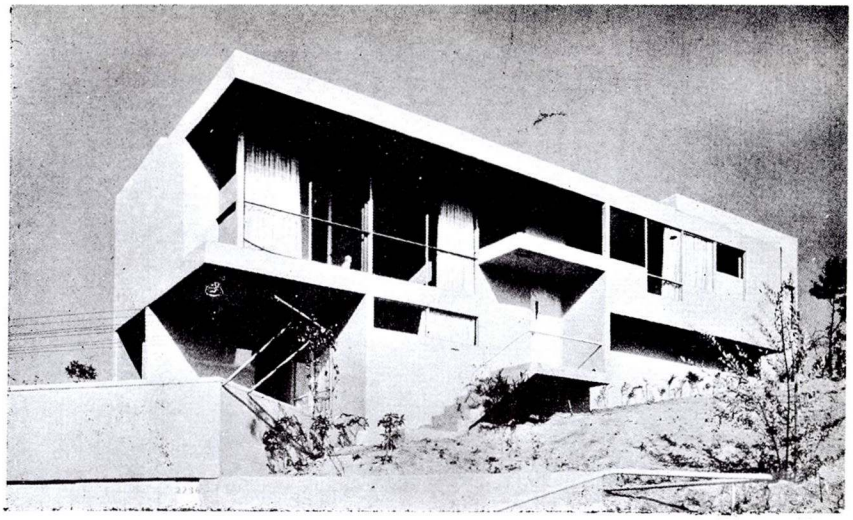
教室斷面圖

スロープを利用して巧に設計せられた健康住宅。

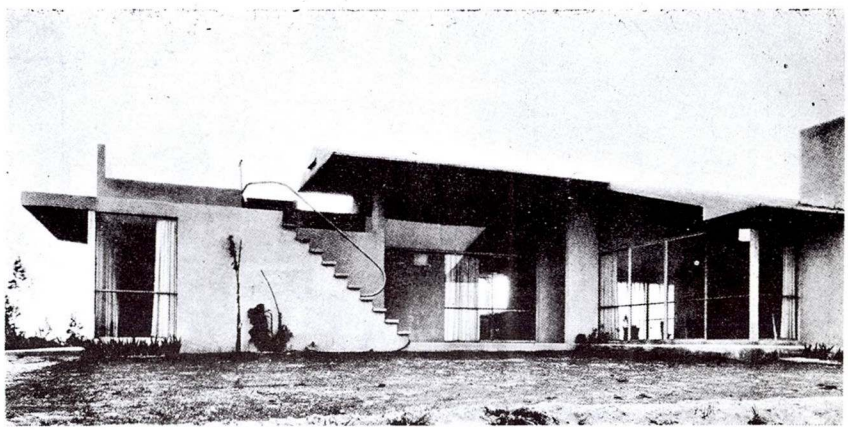
1階に居間、食堂、寢室、臺所、浴室等全くの住居部分を取り、斜面の關係で下の方に出來た部分に自動車庫と遊戲室とを取つて居る。自動車庫が最下階でありその上部が遊戲室になつて居る。

各部分にカンチレバーを盛に用ひて、廣い窓を強烈な日光から遮り、同時に建物を四角い變化のない形から救つて住宅風の雰圍氣を醸成して居る。內部も外部と同じ心持の設計で、特に取付けの家具にその特徴を發揮して居る。木造スタッコ仕上。工費5.000弗。

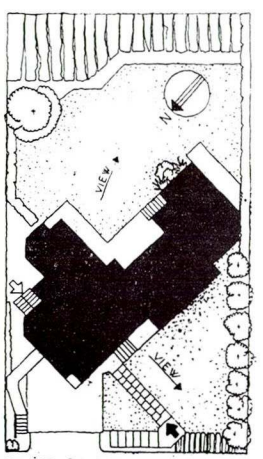
(Architectureal Forum, June, 1936)



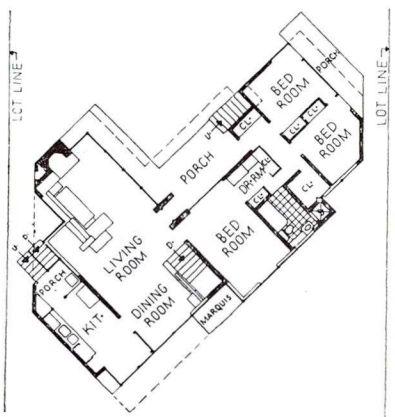
西側外觀



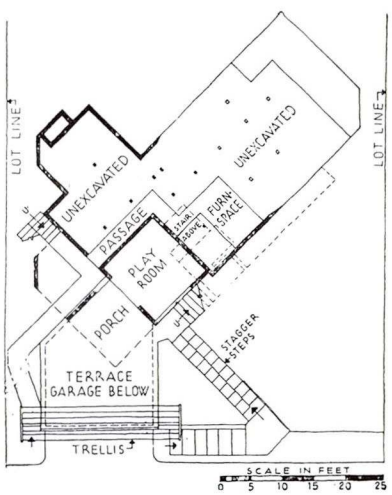
東側外觀



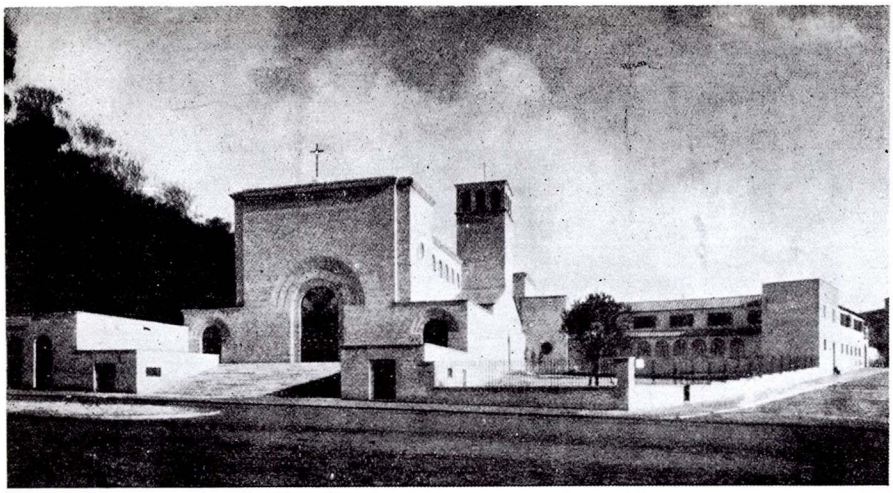
PLOT PLAN



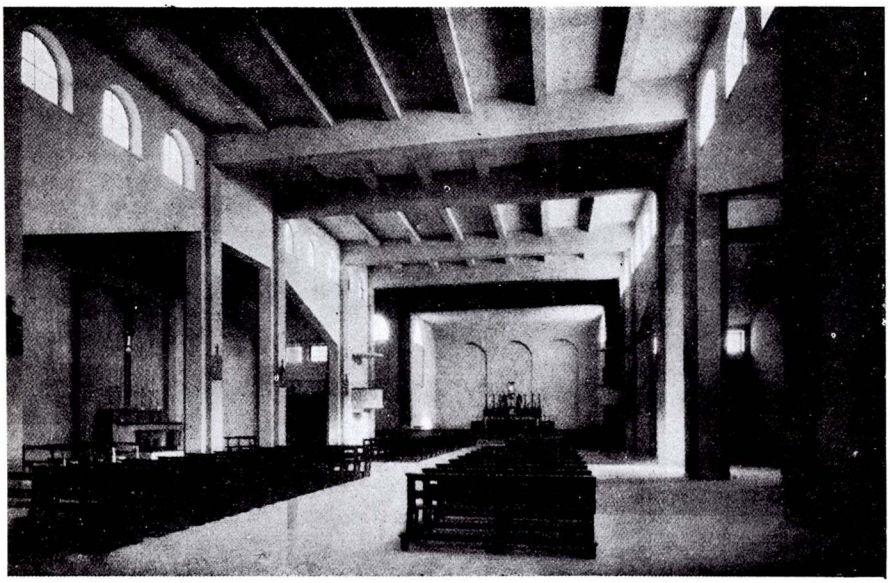
2階平面圖



1階平面圖



全景



教會內部

今日の宗教建築が如何なる樣式を採るかは可成興味ある問題である。

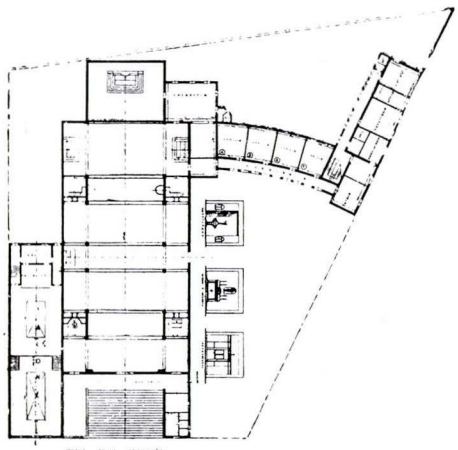
最近ローマに操つ心の教會は鐵筋コンクリートの新しい構造ではあるがその羅典十字の平面、巾廣い、石段を前に控へて中央入口を兩側に二つの出口を有する極めて簡單なフアサードは勿論のこと最後の一詳細に渉るまであくまでも羅典的な香の強いものである。

唯聖器室に接續するアーケードの廊下の有る2階建僧院の平面は在來の中庭式を廢して敷地に適合せる自由な面も潔淨たる型を示す

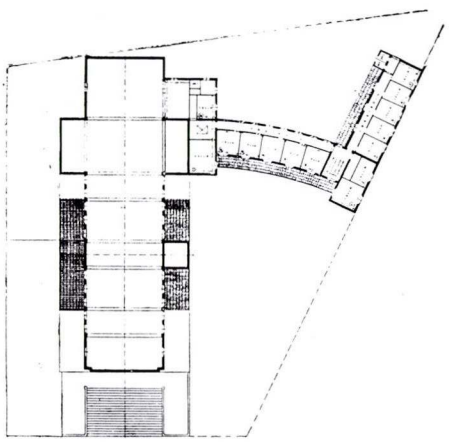
而し此處にはコンクリート造の佛寺に回教建築の手法を混ずるが如き大膽さは見出せない。

建築面積　2500平方米
同　容積　20400立方米
教會收容人員　2500信徒

(Architettura Italiana, 1936 Mag. より)

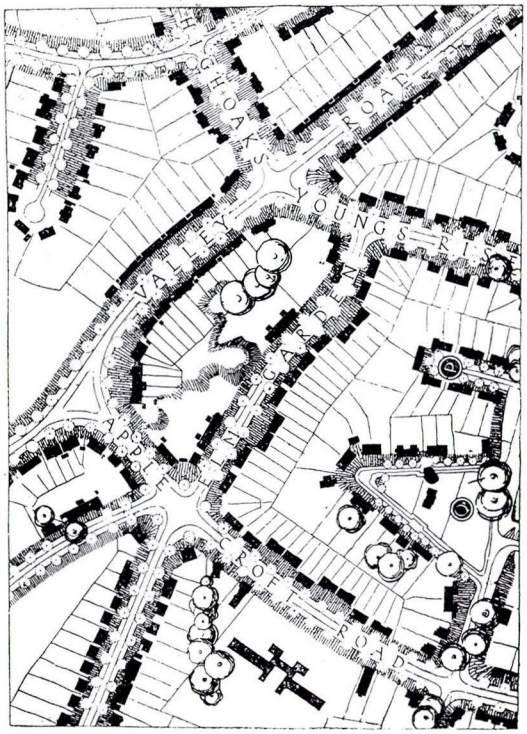


1階平面圖

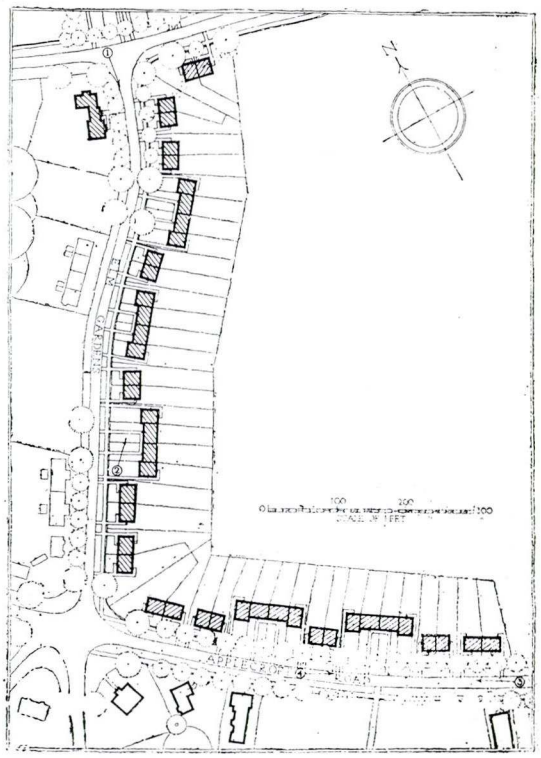


2階平面圖

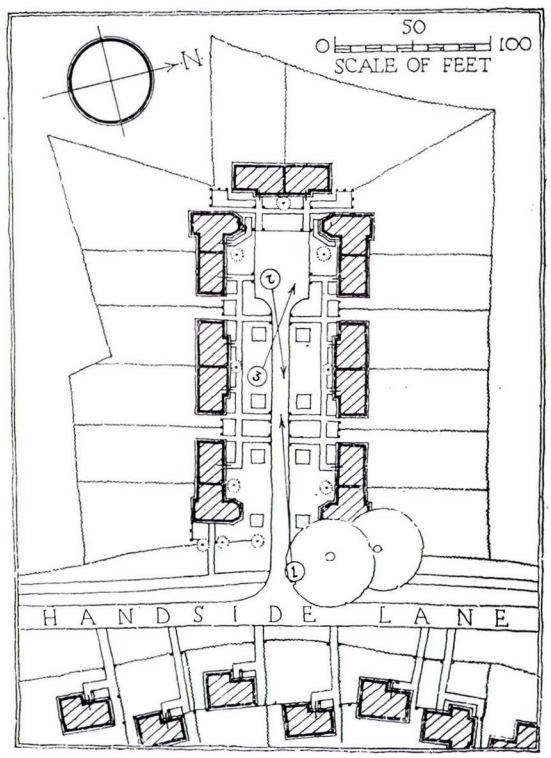
VIII 28 (イタリー) ローマの僧院を有する教會 建築家 Clemente Busiri-Vici, Michele 及 Andrea兄弟



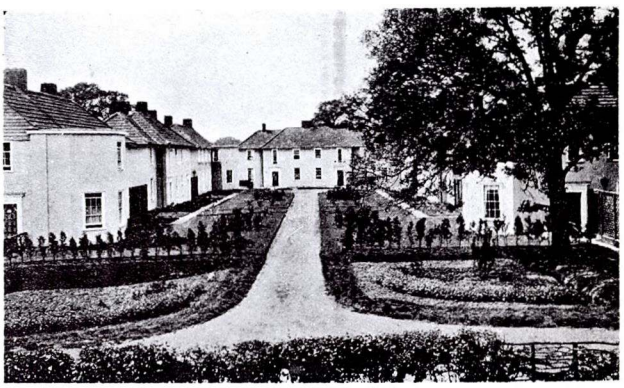
第 1 圖



第 2 圖



第 3 圖



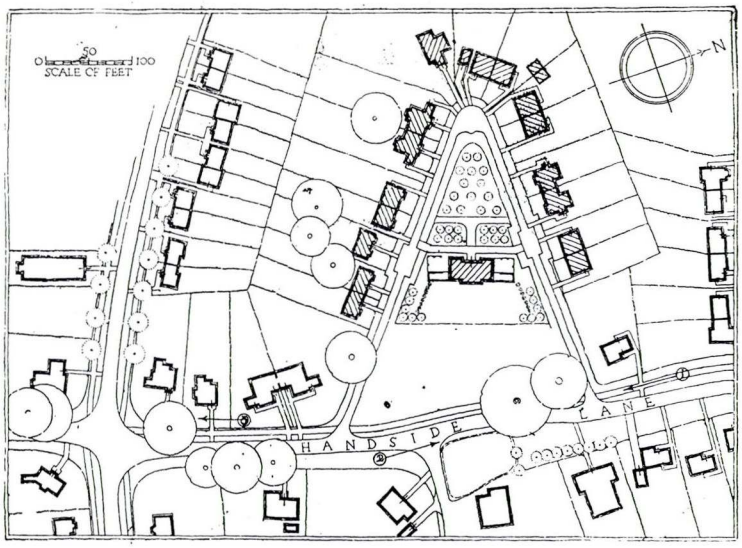
第 4 圖

第 3 圖

14の半獨立住宅よりなる〃袋路式〃の1例である。前庭の取扱方は四邊形の中庭を造る爲めと周圍が圍まれた感じを出す都合上適宜に取扱れたものである。

第 4 圖

此の例では袋路は道路に對して廣々とした感じを與へるべく極かく取扱はれて居る、だから此の袋路の一般的計畫も道路の一部分の効果をねらつて設計された例を示す。(3圖參照)



第　5　圖



第　6　圖



第　7　圖



第　8　圖

曩に本誌5月號〃住居に關する特輯號〃に於て Welwyn 田園都市の宅地割に關する所謂袋路式 (Cul-de-sac の例を主として紹介しましたが、此度は一般不整形の區廓割の例（地勢上整形區廓割の出來ざる場合）を紹介する事に致しました。

第 1 圖

2 圖以下の詳細圖の索引であるはかりでなく紹介する部分全體の道路計畫をも示す。

第 2 圖　Elm Gardens

此の計畫は三つの形式のコツテーヂを組合せて使用しただけであるから單調さを破り、且つ効果ある變化を求め交互に住宅を後退させたものである。

第 5 圖　メドーウグリーンクロツス

此の計畫は、止むを得ず出來た循環小路の例である。反對側にある池や在來の農家及美しい樹木等が此の空地の取扱方に有効なはたらきをして居る。

第 6 圖

新しい小路と兩側の土手の芝生等により池と在來道路の曲線重にを置き變化ある風致を構成して居るのを示す。

第 7 圖

保存されてあつた存來の池が充分その價値を發揮して居る例を示す。

第 8 圖

是等の住宅は樹木を保存する爲に後退して建てられた例である。

(C. B. Purdom ; Site Planning in Practice at Welwyn Garden City より)



編輯後記

◆本號特輯の名は「地方計畫」であるが、實際の內容としては都市計畫及國土計畫をも含めたものである。善き酷しき折柄、この趣旨に御賛同の上玉稿を賜つた執筆者各位に深謝する次第である。

◆近時地方計畫なる言葉が屢々用ひられるやうになつた。地方計畫理論の始めて世に提唱されたのは左程新しいことではないが、之が實施の狀況はまことに遲々たるもので、漸く其の緒に就いた程度である。

◆從來の都市計畫と云ふのは、或る都市を對象として其の區域內の調和ある有機的發展を可能ならしむべく之を指導し、秩序ある能率よき都市生活を行はしめんとする努力であつた。

◆然るに、近時の地方計畫と云ふのは、都市と緊密不可分の關係を有する地方をも同時に之が對象として考へ、一體として最も經濟的な健康的な有機的關係を保持し、相互の健全な發展を誘導せんとする努力で、之は從來の都市計畫のみを以てしては中々實現困難な點である。

◆都市計畫と云ひ、地方計畫と云ひ、何れも文明國人の生活上まことに重大な使命を有するものであつて、所謂國土計畫に根基を置き之に準據しなければならぬものである。

◆又近時大いに叫ばれてゐる所の、軍備問題、中小工業者問題、農村問題、住宅問題等を始め人口問題、衞生問題、交通問題或は一般經濟問題等の如き重要諸問題と之等計畫との間には頗る密接な相互關係を有するものであるから、斯界に對する考慮は一日たりとも忽にすることが出來ない。

◆從つて、我々は仕事の大小種類如何に拘らず夫が都市或は國家を直接構築する一要素となることを慮つて、大局より愼重に其の計畫を樹立しなければならぬと同時に、國家を形成する總ての形而下的要素に對する綜合的計畫を樹て、國家社會の健全なる隆盛を期せねばならぬと考へられる次第である。

◆尙、來月號以下に於て、建築界の諸大家の興味あり有益なる座談會記事、新しい人々の論說及研究等、優秀なる記事を多分に盛る豫定である。

期待して已まれんことを望む次第である。

（吉田信武記）

建築と社會

第19輯第 8 號

毎月1回1日發行　定價　1册 .50圓（郵稅2錢）
12册6.00圓（同 24 錢）

昭和11年 7 月25日印刷　昭和11年 8 月 1 日發行

發行・編輯兼印刷人　小板常男
大阪市北區朝日ビル日本建築協會內

印刷所　大石堂印刷所
大阪市北區玉江町1丁目11番地

發行所　社團法人　日本建築協會
大阪市北區中之島3ノ3朝日ビル
電話長ヰ瀧(23)4501番(9)
振替口座大阪3ウ975番

特約販賣店　柳々堂書店
大阪市西區京町堀羽子板橋西
電話上佐堀2440番
振替口座大阪2084番

禁轉載

本號に掲載せるものは、一切これを無斷にて轉載し又は單行本に上梓その他の複製行爲をなすことを禁ず。

廣告掲載料金

普通	1頁	1回	15.00
普通	1/2頁	1回	8.00
普通（前附等1頁）	1頁	1回	45.00
普通（前附等2頁）	1頁	1回	40.00
普通（後附等1及最終頁）	1頁	1回	25.00
アート（中挿）	1/2頁	1回	20.00
表紙 2	1頁	1回	60.00
表紙 3	1頁	1回	45.00
表紙 4	1頁	1回	80.00
建築事務所錄	1欄	1回	1.50
（建築關係業者等）	1欄	1回	5.00

廣告掲載御申込は本會直接願ひます。
本誌購讀御注文はすべて前金で本會直接又は特約店へ振替貯金又は爲替で御拂込を願ひます。郵券代用は一割增、代金引換はお斷り致します。

日本建築協會
創立滿十五年 記念出版

大阪市地質調査圖表

本書は本會常設の災害强度委員會が數年に亘つて苦心調査蒐集した資料を輯錄して一本に纏めたもので、大阪市内約五百ヶ所六百有餘の試穿成績の中重複せるもの、近接地にして地質酷似せるもの等を省略して四百十四ヶ所を選定したものであつて、他に同種の刊行物なく洵に斯界に於ける驚異的出版である。この出版に際して本會としては凡ゆる點に於て多大の犧牲を拂つたものであるが、しかも尚上梓したる所以のものは、土木建築關係者が計畫に當り常に必要缺くべからざるものであり、又容易に所要のものを調査し得ると云ふ實に簡便にして、斯界にとり稗益尠からざるものと信じたからである。
世の土木建築に關係ある諸賢へこの權威ある寶典を御薦めする次第である。

四六倍版　上質印刷紙　定價 3.50圓　送料12錢
上製箱入　クロース裝幀　（本協會員に限り 3.00圓）

日本建築協會刊行

大阪・北區・朝日ビル
振替口座大阪 39975

賣捌 丸善本支店
柳々堂書店

建築と社會第19輯第8號　廣告索引

ア　旭硝子株式會社……28
　朝日建材株式會社……前附 1
　有田製陶所……48
　淺野スレート株式會社……23
　淺海商會……36
イ　岩元工業漆式會社……36
　伊藤元商店……29
エ　榮進社……27
　英進商會……39
　荏原製作所……8
オ　大阪窯業セメント株式會社……中挿
　大阪伊丹商店……18
　大阪組立コンクリート製作所……46
　大野製作所……表紙 4
　奥村重兵衛商店……38
　駒田建材店……34
カ　金岡養樹園……中挿
キ　桐田商會……33
　協和製作所……45
ク　黒川化學工業所……25
　久保商店……45
　窪島プレス工業所……19
コ　後藤商店……18
　鴻池組……表紙 3
　工英社……49
サ　佐渡島西店……22
　佐久間パブコ工業株式會社……9
　三機工業株式會社大阪支店……表紙 2
　坂本商會大阪支店……39
　坂田ベンチレーター製作所……32
ス　須賀商會……15
セ　政正合資會社……31
　錢高組……中附 6
　清光社……32
タ　田島應用化學工業所大阪支店……前附 4
　大洋組建材部……29
　ダンロップ護謨株式會社……中挿
チ　チョーホー商會……47
ト　東洋リノリユーム株式會社……30
　巴風呂商會……50
　東洋陶器株式會社……11
　東京電氣株式會社……41
ナ　内外土木建築材料合資會社……12
　南滿鑛業株式會社……26
　中井商店大阪支店……52
　中野石材販賣店……34
ニ　日本建築紙工株式會社……31
　日本パイプ製造株式會社……20
　日本ドアーチエック製作所……10
　日本放熱器商會大阪支店……37
　西原衛生工業所……16
　西孫南店建築金物部……25
ノ　野澤幸三郎商店……24
ハ　汎建製作所……48
ヒ　日立製作所……21
フ　福原商店大阪支店……47
　藤田商會……13
ホ　邦光化學工業所……14
マ　松村組……7
　松井商店……46
ミ　三井物産株式會社……42
ヤ　矢橋大理石商店……43
　大和護謨製作所……40
ヨ　横河橋梁製作所……35
　吉田鹿之助本店……44
　米本榮商店……43
ラ　ライトラバー工業合資會社……17
リ　理化學興業株式會社……前附 3
レ　玲光社(木内眞太郎)……26